技術基準適合認定品

ファクス電話複合機

スピークスプラス

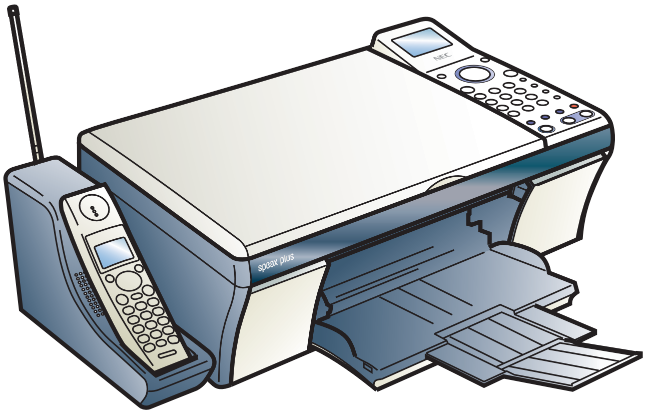
speax plus

エス ピー ピー エッチ エス ピー ピー エッチ ダブル

SP-P70H/SP-P70HW

取扱説明書

保証書付



付属のCD-ROMに収録されたマニュアルもご覧ください。

付属のCD-ROMには、下記マニュアルのPDFデータが収録されています。

- 取扱説明書（本書）
- パソコン活用編（CD-ROMにのみ掲載）
  本機をパソコンに接続したあとの使いかたが書かれています。

- 製品をご使用の前に、必ず本書をお読みください。
- 本書はいつでも活用できるように、大切に保管してください。

はじめに

このたびは、ファクス電話複合機「スピークスプラス SP-P70H／SP-P70HW」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

型　名	機器構成	備　考
SP-P70H	親機（本機）と コードレス子機 各1台	増設できる子機の台数は最大2台
SP-P70HW	親機（本機）と コードレス子機 と 子機 各1台	増設できる子機の台数は最大1台

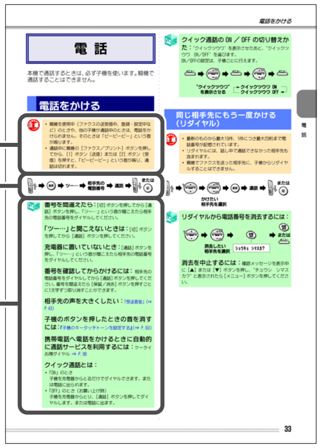
なお、本書ではSP-P70Hについて子機を増設した場合を含めて説明しています。SP-P70HWを購入された方は、SP-P70Hに子機を1台増設した場合として本書をお読みください。また、本書では「コードレス子機」を「子機」、「コードレス子機用充電台」を「充電器」と呼んでいます。

本書の見かた

操作がうまくできなかったり、思うように操作が進まないなどということがないよう、守っていただきたい注意事項や、気をつけていただきたいことなどが記載されています。

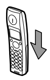
状況に応じた対応方法などが記載されています。

操作上のアドバイスや、知っておいていただきたいことなどが記載されています。



<操作手順中のイラスト>


… 充電器から子機をとる操作を表しています。


… 充電器に子機を戻す操作を表しています。



などのボタンは、そのボタンを押す操作を表しています。
文章中にある［▲］［▼］は、親機の［ファクス電話帳］ボタンまたは子機の［電話帳］ボタンを上下に押す操作を表しています。
また、親機の［ファクス電話帳］ボタンまたは子機の［電話帳］ボタンを左右に押す場合は、［<］［>］で表しています。

- 本機と電話網の間にアダプタなどが接続された場合、アダプタなどが電話網の仕様と完全には一致しないため、本機が正常に動作しないことがあります。
- 本機の故障、誤動作、不具合、停電、あるいは天災等の外部要因によって、受信文書の全部、または一部が消失したり、通信や録音などの機会を逸したために生じた損害や万が一、本機に登録された情報内容が消失してしまうこと等の純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本機に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本機を改造しないでください。改造・回路変更などを行った場合、当社は一切責任を負いません。
- 本機を廃棄・譲渡・返却するときは、お客様固有の情報の流出による不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や録音された用件など）を消去してください（⇒ P.122）。
- 子機には防水機能がありませんので、ぬれた手で子機を操作したり、水をかけたりしないでください。水ぬれによる故障は保証対象外です。修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（ＶＣＣＩ）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。
本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

ご使用にあたってのお願い
本機のご使用にあたって、NTT東日本またはNTT西日本のレンタル電話機が不要となる場合は、NTT東日本またはNTT西日本へご連絡ください。ご連絡いただいた日をもって、「機器使用料」は不要となります。詳しくは、局番なしの116 番（無料）へお問い合わせください。

安全にお使いいただくために　－必ずお読みください－

本機を安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項の表示と図記号の意味は、次のようになっています。

⚠危険：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。

⚠警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

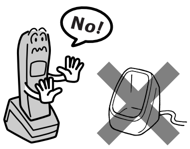
⚠注意：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

（高温注意）	：	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。
（分解禁止）	：	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
（電源プラグをコンセントから抜け）	：	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

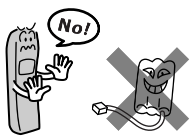
⚠危険

禁止　充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となることがあります。

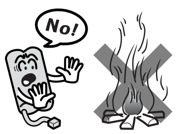


禁止　電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止　専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止　電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。



禁止　電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

禁止　電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災・感電の原因となります。

⚠危険

禁止　電池パックのビニールカバー（チューブ）をはがさないでください。電池パックの液漏れ、発熱、破裂の原因となることがあります。

分解禁止　電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となることがあります。

電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。また、漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。

電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り出し、使用を中止してください。

⚠警告

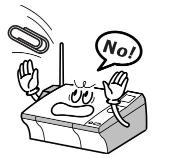
電源プラグをコンセントから抜け　次のようなときは、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご相談ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

- 煙が出ている、変な臭いがするなどの異常状態があるとき
- 本機を落としたり、破損したとき
- 内部に水が入ったとき

⚠警告

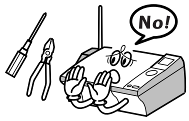
電源プラグをコンセントから抜け

本機の通風孔などから内部に、金属類や燃えやすいものなどの異物を、差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



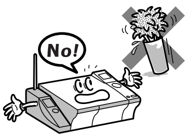
分解禁止

本機を分解したり、改造したりしないでください。火災・感電および故障の原因となることがあります。



禁止

本機の上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



禁止

ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。

ペットに尿などをかけられないように注意してください。本機の中に入ると、火災・感電の原因となることがあります。

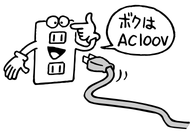
必ずアース線を接続せよ

万一、漏電した場合の感電事故防止のため、必ずアース線を取り付けてください。アース線を取り付けられるところは次の部分です。
- 電源コンセントのアース端子
- 銅片などを65cm以上、地中に埋めたもの
- 接地工事（第D種）が行われている接地端子

次のようなところには絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管・電話専用アース線・避雷針・水道管や蛇口

禁止

AC100Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災や故障の原因となることがあります。

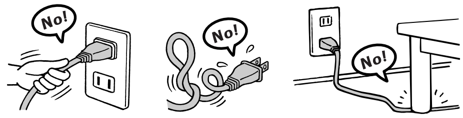


電源プラグおよび充電器のプラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

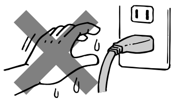
禁止

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重いものを載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。

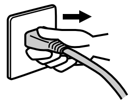


ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

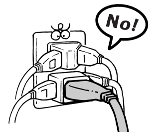


電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



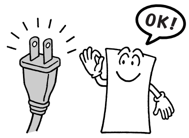
禁止

テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



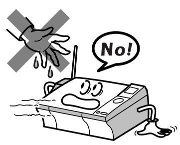
本機は国内電源仕様になっていますので、海外ではご使用になれません。

電源プラグおよび充電器のプラグは、ほこりが付着していないことを確認してからコンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグをコンセントから抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

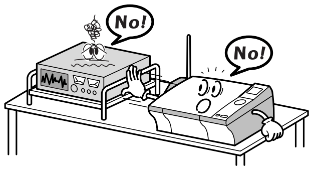
ぬれた手で本機を操作しないでください。感電の原因となることがあります。



⚠警告

禁止

本機は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くに設置、および近くで使用しないでください。
- 電子機器が誤動作したりするなどの原因となることがあります。
- 使用を制限された場所では使用しないでください。
  例：医療用電子機器の近くなど



禁止

コードレスシステムは、航空機内や病院内などの使用を禁止された区域には、持ち込まないでください。電子機器や医療用機器に影響を与え、事故の原因となります。

禁止

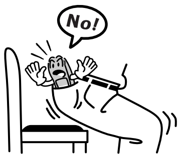
子機は、総務省の技術基準に適合したものです。内部を改造したり、外部にアンテナを取り付けて電波を強くするなどは、感電や故障の原因となるだけでなく、法律で禁じられています。

分解禁止

充電器の内部には、高電圧がかかっているので、分解しないでください。感電の原因となることがあります。修理は販売店にご相談ください。

禁止

子機をねじったり、重いものを載せたり、（ポケットに入れたままイスなどに）強く押しつけたりして、圧迫しないでください。子機が破損し、火災、けが、やけどの原因となることがあります。



⚠注意

禁止

雷が鳴り出したら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷により、感電の原因となります。

禁止

電源コードを熱器具に近づけないでください。電源コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜け

長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止

直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器具のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

⚠注意

移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、電話回線接続コードなど外部の接続線を外したことを確認のうえ行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

禁止

調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。また、本機の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

禁止

モニタスピーカに耳を近づけないでください。大音量により耳を痛める場合があります。

本機のアンテナを誤って目にささないように注意してください。

指をはさまれないよう注意

プリントカートリッジの交換および用紙のセットなどで開閉部を開け閉めするときは、指はさみ、指のけがにご注意ください。

禁止

漆、カーペット等、高温で変色する可能性のある材質の上には置かないでください。変色の原因となることがあります。

禁止

本機の底面部は温度が上昇しますので、カーペットやソファーなどの上に置かないでください。焦げたり、火災の原因となることがあります。

本機底面にはゴム製の滑り止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色する恐れがあります。

禁止

子機は、ほこりの多い場所や振動の激しい場所に置かないでください。

禁止

充電器の充電部分に、金属製のピンや指輪などを置かないでください。発熱し、やけどの原因となることがあります。

禁止

本機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。また、ねじったりしないでください。故障の原因となります。

禁止

本機の上に重いものを載せたり、衝撃を与えたりしないでください。本機の破損、故障の原因となります。

禁止

通信やコピー等の動作中に電源プラグを抜いたり、本機のカバーを開けたりしないでください。故障の原因となります。

⚠注意

禁止
本機の上に物を置いたり、布をかけたりしないでください。紙がつまって、故障の原因となります。

禁止
青焼紙と重ねて保管しないでください。用紙が変色します。

記録品質への悪影響および故障の原因となることがありますので、当社指定の用紙のご使用をお勧めします。

プリントカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。

禁止
プリントカートリッジは開封した状態で30分以上放置しないでください。

禁止
プリントカートリッジを強く振ったり、分解したりしないでください。インクが漏れて、衣服や周囲を汚す原因となることがあります。

ゴキブリなどが入ると、故障の原因となることがあります。

自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを「入」「切」にしたときなど、通話に雑音が入ることがあります。

禁止
製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

禁止
テレビ、スピーカボックスの近く、こたつの上など、磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。本機が正常に動作しないことがあります。

冷えきった部屋をストーブなどで急激に暖めたときなどは本機の内部に水滴が付着し、部分的に写らないコピーが発生する原因となります。

禁止
極端に暑い場所（35 ℃以上）や寒い場所（5℃以下）では使用しないでください。誤作動・故障の原因となります。

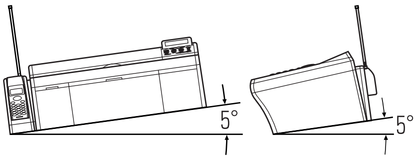
禁止
以下のようなところには置かないでください。
- クーラ、暖房器具、換気口などから風が直接当たる場所
- ほこりや振動が多い場所
- 換気の悪い場所
- 揮発性可燃物やカーテンに近い場所

⚠注意

本機の設置場所等によっては、近くに置いたラジオへの雑音やテレビ画面のチラツキやゆがみなどが発生する場合があります。
このような現象が本機の影響によると思われましたら、本機の電源プラグをいったん抜いてください。電源プラグを抜くことにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次のような方法を試みてください。
- 本機をテレビ等から遠ざける
- 本機またはテレビ等の向きを変える

禁止
本機は、簡易生活防水が施されていません。以下のような使用はしないでください。
- 浴室で使用したり、水の中につけたりしないでください。
- 水滴が付いた場合は、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。
- 受話口や送話口の穴などに水滴が付いたときは、水滴を取り除いてからお使いください。
- 子機に水滴が付いたまま、充電器に戻さないでください。

禁止
本機は下図の傾き以上に傾けないようにしてください。正常に動作しないことがあります。



ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

商標について

- Microsoft® Windows® operating system は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Power Point® は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows® XP は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe Reader、Adobe Photoshop は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国SanDisk社の登録商標であり、CFA（CompactFlash™ Association）にライセンスされています。
- スマートメディア（SmartMedia）は、株式会社東芝の登録商標です。
- メモリースティック（Memory Stick）、メモリースティックPRO（Memory Stick PRO）、メモリースティックDuo（Memory Stick Duo）は、ソニー株式会社の商標、または登録商標です。
- SDメモリーカードは、松下電器産業株式会社、サンディスク社、株式会社東芝の商標です。
- マルチメディアカード（MultiMediaCard）は、独Infineon Technologies AG 社の登録商標です。
- xDピクチャーカード（xD-Pictureカード）は、富士写真フイルム株式会社の登録商標です。
- その他、マニュアルの中で記載されている会社名や商品名は各社の商標または登録商標です。

目 次

コピー

ダイレクト写真印刷

スキャン

ナンバー・ディスプレイ

便利に使う

こんなときは

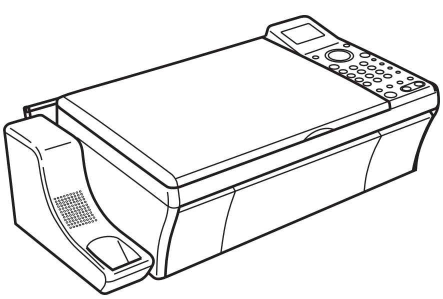
準　　備

はじめにご確認ください

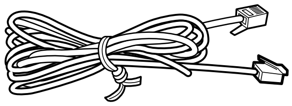
付属品はすべてそろっていますか？

☐ 欄にチェック“✓”し、確認してください。付属品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁があった場合には、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください（⇒ P. 123）。

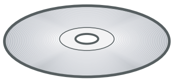
☐ 親機（本機）　1台



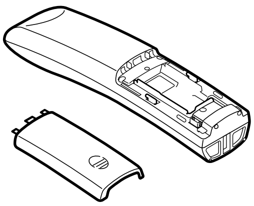
☐ 電話回線接続コード　1本



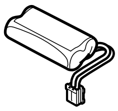
☐ ソフトウェアCD-ROM　1枚



☐ 子機　1台（電池カバー付）

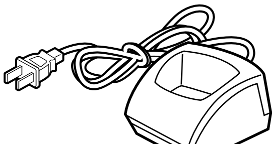


☐ 電池パック　1個



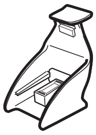
※ SP-P70HWでは2組

☐ 子機充電器　1台



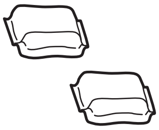
※ SP-P70HWの場合のみ

☐ プリントカートリッジケース　1個

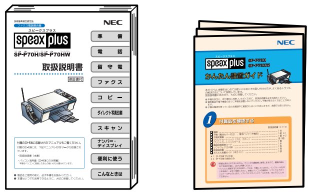


紛失防止のため、本機のプリントカートリッジ収納場所に入れ、保管してください（⇒ P. 17）。

☐ プリントカートリッジ　クロ　1個
☐ プリントカートリッジ　カラー　1個



☐ かんたん設置ガイド　1部
☐ 取扱説明書　1冊（本書）

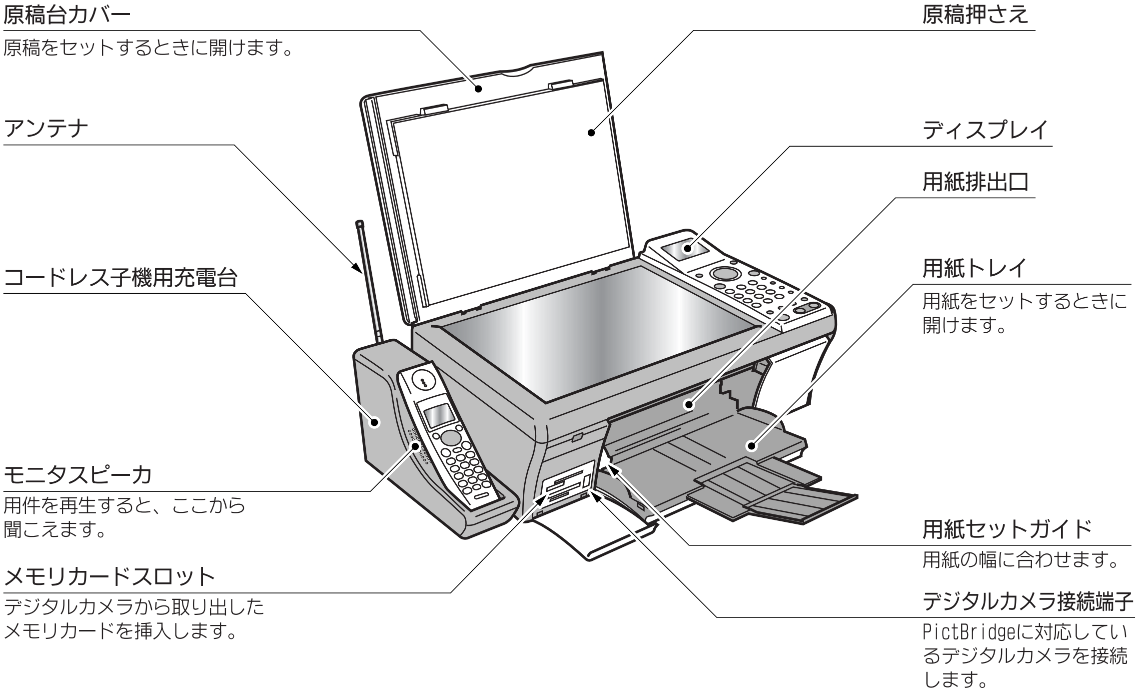


※　用紙は添付されておりません。別途ご用意ください。
※　パソコン接続用のUSBケーブルは添付されておりません。別途ご用意ください。

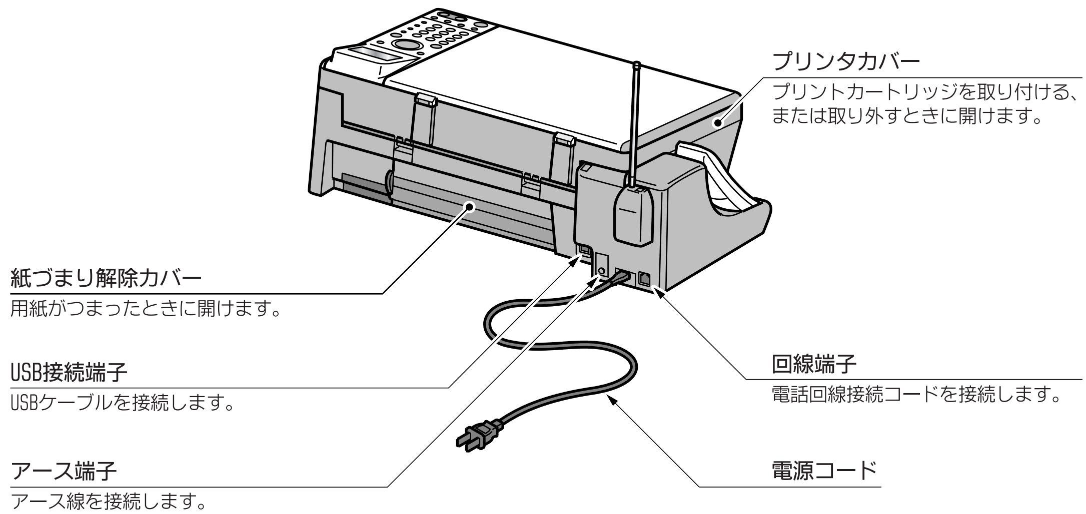
各部の名称とはたらき

本機を組み立てたあとの各部の名称です。

親機の前面



親機の背面



※　本機のプラスチックの一部に、光の具合によってキズに見える部分があります。これはプラスチック製作過程で生じるものですが、構造上および機能上は問題ありません。安心してお使いください。

親機のボタンの名称と使いかた

<操作パネル>

［メニュー］ボタン
各種設定や登録のときに使います。

［おやすみ］ボタン
おやすみモードを設定／解除するときに使います。

［登録／セット］ボタン
電話帳の登録や、各種設定のときに使います。

［留守］ボタン
留守を設定／解除するときに使います。または、通話を録音するときに使います。

［ファクス電話帳］ボタン
電話帳に登録されている相手先を選ぶときや、カーソルを左右に移動させるときに使います。
また、ファクスを送った相手先にもう一度送る（リダイヤル）ときや、かかってきた相手先の電話番号を表示させたりする（ナンバー・ディスプレイ契約時）ときに使います。
：着信データ（ナンバー・ディスプレイ契約時）
：リダイヤル（再ダイヤル）

ディスプレイの表示について ⇒ P. 14



ダイヤルボタンまたは［1］～［＊］［#］
ダイヤルするときや、文字を入力するときに使います。

再生中の用件をもう一度聞いたり、ひとつ前の用件を聞くときに使います。

再生中の次の用件を聞くときに使います。

［再生］ボタン
用件や通話録音の内容を再生するときに使います。

［消去］ボタン
用件や通話録音の内容を消去するときに使います。また、各種の登録時、入力内容を消去するときに使います。

［音量］ボタン
各種音量を調整するときに使います。

［ポーズ］ボタン
電話番号の間に休止時間（約3秒）を入れるときに使います。

［スキャン］ボタン
本機にセットした原稿を、メモリカードやパソコンに保存するときに使います。

［メモリカード］ボタン
本機にメモリカードを差し込んで、プリントのメニューを選ぶときに使います。

［コピー設定］ボタン
コピーの画質などを設定するときに使います。

［ストップ］ボタン
送信やコピーを途中でやめるとき、登録や設定を途中でやめるときなどに使います。

［ファクス／プリント］ボタン
ファクスの送受信、写真のプリントなどに使います。

［コピー（モノクロ）］、［コピー（カラー）］ボタン
モノクロ（白黒）コピーまたはカラーコピーをとるときに使います。

子機のボタンの名称と使いかた

＜前面＞

ディスプレイの表示について（⇒ P. 14）

受話口



送話口

[1] ～ [#] ダイヤルボタンまたは[1] ～ [#]
ダイヤルするときや、文字を入力するときなどに使います。

[＊]
ダイヤル回線を使用している方が、トーン（プッシュ）信号を送りたいときに使います。

[キャッチ] ボタン
キャッチホンを受けるときに使います。簡易子機間通話の送受話の切り替えに使います（子機が2台以上ある場合のみ）。

[内線] ボタン
内線通話、親機ボイスコールのときに使います。

[保留／消去] ボタン
電話を保留にするときや、電話番号や文字入力を間違えたときに使います。

[ワンタッチ] ボタン
よく電話をかける相手先を登録して、ワンタッチで電話をかけるときに使います。

[▲] [▼] ボタン
メニューや電話帳を検索するときなどに使います。

[＜] ボタン
1回押す：直前にかけた相手先の電話番号を表示させます（リダイヤル）。
2回押す：かかってきた相手先の電話番号を表示させます（ナンバー・ディスプレイ契約時）。

[＞] ボタン
各種音量を調節するときに使います。

[＜] [＞] ボタン
文字入力中に、カーソルを左右に移動させるときに使います。

[通話] ボタン
電話をかけるときや、受けるときに使います。

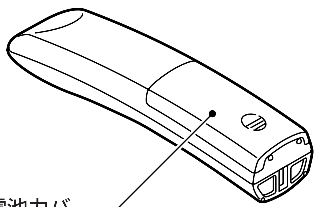
[メニュー] ボタン
各種設定や登録のときに使います。

[切] ボタン
通話を切るときや、登録・設定を途中でやめるときに使います。

準備

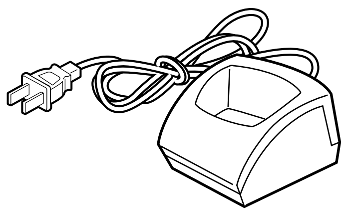
子機の背面と充電器

＜背面＞



電池カバー

＜充電器＞



※ 2台目以降の子機に付属

子機の待受中の状態について

子機の［通話］ボタンが消灯している状態を「待受中」といいます。待受中の状態にするためには、クイック通話（⇒ P.33）の設定に応じて、次のように操作します。

<クイック通話「OFF」のとき（お買い上げ時）>

➡ 通話 が消灯していることを確認

<クイック通話「ON」のとき>

➡ 通話 が点灯していることを確認 ➡ 切 を押す ➡ 通話 が消灯していることを確認

ディスプレイの表示について

<親機>

絵表示（ピクト）は全点灯時を表しています。



16桁×2行で文字を表示します。
何も操作をしていないときは、日時と留守録の件数が表示されています。

・バックライトは、登録・設定中や、通話、ファクス通信、プリントなどの動作中に点灯し、動作終了後、約90秒で消灯します。

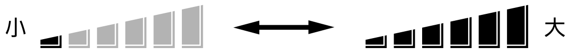
● コピー画質表示

コピー時の、原稿読み取り画質が表示されます。

● 録音残量表示

：録音時間の残り時間を示しています。

：用件が30件または残りの録音時間が20秒以内となり、録音できないことを示しています。



● 音量表示

ベル　　　：呼出音が鳴るようにしているときに表示されます。
　　　　　　また、ベル音量も表示されます。
スピーカ　：留守録の再生音量などのモニタスピーカ音量を示します。
ベル切　　：呼出音を鳴らないようにしているときに表示されます。
スピーカ切：モニタスピーカから音が出ないようにしているときに表示されます。
ステップ　：ステップアップ着信音量を選んだときに表示されます。

<子機>

絵表示（ピクト）は全点灯時を表しています。



12桁×1行で文字を表示します。
何も操作をしていないときは、内線番号が表示されています。
・付属のコードレス子機：ナイセン2
・2台目の子機　　　　：ナイセン3※
・3台目の子機　　　　：ナイセン4※

※ 子機増設時に表示されます。SP-P70HWの場合は“ナイセン3”も付属の子機となります。

・子機にはバックライトの機能はありません。

内線　　　：内線で通話中に表示されます。
外線　　　：外線で通話中に表示されます。
着信データ：過去にかかってきた電話番号を表示させる操作をしたときに表示されます（ナンバー・ディスプレイ契約時）。
リダイヤル：同じ相手先にもう一度電話をかける操作をしたときに表示されます（リダイヤル）。
（電池マーク）：バッテリが消耗したときに表示されます。
ベル切　　：呼出音が鳴らないようにしているときに表示されます。

通話時間表示について

電話中には、ディスプレイに通話時間が表示されます。表示される時間は、あくまでも、めやすとしてご利用ください。

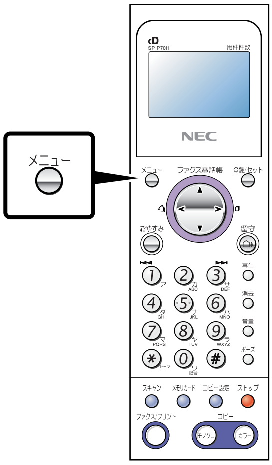
子機 0' 05 ：[通話] ボタンを押すと通話時間表示が始まります。相手先が出ても出なくても、通話時間は継続して表示されます。

注意
- 通話が終了したあとも約5秒間、通話時間が表示されます。
- 通話時間が59分59秒を超えると、0分00秒から表示し直されます。

登録・設定の操作について

本機の登録や設定は、ディスプレイの表示を見ながら行います。

まず [メニュー] ボタンを押し、次に設定項目の番号を入力して各設定を行います。
詳しい手順は各設定ごとの説明をお読みください。



注意
登録や設定を行う途中で、90秒以上何も操作しなかったときは、待受中に戻ります。

こんなときは
設定を途中でやめるときは：[ストップ] ボタンを押してください。

用紙について

利用できる用紙について

用紙の種類によって、文字のかすれなど印刷品質が異なります。より鮮明な印刷品質をお求めの場合には、下記の用紙もお使いいただけます。

No.	製品名	製品番号	サイズ	枚数
1	プレミアムプラス フォト用紙L判(光沢)	Q6634A	L判	100
2	プレミアムプラス フォト用紙L判(光沢)	Q2505A	L判	40
3	プレミアムプラス フォト用紙(光沢)	Q1935A	切り取り後 10×15cm	20
4	プレミアムプラス フォト用紙(光沢)	Q1933A	A4	20
5	プレミアムプラス フォト用紙(つや消し)	Q1934A	A4	20
6	両面プレミアム インクジェット専用紙	Q1931A	A4	100
7	インクジェット用 上質普通紙(両面)	C5977B-IP	A4	250
8	インクジェット/レーザー用マルチ用紙	Q2400-IP	A4	500
9	プレミアムインクジェット専用紙	Q1948A	A4	200
10	アイロンプリント紙	C7917A	A4	10

*:日本ヒューレット・パッカード株式会社の製品です。

注意

- 感熱紙は使用できません。
- 用紙の種類によっては、用紙給紙不良や用紙がつまる原因となります。
  次のような用紙は使用しないでください。
  - 一度複数枚送りした紙
  - 湿っている紙
  - しわ・折れのある紙
  - 反っている紙
  - 破れている紙
- 用紙の品質はメーカーによって異なるため、印刷品質や用紙給紙性能が異なる場合があります。用紙を大量に購入されるときには、一度テストプリントすることをお勧めします。
- 用紙を補充するときは、用紙トレイに残っている用紙をすべて取り出し、追加する用紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた先端をそろえて奥まで差し込んでください。
- 用紙を長期間、用紙トレイにセットしたまま放置しないでください。用紙が湿気などを含み、劣化する原因となります。劣化した用紙をそのままお使いになると、用紙がつまる原因となります。

こんなときは

“ヨウシガ　ツマリマシタ”と表示されたときは: ⇒ P. 103

セットできる用紙枚数と排紙枚数について

用紙	一度にセットできる枚数	排紙枚数
普通紙/コート紙(60～90g/m²) *1	100	30
ハガキ(200g/m²以下)	30	10
封筒(75～90g/m²)	10	10
専用OHPフィルム(160g/m²)	30	10
L判フォト用紙(280g/m²)	30	10
A4サイズフォト用紙(280g/m²)	20	10
ラベル	20	10
アイロンプリント紙	1	1

*1:75g/m²を超える用紙の場合
一度にセットできる枚数:30枚、排紙枚数:10枚

用紙の保管について

用紙は、乾燥した冷暗所に保管してください。下記のような場所に保管、または用紙トレイに長期間セットしたままにすると、品質が劣化して先端が波打った状態になります。

- 日光の当たる場所
- 湿気の多い場所
- 高温になる場所

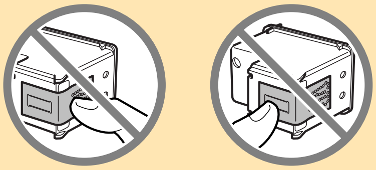
注意 品質が劣化した用紙は使用しないでください。用紙給紙不良の原因となります。

プリントカートリッジの保管について

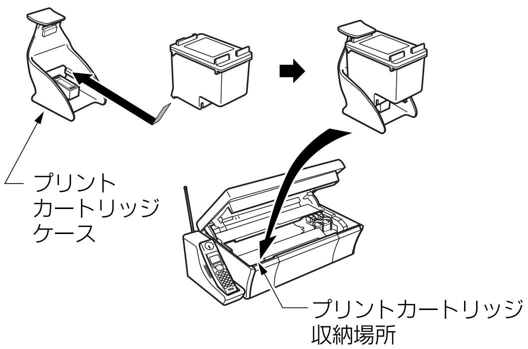
プリントカートリッジは、本機にセットする直前に開封してください。また、開封したプリントカートリッジを保管するときは、添付のプリントカートリッジケースにセットして、本機のプリントカートリッジ収納場所に入れてください。

注意

- 銅色の接触部やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目づまり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。



- 直射日光を避け、0℃〜35℃で保管してください。
- 結露しないように保管してください。
- プリントカートリッジの上面シールをはがしたり、分解したりしないでください。インクが漏れる原因となります。
- プリントカートリッジを振ったり、落としたりしないでください。ノズルからインクが漏れることがあります。
- 新品のプリントカートリッジでも保管状態（高・低温での保管や、ノズルを上向きで保管するなど）によっては、安定したプリント状態になるまで時間がかかる場合があります。
  クリーニングしても印刷がかすれるときは ⇒ P. 106



本機の接続のしかた

作業の流れ

本機を組み立て、使えるようになるまでの全体の流れは、次のようになります。

作業前の確認
- 確認1. 設置スペース （⇒ P. 18）
- 確認2. 電話コンセント （⇒ P. 18）

子機を組み立てる
- 通話範囲について （⇒ P. 19）
- 子機使用上のご注意 （⇒ P. 19）
- 梱包用テープ類をはがす （⇒ P. 20）
- 電池パックを取り付ける （⇒ P. 20）
- 充電器を電源コンセントに接続する （⇒ P. 21）
  ※ SP-P70HWの場合
- 子機を充電する （⇒ P. 21）
  ※ SP-P70HWの場合

親機を組み立てる
- 梱包用テープ類をはがす （⇒ P. 21）
- コードレス子機をコードレス子機用充電台に置く （⇒ P. 22）
- 電源に接続する （⇒ P. 22）
- プリントカートリッジを取り付ける （⇒ P. 22）
- 用紙をセットする （⇒ P. 23）
- プリンタの調整 （⇒ P. 24）
- アンテナを立ててのばす （⇒ P. 24）
- 時刻をセットする （⇒ P. 24）
- 電話回線に接続する （⇒ P. 25）
- 回線種別の設定 （⇒ P. 25）

契約しているサービスを確認する
- ナンバー・ディスプレイ （⇒ P. 78）
- キャッチホン・ディスプレイ （⇒ P. 87）
- キャッチホン （⇒ P. 43）
- モデムダイヤルイン （⇒ P. 88）

目的に応じた設定
- 自分の電話番号の登録 （⇒ P. 92）
- 自分の名前（発信元）の登録 （⇒ P. 93）

確認テストをする
- 組み立ての確認をする （⇒ P. 25）
- 電話がかけられることを確認する （⇒ P. 26）

パソコンに接続する
- インストール前の確認 （⇒ P. 26）
- ソフトウェアをインストールする （⇒ P. 27）

作業完了

本機を自由にご活用ください

準備

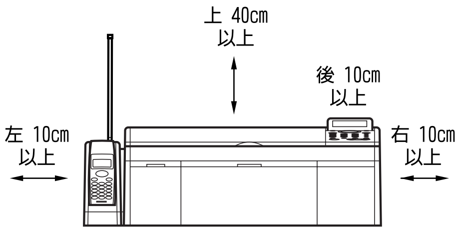
作業前の確認

確認1. 設置スペース

親機を置く場所には充分なスペースがありますか？
操作や消耗品類の交換、日常点検などを行うため、下図を参考に必要なスペースを確保してください。

注意

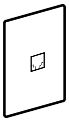
- 親機は壁にかけての使用はできません。
- 水平な場所に設置しないと、正常に使えないことがあります。
- 次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
  - ビジネスホン、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
  - 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタなど
  - テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
  - 自動車、オートバイ、ネオンサインなど
- 『安全にお使いいただくために』（⇒ P. 3）の記載も参照してください。
- 直射日光の当たる場所には置かないでください。
  送信／コピー画質が薄くなったり、本機の誤動作、故障の原因となります。



確認2. 電話コンセント

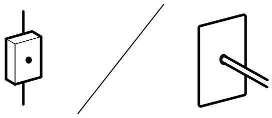
電話コンセントはどのタイプですか？
コンセントのタイプによって、そのまま接続できないことがあります。コンセントの形を確認してください。

モジュラ式



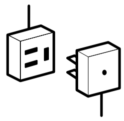
そのまま接続できます。
カチッとなるまで差し込んでください。

直接配線（ネジ止め式）



このままでは親機を接続できません。
NTT 東日本または NTT 西日本の窓口などにご相談ください。

（3ピン）プラグ式



このままでは親機を接続できません。
市販のモジュラ付電話キャップをお買い求めください。

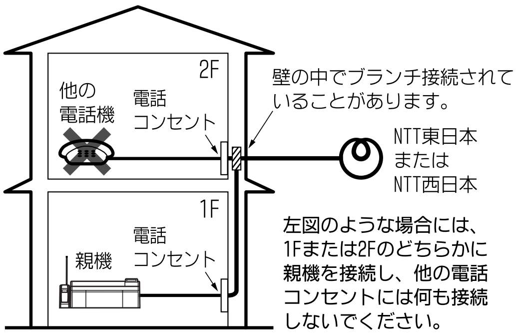
注意

直接配線（ネジ止め式）の接続工事には、工事担任者の資格が必要です。

■ *INSネット64を利用するには* ⇒ P. 101
■ *パソコンやモデムにつなぐには* ⇒ P. 101
■ *ADSL回線を利用するには* ⇒ P. 102

注意

- 他の電話機とブランチ接続（並列接続）にしないでください。
- 家の中に2つ以上電話コンセントがある場合、壁の中で配線がブランチ接続になっていることがあります（⇒ 右図）。
- ブランチ接続すると、次のようなことが起こります。
  - **電話がかかってきたときに呼出ベルが途中で鳴り止むことがあります。**
  - ファクスを送受信しているとき、ブランチ接続されている電話機の受話器をとると、ファクスの画像に異常が起きます。
  - ファクスが受信できないことがあります。
  - ダイヤルインサービスやナンバー・ディスプレイサービスが利用できません。

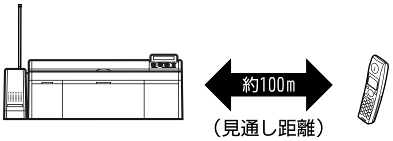


左図のような場合には、1Fまたは2Fのどちらかに親機を接続し、他の電話コンセントには何も接続しないでください。

子機を組み立てる

通話範囲について

●使用できる範囲は、親機と子機の間に障害物がない状態で約100mです。子機と親機が離れすぎると、通話できなくなったり、呼出ベルが鳴らなくなったりします。

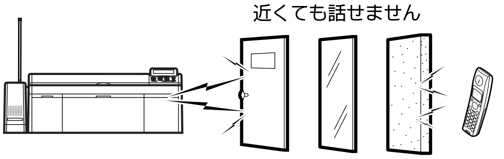


●子機と子機で通話（簡易子機間通話、SP-P70Hは子機増設時のみ）するときも、お互いが使用できる範囲（⇒上記）にいる必要があります。子機どうしが近くても、どちらかが使用できる範囲から外れると、子機どうしの通話はできなくなります。

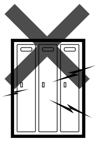
●建物内の異なる階層（上下）や屋外を経由すると、通話できないことがあります。

●親機のアンテナは、まっすぐ立ててお使いください。アンテナを倒した状態では、子機で通話できる範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。

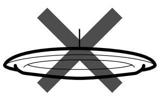
●親機と子機の間に鉄筋コンクリート、金属、アルミサッシなどの障害物がある場合は、電波が届きません。



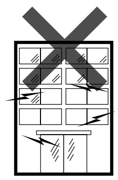
●親機と子機の間に何も障害物がなくても、次のような場合は、電波の届く範囲が狭くなったり、通話に雑音が入ることがあります。



・金属製家具の近くなど



・蛍光灯などの電気製品の近くなど



・マンションなど、鉄筋コンクリートの壁や金属製のドアなどが使用された建物の場合

子機使用上のご注意

●子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。

●子機は電波を使っているため、会話内容を傍受（第三者が無線電波を故意あるいは偶然に受信すること）される恐れがあります。注意してお使いください。

●通話中に「ピーッ、ピーッ…」という音がしたときは、通話圏外まで離れています。親機に近づいてください。通話圏外のままでいると電話が切れます。

●通話中に「ピッ、ピッ、ピッ、…」という音がしたときは、電池パックの充電残量が少なくなっています。このまま通話を続けると電話が切れます。電池パックの充電残量が少なくなる（電池電圧が約2.3V以下になる）と子機は使用できなくなります。

●近隣で他のコードレス電話機を使っていると、まれに誤動作する場合があります。子機で電話がつながらない、通話の途中で切れた、などの場合は、いったん切ってからもう一度かけ直してください。

●車のダッシュボードなど、直射日光の当たるところに放置しないでください。

●次のような機器の近くに親機を設置したり、近くで子機を使用したりしないでください。雑音や誤動作の原因となることがあります。
- ビジネスホン、ワープロ、無線機、コピー機、他のコードレス電話機など
- 携帯電話、PHS、ポケットベル、充電器およびACアダプタなど
- テレビ、ラジオ、蛍光灯、CDプレーヤー、ヘアドライヤー、電子レンジ、ステレオ、電気こたつなど
- 自動車、オートバイ、ネオンサインなど

●ふろ場やシャワールームなど、湿度の高いところで使用しないでください。

●自動車やオートバイが近くを通ったときや、電気製品や蛍光灯のスイッチを入れたり切ったりしたときなどに、雑音が入ることがあります。

●ぬれた手で子機を操作したり、子機に水をかけたりしないでください。子機には防水機能がありませんので、故障の原因となります。

準備

梱包用テープ類をはがす

子機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

電池パックを取り付ける

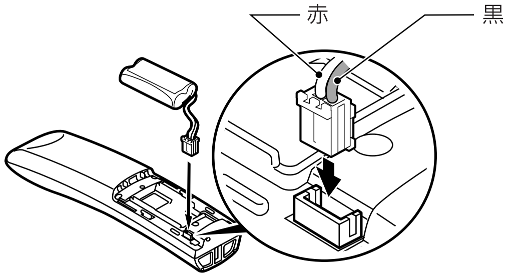
⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）をはがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックを発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
  また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

⚠注意

- 電池パックの取り付けは、充電器に置いたままで行わないでください。故障の原因となります。

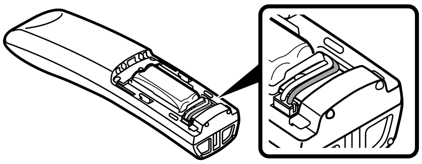
1 電池パックのコネクタを差し込む



⚠注意

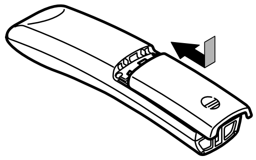
- コネクタの向きが合わない状態で、無理に差し込まないでください。発煙、故障の原因となります。

2 電池パックを取り付ける



3 電池カバーを取り付ける

子機の溝に合わせて、奥まで差し込みます。

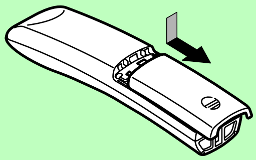


⚠注意

- 電池パックのコードを子機と電池カバーの間にはさまないように注意して取り付けてください。断線、故障の原因となります。

こんなときは

電池カバーを外したい：電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。



充電器を電源コンセントに接続する

SP-P70HWおよび子機を増設した場合

注意 テレビやステレオなどと同じ電源コンセントに充電器のプラグをつなぐと、雑音の原因となることがあります。できるだけ、別の電源コンセントにつないでください。近くに別の電源コンセントがない場合は、テレビやステレオなどから充電器を離してください。

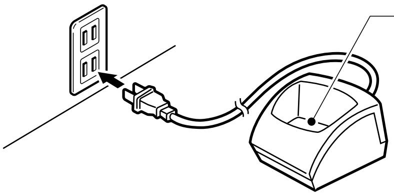
⚠危険

- 付属の充電器以外を使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。

⚠警告

- ぬれた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。漏電して、感電の原因となることがあります。
- 充電器および子機をぬらしたり、水につけたりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。

充電器の電源プラグを電源コンセントに差し込みます。



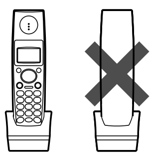
子機を充電する

SP-P70HWおよび子機を増設した場合

注意
- 1台目の子機は、親機のコードレス子機用充電台を使って充電します（⇒ P. 22）。SP-P70HWの場合、2台目の子機は、付属の充電器で充電できます。
- お買い上げ時は、充電されていません。
- 初めてご使用のときは10時間以上充電してください。十分に充電されていないと、使用時に「ピーッ、ピピッ」という音がして子機が使えません。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。
- 子機のディスプレイに [電池マーク] が表示されているときは、電池残量が足りないため、お使いになれません。

1 ボタンが前に向くように、子機を充電器に置く

裏返しに置くと、正しく充電されません。



［切］ボタンが赤く点灯し、充電が始まります。

⚠注意

- 充電器の充電部分に、金属物を載せないでください。発熱・やけどの原因となります。

■ *子機を増設するときは ⇒ P. 109*

こんなときは

子機を使わないときは：できるだけ、充電器に戻しておいてください。充電器に置いている間は［切］ボタンが赤く点灯していますが、充電し過ぎにはなりません。

子機の使用可能時間は（フル充電時）：連続通話時は約6時間、連続待受時は約130時間になります。

充電しても、すぐ電池がなくなって使えなくなるときは：電池パックの寿命（お使いになり始めてから約2年）の可能性があります（電池パックを交換するときは ⇒ P. 108）。

子機を長時間使わないときは：旅行や引越しなどで子機を長時間使わない、または充電できないときは、子機の電池パックのコネクタを抜いて保管してください。充電器の電源プラグをコンセントから抜いておいたり、子機を充電器から外して充電しないまま放置すると、電池パックが劣化して使えなくなることがあります。

親機を組み立てる

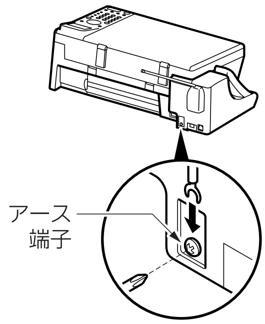
梱包用テープ類をはがす

本機と付属品をビニール袋から取り出し、貼り付けてあるテープ類をはがします。

注意 電源を入れる前に、必ずテープ類はすべてはがしてください。テープをはがさずに電源を入れると故障の原因となります。

⚠注意

- 特に湿気の多い場所で親機を使用する場合は、必ずアース接続をしてください。アース線は別売品となります。
アース接続端子は、親機の背面にあります。プラスドライバとアース線を準備してください。



■ *安全にお使いいただくために ⇒ P. 3*

準備

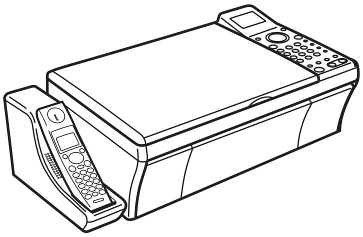
コードレス子機をコードレス子機用充電台に置く

注意

- 正しく置かれていない場合、プリント時の振動によって子機が落下する場合があります。
- お買い上げ時は、充電されていません。
- 初めてご使用のときは10時間以上充電してください。十分に充電されていないと、使用時に「ピーッ、ピピッ」という音がして子機が使えません。このときは、しばらくの間充電すると使えるようになります。
- 子機のディスプレイに  が表示されているときは、電池残量が足りないため、お使いになれません。

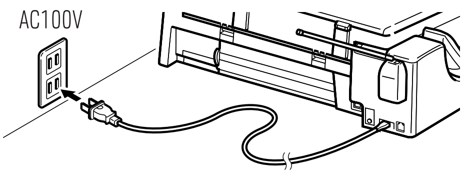
1 ボタンが前に向くように、コードレス子機をコードレス子機用充電台に置く

裏返しに置くと、正しく充電されません。



電源に接続する

1 電源プラグを電源コンセントに差し込む



ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

コードレス子機用充電台に置いた子機の［切］ボタンが赤く点灯し、充電が始まります。

⚠注意

●コードレス子機用充電台の充電部分に、金属物を載せないでください。発熱・やけどの原因となります。

注意

“シバラク　オマチクダサイ”と表示されている間は、プリントカートリッジを取り付けないでください。故障やトラブルの原因となります。

プリントカートリッジを取り付ける

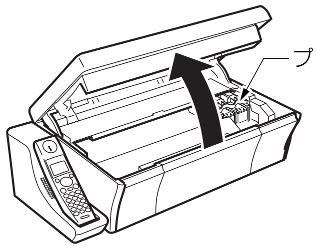
電源プラグをコンセントに差し込み、しばらく待つとディスプレイに“カートリッジ　ナシ”と表示されます。プリントカートリッジを取り付けてください。

注意

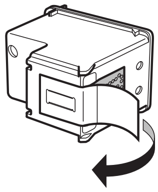
- プリントカートリッジは、必ず2つとも取り付けてください。1つだけ取り付けても、正しく組み立てができません。
- プリンタカバーを開くときは、手前からゆっくり引き上げてください。勢いを付けて引き上げると、原稿台カバーが開き、はねかえって閉まることがあります。
- プリントキャリッジは絶対に手で動かさないでください。故障やトラブルの原因となります。

1 プリンタカバーを開く

プリントキャリッジが、自動的に右端へ移動します。

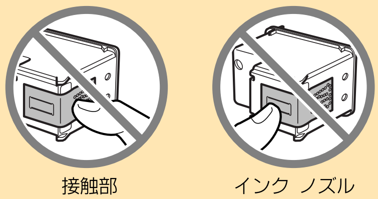


2 プリントカートリッジのテープをはがす



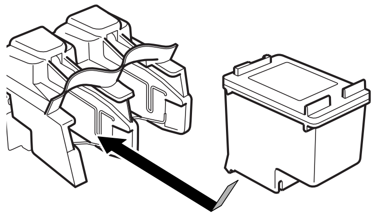
注意

銅色の接触部やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目づまり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。

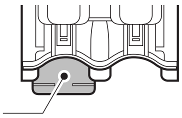


3 プリントキャリッジにカラープリントカートリッジを取り付ける

カラープリントカートリッジは、左側に取り付けます。

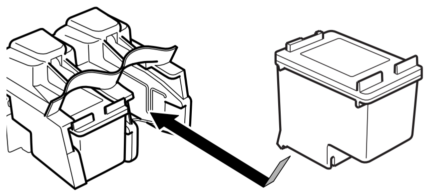


真上から見たところ

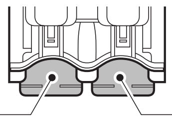


4 プリントキャリッジに黒プリントカートリッジを取り付ける

黒プリントカートリッジは、右側に取り付けます。

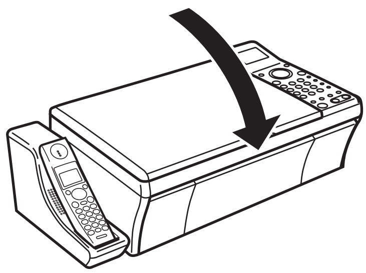


真上から見たところ



5 プリンタカバーを閉じる

手前にゆっくり引き下げます。

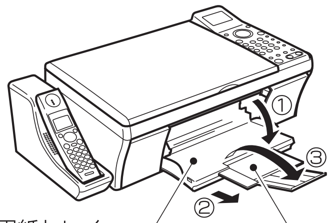


用紙をセットする

1 用紙トレイを開ける

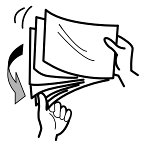
2 用紙補助トレイを引き出す

A4用紙をセットするときは、用紙補助トレイを広げてください。



3 用紙をさばく

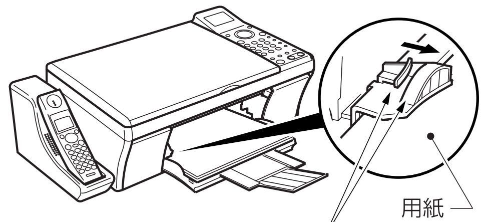
注意 用紙をさばかずにセットすると、一度に複数枚の用紙が送られることがあります。





4 印刷する面を「下向き」にして、用紙トレイに用紙をセットする

用紙の先端をそろえて、奥まで差し込みます。用紙の上端が用紙トレイの左右にある「用紙セットのめやす範囲」におさまっていることを確認してください。



注意

- 記録した文書を用紙排出口に30枚以上ためると、用紙トレイがつまることがあります。ただし、用紙の種類や記録されたインクの量によっては、30枚以下でもつまることがありますので、こまめに取り除いてください。
- セットできる枚数は、普通紙で100枚までです（⇒P. 16）。ただし、用紙の厚さや湿気の含み具合によって、100枚セットできない場合があります。

注意

- 受信したファクス文書をプリントする場合は、常に多めに用紙をセットしておいてください。ファクスで送られてきた原稿が1枚でも、原稿の長さによっては、2枚以上の用紙に分割してプリントされることがあります。このとき、用紙が1枚しかセットされていないと、プリントが終了できず、さらに用紙を1枚だけ補充しても、また1枚目からプリントされてしまいます。
- 用紙を補充するときは、用紙トレイに残っている用紙をすべて取り出し、追加する用紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側をそろえて奥まで差し込んでください。
- プリント中は用紙を追加しないでください。
- 用紙を長期間、用紙トレイにセットしたまま放置しないでください。用紙が湿気などを含み、劣化する原因となります。劣化した用紙をそのままお使いになると、用紙がつまる原因となります。
- 裏紙は使用しないでください。用紙がつまる原因となります。
- 『利用できる用紙について』（⇒ P. 16）に記載されているサイズの用紙以外は使用しないでください。トラブルの原因となります。

プリンタの調整

プリントカートリッジを取り付けると、ディスプレイに “プリンタチョウセイ　ヒツヨウ” と “プリントヲオス” が交互に表示されます。次の手順でプリンタの調整を行ってください。
また、ご利用開始後にこの表示が出た場合にも、次の手順を行ってください。

1 ファクス/プリント を押す

A4ヨウシ ヲ セットシ
セットヲ オス

2 登録/セット を押す

プ゜リンタ チョウセイチュウ

プリンタ調整シートが印刷されます。

『＜プリンタ調整シート＞』（⇒ P. 106）

これで、プリンタの調整ができました。

注意

プリントされた用紙は、すぐに取り除いてください。用紙排出口に置いたままにしておくと、用紙が引き込まれるときに一緒に引き込まれ、用紙づまりの原因となります。

こんなときは

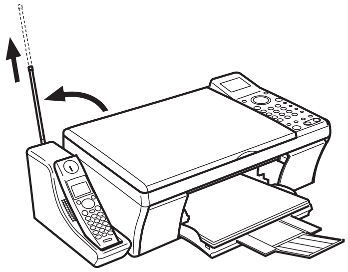
プリントカートリッジをクリーニングしたい：『プリントカートリッジのクリーニング』（⇒ P. 106）

印刷のテストがしたい：『テスト印刷』（⇒ P. 107）

アンテナを立ててのばす

プリンタの調整が終わると、ディスプレイに “アンテナ　ヲ　ノバシテ　セット　ヲ　オシテ　クダサイ” と表示されますので、親機のアンテナをまっすぐ立て、のばしてください。アンテナを倒したままでは、子機の通話範囲が狭くなったり、通話中に雑音が入ることがあります。

1 アンテナをまっすぐ立てて、のばす



2 登録/セット を押す

時刻をセットする

アンテナの設定が終わると、ディスプレイに “ジコク　セッテイ　シマス　セット　ヲ　オシテ　クダサイ” と表示されます。
続いて、現在の時刻をセットしてください。

1 登録/セット を押す

’05　1/ 1　 0:00

この下線（カーソル）位置の文字を修正できます。

2 年月日・時刻を入力する

- 年　：西暦の下2桁
- 月日：1~9 は 01~09 と入力
- 時刻：24時間制
  0~9 は 00~09 と入力

’05 09/20　13:30

この例では「0509201330」と入力します。

■ *入力を間違えた* … [<] ボタンまたは [>] ボタンを押し、間違えた文字の下にカーソルを移動させて、入力し直してください。

3 登録/セット を押す

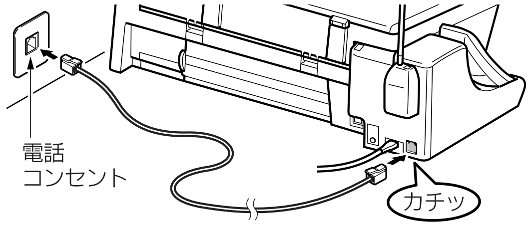
ｶﾝﾘｮｳ

こんなときは

時刻を設定し直すときは：『時計を合わせる＜時刻セット＞』（⇒ P. 91）

電話回線に接続する

付属の電話回線接続コードを、親機背面の回線端子と電話コンセントに差し込みます。



■電話コンセントのタイプ ⇒ P. 18
■ INSネット64を利用するには ⇒ P. 101
■パソコンやモデムにつなぐには ⇒ P. 101
■ADSL回線を利用するには ⇒ P. 102

回線種別の設定

電話回線に接続すると、ディスプレイに“シバラク オマチクダサイ”と表示されたあと、“デンワカイセン カクニンチュウ”と表示され、本機が自動的に回線種別（プッシュ回線／ダイヤル回線）を選びます。終了すると、“PB ニ セッテイシマシタ”と“DP ニ セッテイシマシタ”のどちらかが約3秒間表示されます。

こんなときは

“カイセンセッテイ シテクダサイ”と表示されたときは：手動で設定してください（『回線種別の自動／手動設定』（⇒ P. 91））。
ADSLモデム（IP電話機能付きも含む）／ISDNターミナルアダプタなどに本機を接続した場合は、回線種別を正しく選択できない場合があります。
ご利用の回線種別をご確認のうえ、手動で設定してください。
ご利用の回線種別がわからない場合は、最寄りのNTTの支店・営業所にお問い合わせください。

契約しているサービスを確認する

NTTのサービスなどを契約している方は、設定が必要な場合があります。□にチェック“✓”し、設定が必要なときは該当ページを見て設定してください。

NTTのサービスなどを契約していますか？

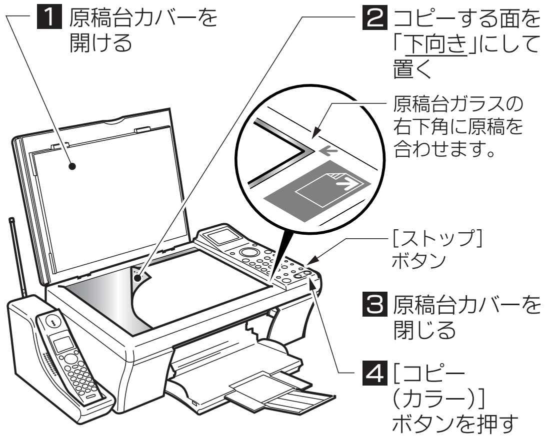
- □ ナンバー・ディスプレイ（⇒ P. 78）
  設定が必要です。
  ナンバー・ディスプレイの設定（⇒ P. 80）
  ※ ネーム・ディスプレイには対応していません。
- □ キャッチホン・ディスプレイ（⇒ P. 87）
  設定が必要です。
  キャッチホン・ディスプレイを設定する（⇒ P. 87）
- □ キャッチホン（⇒ P. 43）
  設定の必要はありません。
  キャッチホンを利用する（⇒ P. 43）
- □ モデムダイヤルイン（⇒ P. 88）
  設定が必要です。
  ダイヤルインの登録をする（⇒ P. 90）
  ※ PB信号方式のダイヤルインには対応していません。

確認テストをする

組み立て、接続が正しくできたか、確認のための動作テストを行います。

組み立ての確認をする

コピーをとって、確認してみましょう。



1 原稿台カバーを開ける

2 コピーする面を「下向き」にして、原稿を置く
原稿を、原稿台ガラスの右下角に合わせて置きます。

3 原稿台カバーを閉じる

4 (カラー) を押す
コピーが終わると用紙が排出されます。

準備

コピーを途中でやめるときは：[ストップ]ボタンを押してください。

白紙が出てきたときは：原稿の表裏を逆にセットすると白紙になります。コピーする面が「下向き」になっていることを確認し、もう一度コピーしてください。

紙づまりのときは："ヨウシガ　ツマリマシタ""トリノゾイテ　プリントヲオス"と交互に表示されたときは（⇒ P.103）

用紙を入れ忘れたときは："ヨウシガアリマセン""ヨウシヲイレ　プリントヲオス"と交互に表示されたときは（⇒ P.23）

電話がかけられることを確認する

電話をかけたり、受けたりできることを確認してください。

「ピーッ、ピピッ」と鳴ったときは：子機の電池残量が足りないため、お使いになれません。充電が完了するまでお待ちください。
お買い上げ直後の電池残量では、ごく短時間の通話しかできませんのでご注意ください。

電話をかけられないときは：『困ったときは(Q&A)』（⇒ P.111）

電話をかけられるが、受けられない：ナンバー・ディスプレイの契約と設定が一致しているかどうかを確認してください。

- 契約している場合　…「利用する」（お買い上げ時のまま）
- 契約していない場合 …「利用しない」に設定が必要
  『ナンバー・ディスプレイの設定』（⇒ P.80）

ダイヤルインの契約をしている場合は：（ダイヤルインを利用する ⇒ P.88）ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください（⇒ P.80）。

お買い上げ時の状態について

お買い上げ時の本機は、ファクスを自動で受けられるように設定されています（自動で受ける ⇒ P.95）。

お買い上げ時の設定は：『機能設定／登録早見表』（⇒ P.131）

操作を間違えたときは

親機の場合

ストップ

：[ストップ] ボタンを押すと、操作／設定がキャンセルされ、待受状態に戻ります。

子機の場合

切：充電器に戻すか、[切] ボタンを押してください。

パソコンに接続する

本機をパソコンに接続し、プリンタやスキャナとして使用するための準備をします。

注意　本機にはパソコン接続用のUSBケーブルが添付されておりません。必ずインストール前にUSBケーブルをご用意ください。

インストール前の確認

お使いのパソコンの取扱説明書などを参照して、次の内容を確認してください。

<パソコンの動作環境>

- OS
  Microsoft® Windows® 98 Second Edition
  Microsoft® Windows® Me
  Microsoft® Windows® 2000
  Microsoft® Windows® XP（SP1/SP2）
- CPU：Pentium® Ⅲプロセッサ 以上を推奨
- メモリ：256MB以上
- ハードディスクの空き容量：1GB以上
- CD-ROMドライブ
- USBコネクタ：USB1.1、USB2.0に対応

注意　Microsoft® Windows® XP Tablet PC Editionは対象外です。

ソフトウェアをインストールする

注意
- インストールには、本機の組み立て時間を含まずに、約5分かかります。
- USBケーブルは、手順12で接続します。先に接続すると、インストールが正常に終了できなくなりますので、絶対に接続しないでください。
- インストールの最後に、パソコンを再起動します。再起動の画面が表示されるまで、約1分かかることがあります。この間は、絶対に何も操作しないでください。操作すると、インストールが正常に終了できなくなることがあります。
- 万一、インストールが失敗してしまった場合には、CD-ROMに入っている「Cleanup.exe」を実行してください。クリーンアップが完了したあと、もう一度インストールをしてみてください。

Windows XP/2000/Meの場合

1 本機を準備する

本機を、パソコンからUSBケーブルが届く場所に置き、電源を入れておきます。

※ パソコンとの接続は、手順12で行います。まだ接続しないでください。

■ ***先に接続してしまった*** …【新しいハードウェアの検索ウィザード】画面で、[キャンセル] ボタンをクリックしてください。本機をパソコンから取り外したあと、手順3に進んでください。

2 Windowsを起動する

3 「SP-P70 ソフトウェア」CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

セットのしかたは、お使いのパソコンの取扱説明書などを参照してください。

4 [スタート] → [マイ コンピュータ] の順にクリックする

【マイ コンピュータ】画面が表示されます。

■ ***Windows 2000/Meの場合は*** … デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックしてください。

5 「SP-P70 (CDドライブ:)」アイコンをダブルクリックする

【SP-P70 (CDドライブ:)】画面が表示されます。

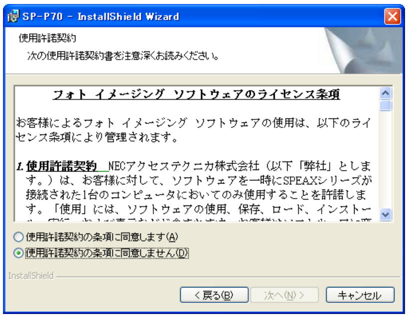
6 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする

次の画面が表示されます。



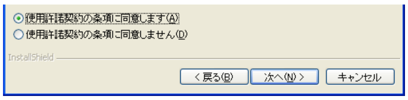
7 [次へ] ボタンをクリックする

【フォト イメージング ソフトウェアのライセンス条項】の画面が表示されます。



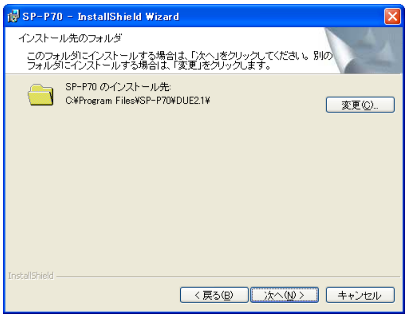
8 ライセンス条項をよく読み、同意できる場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックしてチェックを付ける

[次へ] ボタンがクリックできるようになります。



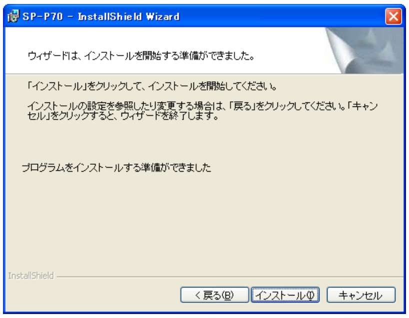
9 [次へ] ボタンをクリックする

【インストール先のフォルダ】の画面が表示されます。



10 ［次へ］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



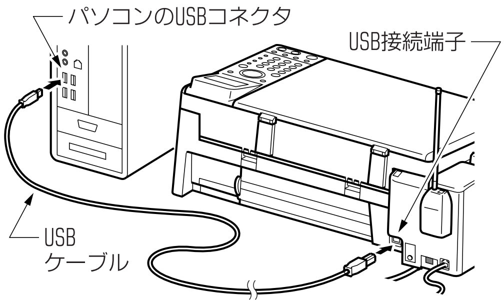
11 ［インストール］ボタンをクリックする

しばらく待つと、【現在デバイスをセットアップしています。】の画面が表示されます。

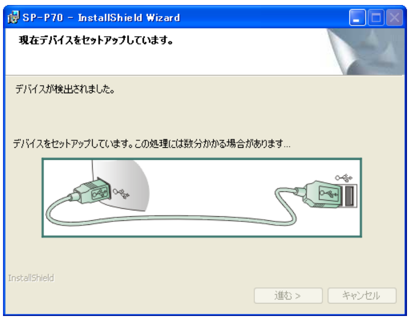


12 本機をパソコンに接続する

ご用意いただいたUSBケーブルで、パソコンのUSBコネクタと本機のUSB接続端子を接続します。



接続すると、次の画面が表示されます。



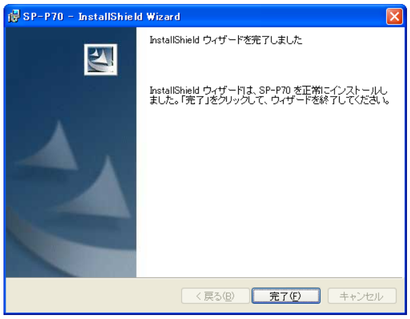
インストールが完了すると、画面の中央に“OK”が表示されます。



■***画面中央に“×”が表示された*** … USBケーブルをいったん外したあと、本機の電源が入っていることを確認して、USBケーブルを接続し直してください。

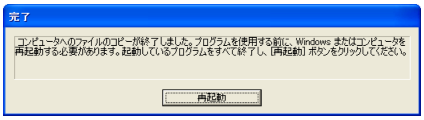
13 ［進む］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



14 ［完了］ボタンをクリックする

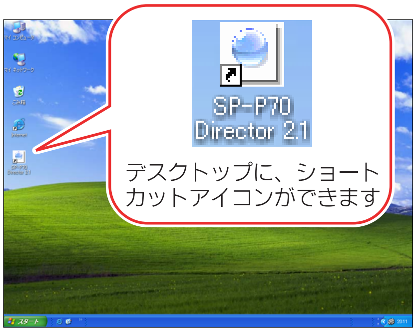
しばらく待つと、次の画面が表示されます。



■***再起動の画面が表示されない*** … 画面が表示されるまでに、約1分かかることがあります。表示されるまで、ほかの操作をしないでお待ちください。
ほかの操作をしたりパソコンをシャットダウンすると、インストールが正常に終了しなくなるのでご注意ください。

15 ［再起動］ボタンをクリックする

パソコンが自動的に再起動します。
再起動後、デスクトップに「SP-P70 Director 2.1」のショートカットアイコンができます。



これで、ソフトウェアのインストールができました。

Windows 98SEの場合

1 本機を準備する

本機を、パソコンからUSBケーブルが届く場所に置き、電源を入れておきます。
※ パソコンとの接続は、手順12で行います。まだ接続しないでください。

■***先に接続してしまった*** …【新しいハードウェアの検索ウィザード】画面で、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。本機をパソコンから取り外したあと、手順3に進んでください。

2 Windowsを起動する

3 「SP-P70 ソフトウェア」CD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする

セットのしかたは、お使いのパソコンの取扱説明書などを参照してください。

4 デスクトップの「マイ コンピュータ」アイコンをダブルクリックする

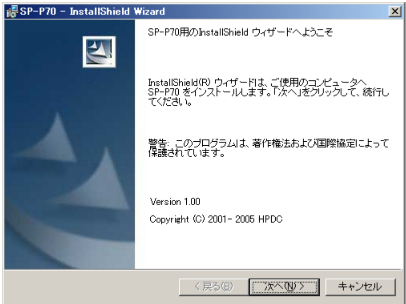
【マイ コンピュータ】画面が表示されます。

5 「SP-P70（CDドライブ:）」アイコンをダブルクリックする

【SP-P70（CDドライブ:）】画面が表示されます。

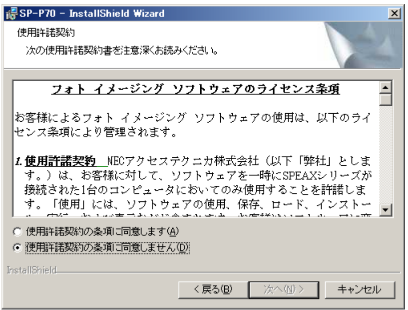
6 「Setup.exe」アイコンをダブルクリックする

次の画面が表示されます。



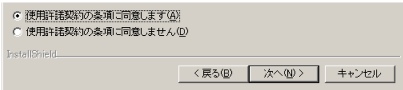
7 ［次へ］ボタンをクリックする

【フォト イメージング ソフトウェアのライセンス条項】の画面が表示されます。



8 ライセンス条項をよく読み、同意できる場合は、「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックしてチェックを付ける

［次へ］ボタンがクリックできるようになります。



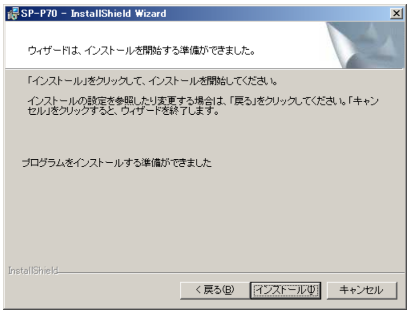
9 ［次へ］ボタンをクリックする

【インストール先のフォルダ】の画面が表示されます。



10 ［次へ］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



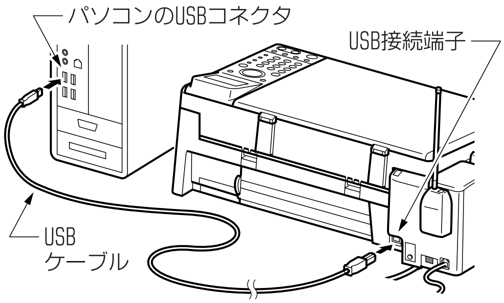
11 ［インストール］ボタンをクリックする

しばらく待つと、【現在デバイスをセットアップしています。】の画面が表示されます。



12 本機をパソコンに接続する

ご用意いただいたUSBケーブルで、パソコンのUSBコネクタと本機のUSB接続端子を接続します。



接続すると、次の画面が表示されます。



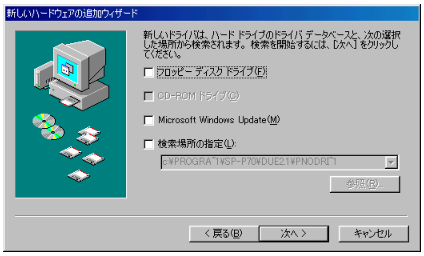
13 ［次へ］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



14 「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）」にチェックが付いていることを確認して、［次へ］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



15 ［次へ］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



16 ［次へ］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



17 ［完了］ボタンをクリックする

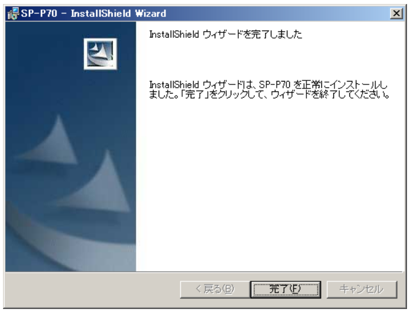
【現在デバイスをセットアップしています。】の画面に戻ったあと、各種ソフトウェアのインストールが始まります。
インストールが完了すると、画面の中央に“OK”が表示されます。



■ ***画面中央に“×”が表示された*** … USBケーブルをいったん外したあと、本機の電源が入っていることを確認して、USBケーブルを接続し直してください。

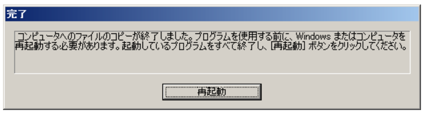
18 ［進む］ボタンをクリックする

次の画面が表示されます。



19 ［完了］ボタンをクリックする

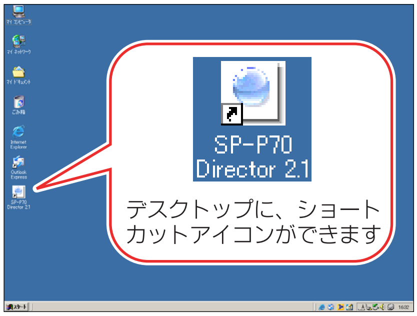
しばらく待つと、次の画面が表示されます。



■ ***再起動の画面が表示されない*** … 画面が表示されるまでに、約1分かかることがあります。表示されるまで、ほかの操作をしないでお待ちください。
ほかの操作をしたりパソコンをシャットダウンすると、インストールが正常に終了しなくなるのでご注意ください。

20 ［再起動］ボタンをクリックする

パソコンが自動的に再起動します。
再起動後、デスクトップに「SP-P70 Director 2.1」のショートカットアイコンができます。



これで、ソフトウェアのインストールができました。

こんなときは

ソフトウェアでできることを知りたい： CD-ROMに収録されている『パソコン活用編』（PDFマニュアル）を参照してください。

ソフトウェアをアンインストールしたい： 『ソフトウェアをアンインストールする』（⇒ P. 32）

インストールが失敗した： CD-ROM に入っている「Cleanup.exe」を実行してください。クリーンアップが完了したあと、もう一度インストールをしてみてください。

ソフトウェアをアンインストールする

ソフトウェアをインストールし直す場合などに、アンインストールすることができます。ここでは、例としてWindows XPの場合のアンインストール手順を説明しています。

1 Windowsを起動する

2 本機をパソコンから取り外す

USBケーブルを取り外します。

3 [スタート]→[コントロール パネル]→[プログラムの追加と削除]の順にクリックする

【プログラムの追加と削除】画面が表示されます。



■***Windows 2000の場合は*** … [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順にクリックし、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックすると、【アプリケーションの追加と削除】画面が表示されます。

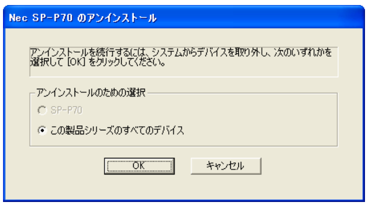
■***Windows Me/98SEの場合は*** … [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]の順にクリックし、「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックすると、【アプリケーションの追加と削除のプロパティ】画面が表示されます。

4 「SP-P70」をクリックする

■***「SP-P70」が2つある*** … クリックしてみて、[変更と削除]ボタンが表示される方をクリックした状態で、手順5に進んでください。

5 [変更と削除]ボタンをクリックする

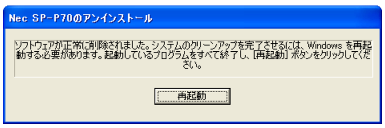
次の画面が表示されます。



■***Windows Me/98SEの場合は*** … [追加と削除]ボタンをクリックします。

6 [OK]ボタンをクリックする

アンインストールには、数分かかります。アンインストールが終わると、次の画面が表示されます。



7 [再起動]ボタンをクリックする

パソコンが自動的に再起動します。
アンインストールすると、デスクトップに表示されていたショートカットアイコンも消去されます。

これで、ソフトウェアのアンインストールができました。

こんなときは

アンインストールが失敗した：CD-ROMに入っている「Cleanup.exe」を実行してください。クリーンアップを行うと、不正な状態から復旧できます。

電　　話

本機で通話するときは、必ず子機を使います。親機で通話することはできません。

電話をかける

注意

- 親機を使用中（ファクスの送受信中、登録・設定中など）のときや、他の子機が通話中のときは、電話をかけられません。そのときは「ピーピーピー」という音が鳴ります。
- 通話中に親機の［ファクス／プリント］ボタンを押してから、［1］ボタン（送信）または［2］ボタン（受信）を押すと、「ピーピーピー」という音が鳴り、通話は切れます。



こんなときは

番号を間違えたら：［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手先の電話番号をダイヤルしてください。

「ツー…」と聞こえないときは：［切］ボタンを押してから［通話］ボタンを押してください。

充電器に置いていないとき：［通話］ボタンを押し、「ツー…」という音が聞こえたら相手先の電話番号をダイヤルしてください。

番号を確認してからかけるには： 相手先の電話番号をダイヤルしてから［通話］ボタンを押してください。番号を間違えたら［保留／消去］ボタンを押すごとに1文字ずつ取り消すことができます。

相手先の声を大きくしたい：『受話音量』（⇒ P. 43）

子機のボタンを押したときの音を消すには：『子機のキータッチトーンを設定する』（⇒ P. 93）

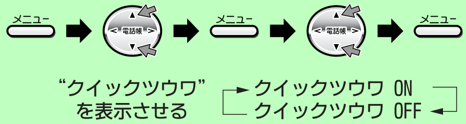
携帯電話へ電話をかけるときに自動的に通話サービスを利用するには：ケータイお得ダイヤル ⇒ P. 96

クイック通話とは：

- 「ON」のとき
  子機を充電器からとるだけでダイヤルできます。または電話に出られます。
- 「OFF」のとき（お買い上げ時）
  子機を充電器からとり、［通話］ボタンを押してダイヤルします。または電話に出ます。

こんなときは

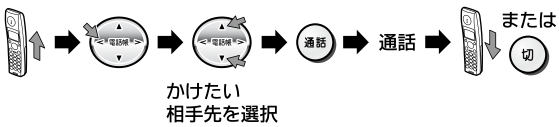
クイック通話の ON ／ OFF の切り替えかた：“クイックツウワ”を表示させたあと、“クイックツウワ　ON／OFF”を選びます。
ON／OFFの設定は、子機ごとに行えます。



同じ相手先にもう一度かける（リダイヤル）

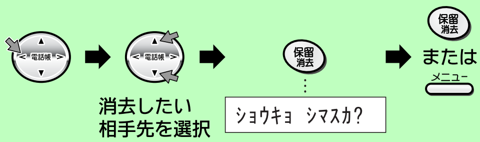
注意

- 最新のものから最大10件、1件につき最大20桁まで電話番号が記憶されています。
- リダイヤルには、話し中で通話できなかった相手先も含まれます。
- 親機でファクスを送った相手先に、子機からリダイヤルすることはできません。



こんなときは

リダイヤルから電話番号を消去するには：



消去を中止するには：確認メッセージを表示中に［▲］または［▼］ボタンを押し、“チュウシ　シマスカ?”と表示されたら［メニュー］ボタンを押してください。

電話

らくらく電話帳でかける

注意
- あらかじめ電話帳に登録してください（⇒ P. 37）。最大78件まで登録できます。
- 親機で登録した電話帳は、子機の電話帳に転送しなければ使えません（電話帳転送 ⇒ P. 39）。

待受中に [電話帳] ➡ [通話] ➡ 通話 ➡ または [切]

かけたい相手先を選択

■*待受中については ⇒ P. 14*

こんなときは

電話帳の表示順は：相手先名が「空白＋文字→数字→カナ（50音順）→アルファベット→記号→相手先名のない電話番号」の順に表示されます。

かけたい相手先をすばやく探すには：
- ディスプレイに相手先が表示されているときに、探したい相手先名の先頭の文字が含まれている行が割り当てられたダイヤルボタンを押します。
  例：「サトウ」さんを探すときは［3］（サ）を押す
  該当する行に登録がない場合は、ダイヤルボタンを押しても表示は変わりません。
- 同じ行に複数の相手先が登録されているときは、同じダイヤルボタンを押すたびに、その行の相手先が順番に表示されます。
  例：［3］（サ）を押すたびに「サトウ」「スズキ」…
- 相手先名が記号で始まる場合は、［0］を押すと“−”や“（”、“＊”などで始まる相手先名が表示されます。

ワンタッチダイヤルでかける

あらかじめワンタッチダイヤルに登録しておくと、ボタンを押すだけで電話をかけることができます。登録できる相手先は2件です。

こんなときは

ワンタッチダイヤルを登録するには：『ワンタッチダイヤルに登録する』（⇒ P. 40）

待受中に [1] または [2] ［ﾋﾛｼｸﾝ］ ➡ 通話

■*待受中については ⇒ P. 14*

電話を受ける

注意

子機のベルは、親機より少し遅れて鳴り、このとき［通話］ボタンが点滅します。

ベルが鳴る ➡ [子機] ➡ [通話] ➡ 通話 ➡ [子機] または [切]

こんなときは

充電器に置いていないときは：ベルが鳴っているときに［通話］ボタンを押すと、電話に出ることができます。

相手先の声を大きくしたい：『受話音量』（⇒ P. 43）

ベルの音やメロディを変えたい：『ベルの音色／メロディを変える』（⇒ P. 94）

ベル音量を調節するには：『ベル音量（子機）』（⇒ P. 43）

「ポー・ポー…」という音が聞こえたら：
ファクスが送られてきています。
- 「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください。」というメッセージが流れたら、［切］ボタンを押すか、充電器に戻してください。
- ファクスかんたん受信（⇒ P. 60）を「しない」に設定しているときは、メッセージが流れません。この場合は、下記の「無音だったら」と同じ操作をしてください。

無音だったら：ファクスかもしれません。下記の操作をしてみてください。
- 親機：［ファクス／プリント］ボタンを押してから［2］を押す
- 子機：［内線］ボタンを押してから［6］を押す

保留にする

通話の途中で相手先に待ってもらう間、メロディ音を流すことができます。メロディ音が流れている間は、こちらの声は相手先に聞こえません。

注意
- 10分以上保留にしたままでいると、自動的に保留が解除され、電話は切れます。
- 内線通話の保留はできません。
- 保留中に子機を充電器に戻しても、電話は切れません。

通話中に［保留消去］ ➡ 保留中 ➡ もう一度話すときは［保留消去］ ➡ 通話中

こんなときは

保留中、子機を充電器に戻したときは：
- クイック通話（⇒ P. 33）が「ON」のときは、子機を充電器からとると保留が解除されて、もう一度話しができます。
- クイック通話が「OFF」のときは、子機を充電器からとって［通話］ボタンを押すと保留が解除されて、もう一度話しができます。

保留メロディを変えたい：『保留メロディを変える』（⇒ P. 97）

子機から親機を呼び出す（親機ボイスコール）

子機から親機を音声で呼び出すことができます。
親機ボイスコール機能とは、子機から親機のベルを2、3 回鳴らしたあと、自動的に通話状態にして、スピーカから音声で呼び出す機能です。

注意
親機から子機へのボイスコールはできません。

子　機		親　機
1 待受中（⇒ P. 14）に［内線］を押す		
2 親機の内線番号［1ア］を押す ﾅｲｾﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ	➡	ベルが2、3回鳴る ﾅｲｾﾝ3 ｶﾗ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
3 呼出音が止まったら用件を伝える ﾅｲｾﾝ ﾂｳﾜﾁｭｳ	➡	スピーカからメッセージが聞こえる ﾎﾞｲｽｺｰﾙ ﾁｭｳ

子機と子機で通話する（内線通話）

子機を2台以上お使いの場合は、子機と子機で簡易子機間通話（トランシーバー方式）ができます。他の子機にかけるときは、その子機の内線番号をダイヤルします。
- 子機の内線番号
  - 内線番号2：コードレス子機（1台目）
  - 内線番号3：増設した子機（2台目）
  - 内線番号4：増設した子機（3台目）

  ※ SP-P70HWの場合は、内線番号3も付属の子機です。

注意
- 相手の子機と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話側と受話側が入れ替わります。
- 他の子機で外線通話中は、簡易子機間通話はできません。
- 三者通話はできません。
- 簡易子機間通話は保留できません。
- 送受話の切り替えおよび終話は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、簡易子機間通話は自動的に終了します。
- 増設子機は別売です。
『子機を増設するとき』（⇒ P. 109）

子　機		子　機
1 待受中（⇒ P. 14）に［内線］を押す		
2 通話したい子機の内線番号（⇒ 上記）を押す 送話側 ﾅｲｾﾝ ﾖｳｼﾝ	➡	ベルが鳴る ➡［通話］ 受話側 ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ
3 「ピポ」と鳴ったら用件を伝える	➡	用件を聞く
4 ［ｷｬｯﾁ］ 送受話が切り替わります。 受話側 ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ		送話側 ﾅｲｾﾝ ｿｳｼﾝ
5 用件を聞く	⬅	「ピポ」と鳴ったら用件を伝える

※ 以後、送受話を切り替えるときは、送話側が［キャッチ］ボタンを押します。

こんなときは

すべての子機を一斉に呼び出すには： 子機を2台以上でお使いの場合は、内線番号のかわりに［＊］を押すと、すべての子機を一斉に呼び出すことができます。親機から呼び出すことは、できません。

簡易子機間通話中に外線がかかってくると： 内線の呼び出しや内線通話が中断し、外線のベルが鳴ります。

外線電話を他の子機に転送する（外線転送）

子機を2台以上お使いの場合は、外線電話を子機から他の子機に転送することができます。
子機どうしでトランシーバ方式の会話のあと、外線電話を転送します。

注意

- 用件を伝える際、相手の子機と同時に話すことはできません。送話側が話したあと［キャッチ］ボタンを押すと、送話側と受話側が入れ替わります。
- 送受話の切り替えおよび転送は、送話側の子機のみ行えます。
- 送話側が話せる時間は、最大50秒間です。50秒を過ぎると、自動的に外線が受話側に転送されます。

子　機		子　機
1 外線通話中に [内線] を押す		
2 通話したい子機の内線番号（⇒ P.35）を押す 外線が保留され、相手先にはメロディが流れます。 送話側 ﾅｲｾﾝ ｿｳｼﾝ	➡	ベルが鳴る （子機を取り上げる）➡ [通話] 受話側 ﾅｲｾﾝ ｼﾞｭｼﾝ
3 「ピポ」と鳴ったら用件を伝える	➡	用件を聞く

※ 以後、送受話を切り替えるときは、送話側が［キャッチ］ボタンを押します。

子　機		子　機
4 （子機を置く）または [切] を押す	➡	外線とつながる

こんなときは

子機が出ないときは： ［内線］ボタンを押すと、外線との通話に戻ります。

外線電話を親機ボイスコールで他の子機に転送する

子機を2台以上お使いの場合は、親機ボイスコール機能を使って、他の子機に転送することができます。

注意

親機との通話は、子機からの通話のみです。

子　機		親　機
1 外線通話中に [内線] を押す		
2 親機の内線番号 [1ア] を押す ﾅｲｾﾝ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ	➡	ベルが2、3回鳴る ﾅｲｾﾝ3 ｶﾗ ﾖﾋﾞﾀﾞｼ
3 呼出音が止まったら用件を伝える ﾅｲｾﾝ ﾂｳﾜﾁｭｳ	➡	スピーカからメッセージが聞こえる ﾎﾞｲｽｺｰﾙ ﾁｭｳ
4 （子機を置く）または [切] を押す	➡	保留音が鳴る ﾎﾘｭｳﾁｭｳ ♪♪

別の子機		
5 子機で通話する（[通話] を押す）	➡	保留音が止まる ﾅｲｾﾝ2 ｼﾖｳﾁｭｳ

らくらく電話帳に登録する

よく使う電話番号や、ファクスを送る相手先の名前と電話番号を登録できます。
- 親機の電話帳：ファクス送信用
- 子機の電話帳：電話用

ファクス番号と電話番号が同じ番号の場合には、親機の電話帳を子機に転送することもできます（⇒P. 39）。

ナンバー・ディスプレイを利用している方へ
必ず、市外局番から登録してください。また、「＊」、「＃」、「－（ポーズ）」は入力しないでください。

- 登録できる件数　：197件まで
- 相手先名の文字数：12文字まで
- 電話番号の桁数　：32桁まで

親機に登録する

1 登録/セット を押す
トウロク：ナマエ？

■*電話番号だけ入力したい* … 手順3へ

2 相手先の名前を入力する
文字入力一覧表 ⇒ P. 138
ナマエ：ニッポンデンキ

■*文字入力を間違えた* … [＜] ボタンまたは [＞] ボタンで間違えた文字にカーソルを合わせ、[消去] ボタンを押して入力し直してください。

3 登録/セット を押す
ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：？

4 相手先の電話番号を、市外局番から入力する
ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：0312345678_

5 登録/セット を押す
ニッポンデンキ
トウロク シマシタ

■*続けて登録したい* … 手順2からくり返します。

6 登録を終了するときは、ストップ を押す

これで、電話帳に登録できました。

“デンワチョウ　フル”と表示された： すでに相手先が197件登録されています。不要な相手先を消去してから、新しい相手先を登録してください。『親機の電話帳の登録内容を消去する』（⇒ P. 38）

登録を途中でやめるには： [ストップ] ボタンを押します。

登録した内容を確認するには： 『親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする』（⇒ P. 98）

親機の電話帳を子機で使うには： 『親機の電話帳を子機に転送する（電話帳転送）』（⇒ P. 39）

親機の電話帳の登録内容を変更する

1 ファクス電話帳 を押し、変更したい相手先を表示させる

2 登録/セット を押す
ニッポンデンキ
1：ショウキョ　2：ヘンコウ

3 2 カ ABC を押す
ナマエ：ニッポンデンキ
TEL：0312345678

■*名前は変更しないとき* … 手順6へ

4 ファクス電話帳 を押し、変更したい文字にカーソルを合わせる

5 名前を入力し直す
[消去] ボタンを押すと、カーソルの文字が1文字消えます。

6 登録/セット を押す
ナマエ：NEC
TEL：0312345678

■*電話番号は変更しないとき* … 手順9へ

7 ファクス電話帳 を押し、変更したい数字にカーソルを合わせる

8 番号を入力し直す
[消去] ボタンを押すと、表示されているすべての数字が消えます。

9 登録/セット を押す
ヘンコウ シマシタ

これで、電話帳の登録内容を変更できました。

変更を途中でやめるには： [ストップ] ボタンを押します。

電話

親機の電話帳の登録内容を消去する

1 （ファクス電話帳）を押し、消去したい相手先を表示させる

2 （登録/セット）を押す

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
1:ｼｮｳｷｮ 2:ﾍﾝｺｳ

3 （1）を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?
1:ｼｮｳｷｮ 2:ﾁｭｳｼ

4 （1）を押す

ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ

これで、電話帳の登録内容を消去できました。

こんなときは **消去を途中でやめるには：**手順4で［2］（中止）を押し、［ストップ］ボタンを押してください。

子機で
- 登録できる件数　：78件まで
- 相手先名の文字数：12文字まで
- 電話番号の桁数　：18桁まで

子機に登録する

注意 各ボタンは60秒以内に操作してください。60秒経過すると「ピーピーピー」という音がして登録が中断されます。中断されたときは、手順1からやり直してください。

1 待受中（⇒ P. 14）に（メニュー）を押す

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾄｳﾛｸ

2 （メニュー）を押す

_ﾅﾏｴ?/ﾉｺﾘ78ｹﾝ

3 相手先の名前を入力する

文字入力一覧表 ⇒ P. 138

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

■ *文字入力を間違えた* … ［保留／消去］ボタンを押し、入力し直してください。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

4 （メニュー）を押す

_ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ?

5 相手先の電話番号を、市外局番から入力する

■ *12桁を超えて入力したとき* … スクロール表示されます。

■ *ポーズを入れるとき* … ［キャッチ］ボタンを押してください。

6 （メニュー）を押す

これで、電話帳に登録できました。

こんなときは

"デンワチョウ　フル"と表示されたときは：すでに相手先が78件登録されています。新しい相手先を登録する前に、不要な相手先を消去してください。『子機の電話帳の登録内容を消去する』（⇒ P. 39）

登録を途中でやめるには：［切］ボタンを押します。

リダイヤルに記録されている電話番号を登録するとき：待受中に［<］ボタンを押し、［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押して登録したいリダイヤルデータを表示させ、『子機に登録する』（⇒ 左記）の手順2に進んでください。リダイヤルデータの登録は、子機でのみ行うことができます。

子機の電話帳の登録内容を変更する

1 （電話帳）で、変更したい相手先を選択する

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

2 （メニュー）を押す

ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

■ *名前を変更しないとき* … 手順5へ

3 （電話帳）で、変更したい文字を点滅させる

4 名前を入力し直す

［保留／消去］ボタンを押すと、点滅している文字が1文字消えます。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

5 （メニュー）を押す

0312345678

■ *電話番号を変更しないとき* … 手順8へ

6 （電話帳）で、変更したい数字を点滅させる

7 番号を入力し直す

［保留／消去］ボタンを押すと、点滅している数字が1文字消えます。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての数字が消えます。

8 （メニュー）を押す

これで、電話帳の登録内容を変更できました。

こんなときは **変更を途中でやめるには：**［切］ボタンを押します。

子機の電話帳の登録内容を消去する

注意　子機の電話帳の登録内容は、子機ごとに消去してください。複数の子機の登録内容を一括して消去することはできません。

1 （電話帳）で、消去したい相手先を選択する　［ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ］

2 （保留消去）を押す　［ｼｮｳｷｮ ｼﾏｽｶ?］

3 （保留消去）または（メニュー）を押す　［ｼｮｳｷｮ ｼﾏｼﾀ］

これで、電話帳の登録内容を消去できました。

こんなときは　**消去を途中でやめるには：**手順2のあと［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押し、"チュウシ　シマスカ?"と表示されたら［メニュー］ボタンを押してください。

親機の電話帳を子機に転送する（電話帳転送）

親機に登録した電話帳の内容を、子機に転送することができます。電話帳の転送のしかたには、次の2つがあります。

- 電話帳の内容を一度に全部転送する（一斉転送）
- 1件ずつ転送する（個別転送）

転送した内容は、子機の電話帳に追加されます。

注意

- 子機から親機には転送できません。
- 19桁以上の電話番号は転送されません。
- 子機に同じ相手先名と電話番号が登録されているときは転送されません。
- 子機の電話帳がすでに78件登録されていると転送できません。
- 子機の電話帳の登録件数が78件になった時点で転送は終了します。
- 転送中に着信があったり、エラーが発生したときは、その時点で転送を終了します。
- 転送中、相手先の子機には"テンソウ　チュウ"と表示され、使用できません。

一度に転送する（一斉転送）

1 （メニュー）を押す　［ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ］

2 （2 カ ABC）を押す　［ﾃﾞﾝﾜ ｷﾉｳ］

3 （登録/セット）を押す

4 （メニュー）を6回押す　［ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾃﾝｿｳ］

5 （登録/セット）を押す　［ｲｯｾｲ ﾃﾝｿｳ <>］

6 （登録/セット）を押す　［ﾃﾝｿｳｻｷ ﾅｲｾﾝ2 <>］

7 （登録/セット）を押す　［ﾃﾝｿｳｶｲｼﾊ ﾌｧｸｽ/ﾌﾟﾘﾝﾄｦ ｵｽ］

8 （ファクス/プリント）を押す　［ﾅｲｾﾝ2 ﾃﾝｿｳ ﾁｭｳ 1/45］ : ［ｾｲｼﾞｮｳ ｼｭｳﾘｮｳ］

「転送件数／登録件数」が数字で表示されます。

9 **子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する**

待受中に［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押すと、登録してある電話帳が表示されます。

これで、親機の電話帳を一度で子機に転送できました。

こんなときは

"…○○　ケン　テンソウデキマセン"と表示されたときは：転送しようとした相手先電話番号の中に19桁以上の番号が混ざっていると、その番号は転送されません。転送されなかった件数が表示されます。手順9のあと、転送されなかった番号を修正して、1件ずつ転送（個別転送）するか、一度に転送（一斉転送）し直してください（個別転送 ⇒ P. 40）。

"テンソウ　デキマセン"と表示されたときは：転送しようとした相手先電話番号が、すべて19桁以上の場合に表示されます。この場合、番号はすべて転送されません。電話帳の内容を修正して、転送し直してください。

"デンワチョウ　フル"と表示されたときは：すでに子機の電話帳に78件登録されています。子機の電話帳から不要な相手先を消去して、転送し直してください。『子機の電話帳の登録内容を消去する』（⇒ 左記）

子機が2台以上あるときは：手順6のあと［<］ボタンまたは［>］ボタンを押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください（⇒ P. 35）。

電話

1件ずつ転送する（個別転送）

1 「一度に転送する（一斉転送）」（⇒ P. 39）の手順1〜5の操作を行う

2 [ファクス電話帳] を押し、“コベツ テンソウ”を表示させる

コベツ テンソウ <>

3 [登録/セット] を押す

テンソウサキ ナイセン2 <>

4 [登録/セット] を押す

アイテ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678

5 [ファクス電話帳] を押し、転送したい登録内容を表示させる

6 [登録/セット] を押す

テンソウカイシハ
ファクス/プリントヲ オス

7 [ファクス/プリント] を押す

ナイセン2
テンソウ チュウ
⋮
セイジョウ シュウリョウ
⋮
アイテ:ニッポンデンキ
TEL:0312345678

■*続けて転送するには* … 手順5からくり返してください。

8 終了するときは [ストップ] を押す

9 子機の電話帳の内容を見て、正しく転送されたことを確認する

これで、親機の電話帳を1件ずつ子機に転送できました。

こんなときは

“テンソウ　デキマセン”と表示されたときは：電話番号が19桁以上の相手先を転送しようとすると、手順6で[登録／セット]ボタンを押したあと、“テンソウ　デキマセン”と表示されます。

“デンワチョウ　フル”と表示されたときは：すでに子機の電話帳に78件登録されています。子機の電話帳から不要な相手先を消去して、転送し直してください。『子機の電話帳の登録内容を消去する』（⇒ P. 39）

子機が2台以上あるときは：手順3のあと［<］ボタンまたは［>］ボタンを押し、転送したい子機の内線番号を表示させてください（⇒ P. 35）。

ワンタッチダイヤルに登録する

よく電話をかける相手先の名前や電話番号をワンタッチダイヤルに登録しておくと、簡単に電話をかけることができます。

確認

ナンバー・ディスプレイを利用している方へ
必ず、市外局番から登録してください。また、「＊」、「＃」、「－（ポーズ）」は入力しないでください。

登録できる相手先は2件です。相手先名は12文字まで、電話番号は最大18桁まで登録できます。

1 待受中（⇒ P. 14）に [メニュー] を押す

■*初めてワンタッチボタンへの登録をするときは* … [1] または [2] を押すと、手順3の画面から登録を始めることができます。

2 [電話帳] で、“ワンタッチダイヤル1”または“ワンタッチダイヤル2”を表示させる

ワンタッチダイヤル1

3 [メニュー] を押す

_ナマエ?

■*電話番号だけ入力するには* … 手順5に進んでください。

4 相手先の名前を入力する

文字入力一覧表 ⇒ P. 138

ニッポンデンキ

■*文字入力を間違えたときは* … ［保留／消去］ボタンを押し、入力し直してください。［保留／消去］ボタンを2秒以上押し続けると、表示されているすべての文字が消えます。

5 [メニュー] を押す

_デンワバンゴウ?

6 相手先の電話番号を市外局番から入力する

■*12桁を超えて入力したときは* … スクロール表示されます。
■*ポーズを入れるときは* … ［キャッチ］ボタンを押してください。

7 [メニュー] を押す

これで、よくかける相手先をワンタッチダイヤルに登録できました。

こんなときは

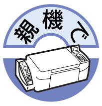
登録内容を変更・削除するには：登録と同じ手順でボタンを押すと、手順3と手順5で、すでに登録されている相手先の名前と電話番号が表示されます。ここで［保留／消去］ボタンを押し、それぞれ入力し直すと変更できます。また、それぞれを空白にすると、削除したことになります。

通話中の会話を録音する（通話録音）

子機で通話中の会話を、親機の操作で録音することができます。メモのかわりにご利用ください。また、録音内容を相手先に聞かせることもできます。

通話録音をする

注意
- 子機からの操作では通話録音できません。
- 内線通話は、通話録音できません。
- 通話録音の1件は留守電の用件1件分としてカウントされます。留守電の用件と合わせた合計が約15分または最大30件まで録音できます。
- 留守電の用件が30件録音されているときや、録音時間の残りが20秒以内のときは、通話録音できません。
- 受信したファクスの内容が残っていると、録音できる時間は少なくなります。



子機で通話中 ➡ 留守 ➡ 通話録音 ➡

ﾂｳﾜ ﾛｸｵﾝ ﾁｭｳ

➡ 終了するときは ストップ

■*通話を保留したいときは* … 通話録音中は保留できないため、通話録音を終了してから保留にしてください。

こんなとき

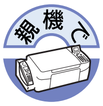
録音の途中でメモリがいっぱいになったときは：録音の途中でメモリがいっぱいになると、「メモリがいっぱいです」というメッセージが自分側だけに流れ、画面に“メモリガ　イッパイデス”と表示されます。メモリがいっぱいになると、録音は中断されます。

通話録音した会話を聞く／不要な用件を消去するには：通話録音した内容は、留守番電話に録音された用件と同じ操作で再生／消去することができます。

録音された用件を聞く：親機で（⇒ P. 46）
子機で（⇒ P. 46）
不要な用件を消去する：親機で（⇒ P. 47）
子機で（⇒ P. 47）

通話中の相手先に録音内容を聞かせる

通話録音した内容を再生し、相手先に聞かせることができます。このとき、留守番電話に録音されている用件があると、その内容も再生されます。



注意　子機では、録音内容を相手先に聞かせることはできません。

子機で通話中 ➡ 再生 ➡ 再生 ➡ 終了するときは ストップ

ｻｲｾｲﾁｭｳ　　1/ 1

■*再生中の操作* ⇒ P. 46

電話

音量を調整する

操作後、目的の音量が鳴った時点で設定されます。外線と内線に共通の設定です。

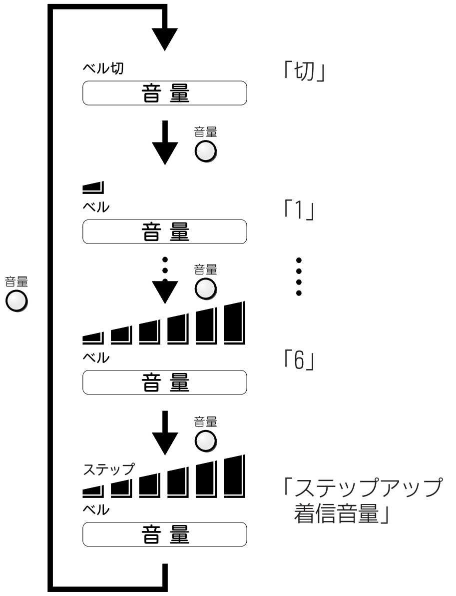
親機で

ベル音量（親機）

注意　ベル音量を調節すると、外線着信時と親機ボイスコール時のベル音量が同時に同じ音量に設定されます。

待受中に音量を調整する

「切」、「1」～「6」、「ステップアップ着信音量」の8種類から選ぶことができます。
[音量]ボタンを1回押すと、現在のベル音量で鳴ります（「切」に設定してあるときは鳴りません）。そのあと［音量］ボタンを押すたびに切り替わります。



こんなときは

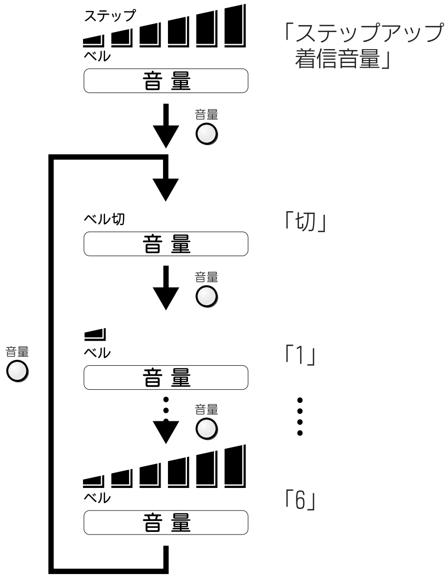
ステップアップ着信音量を選ぶと：ベル音量が1から6の大きさにむかって、だんだん大きくなります。このとき、親機のコードレス子機用充電台に置く子機のベル音量は「切」にしてください（子機には「ステップアップ着信音量」の機能はありません）。

待受中のベル音量調整の音を止めたいときは：［ストップ］ボタンを押します。

着信中に音量を調整する

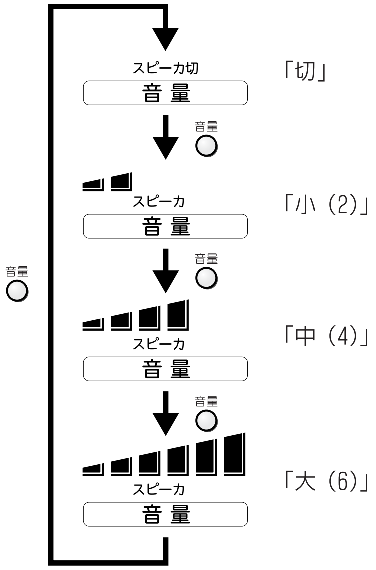
ステップアップ着信音量を選んでいたときには、［音量］ボタンを押すと今鳴っている音量から一段階上がります。次回の着信時には、その段階の音量で鳴ります。

注意　着信中の場合には、ステップアップ着信音量に変更できません。



モニタスピーカと留守電の再生音量

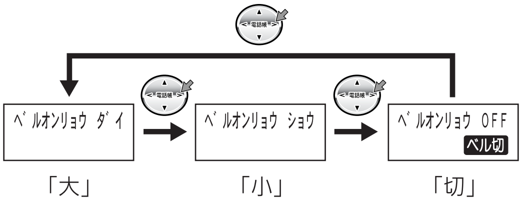
用件再生中、応答メッセージの再生中や親機ボイスコール中などに操作します。
「切」、「小」、「中」、「大」の4種類から選ぶことができます。



子機で

ベル音量（子機）

待受中に操作します。
待受中（⇒ P.14）に［>］ボタンを押すと、現在のベル音量が表示されます。
そのあと［>］ボタンを押すたびに「ピッ」と音がして、次の順番で音量が変わります。

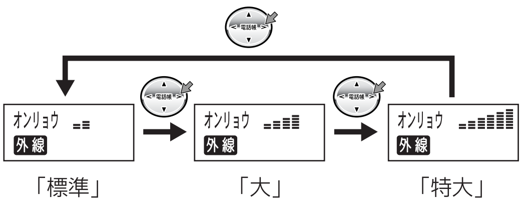


こんなときは

キータッチトーン（⇒ P.93）が「OFF」のときは：「ピッ」または「ピー」という音が聞こえません。

受話音量

［通話］ボタンを押し、「ツー」という音が聞こえている状態で操作します。
［>］ボタンを押すたびに、次の順番で音量が変わります。



こんなときは

通話中に受話音量を調整するときは：通話状態のまま［>］ボタンを押すと、押すたびに音量が変わります。

トーン信号に切り替える

ダイヤル回線をご利用の方だけお読みください。
テレホンサービスやファクス情報サービスなどを利用するときに操作してください。

注意

この操作は、一時的にトーン（プッシュ）信号を送出するための操作です。電話を切ると元に戻ります。

電話をかける ➡ ［*トーン］ ➡ **ダイヤルボタンを押す**
（トーン信号で送られる）

キャッチホンを利用する

キャッチホンを利用すると、通話中に、別の方からかかってきた電話に出ることができます。

ご利用にあたって

キャッチホンを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。
キャッチホン・ディスプレイを契約（有料）すると、通話中にかけてきた相手先の番号を表示できます。
『キャッチホン・ディスプレイについて』（⇒ P.87）

注意

ファクスの送受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送受信が中断されることがあります。

キャッチホンを受ける

注意

キャッチホンが入っていないときに［キャッチ］ボタンを押さないでください。電話が切れてしまいます。

通話中 ➡ 「プルルー・プップッ」（キャッチホンの着信音） ➡ ［キャッチ］ ➡

➡ **あとからかけてきた相手先と通話** ➡ ［キャッチ］**を押すごとに通話の相手先を切り替えられる**

こんなときは

一方と通話中、もう一方の相手先は：自動的に保留になります。

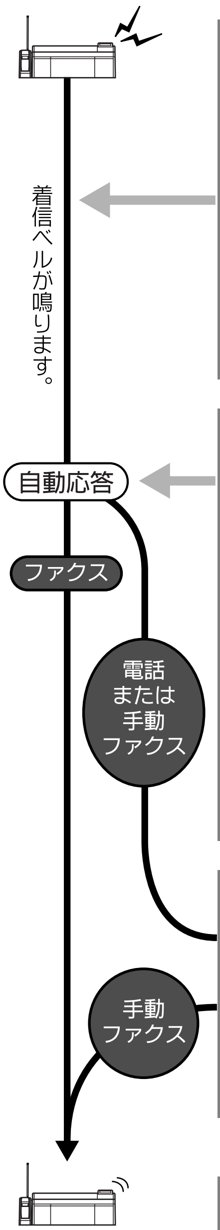
キャッチホンで入った相手先がファクスのときは：いったん最初の相手先に切り替え、電話を切ってもらってください。そのあと、あとから入ったファクスに切り替え、手動受信の操作をしてください。
『手動で受ける（手動受信）』（⇒ P.57）
ただし、手動受信するタイミングによっては、ファクスを受信できないことがあります。

電話

留　守　電

「留守」を設定すると

外出していて電話に出られないときなどに、相手先の用件を録音することができます。相手先がファクスのときは自動で受信できます。



この間に子機をとると…

- **電話のときは**
  そのまま話ができます。
- **ファクスのときは**
  「ポー・ポー…」のあと、メッセージが流れます。子機を置くと、ファクスを受信します（ファクスかんたん受信（⇒ P. 60）を「する」に設定しているとき）。
- **無音のときは**
  ファクスかもしれません。手動受信を行ってください（⇒ P. 57）。

着信ベルが設定回数※鳴ったら…

相手に留守番電話の応答メッセージが流れます。

※ 留守設定時の着信ベルが鳴る回数は、トールセイバの設定（⇒ P. 50）により変わります。

- **トールセイバ「しない」…**
  （お買い上げ時の設定）
  いつも着信ベル回数で設定した回数だけ鳴ります。
- **トールセイバ「する」…**
  用件が録音されていると2回鳴り、用件がないときは5回鳴ります。

- **電話のときは**
  相手の用件が録音されます。
  この間に子機をとれば話ができます。録音が終わると［留守］ボタンが点滅します。
- **手動ファクスのときは**
  相手が送信操作をすれば受信します。

ファクスを受信します。

こんなときは

着信ベルの鳴る回数は：トールセイバの設定（⇒ P. 50）によって変わります。

- トールセイバ「する」のとき
  用件が録音されていると、2回鳴って留守機能がはたらきます。用件が録音されていないときは、5回鳴って留守機能がはたらきます。
- トールセイバ「しない」のとき
  録音されている用件の有無にかかわらず、着信ベル回数（⇒ P. 95）で設定した回数だけ鳴ります。
  着信ベル回数を0回に設定していると、着信ベルは鳴りません。また着信モード（⇒ P. 95）を「電話専用」にして、トールセイバを「しない」に設定している場合は、着信ベルが5回鳴って留守機能がはたらきます。

外出先から「留守」を設定したり、用件を聞くには：外線リモート ⇒ P. 48

用件が録音されたら外出先に転送するには：用件転送 ⇒ P. 49

録音できる時間は：1件につき最大3分、合計で約15分まで録音できます。また、合計15分を超えない限り最大30件まで録音できます。

相手先を確認してから電話に出るには（居留守モニタ）：留守設定中に電話がかかってくると、相手先の声がモニタスピーカから聞こえます。相手先を確認してから子機をとって電話に出ることができます。

本機の固定応答メッセージの種類は：流れる応答メッセージは、電話がかかってきたときの本機の状態によって異なります。
下記の応答メッセージは、固定応答メッセージのため、変更、消去することはできません。

- 通常
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、そのまま送信してください」
- 用件は録音できないが、ファクスは受信できるとき（用件がいっぱいのとき）
  「ただいま留守にしております。ファクシミリの方は、そのまま送信してください。電話の方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- 用件は録音できるが、ファクスは受信できないとき
  「ただいま留守にしております。電話の方は、ピーという音のあとに、お名前とご用件をお話しください。ファクシミリの方は、恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」
- 用件の録音も、ファクスの受信もできないとき（メモリがいっぱいのとき）
  「ただいま留守にしております。恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」

応答メッセージの音声を変えるには：
『応答メッセージの音声を変更する』（⇒ P. 47）
『応答メッセージの音声を設定する＜音声選択＞』（⇒ P. 94）

留守番電話を使う

「留守」を設定する

親機で

注意

- 「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、「留守」を設定できません。
- 「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、すぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。
- メモリ文書があるときは、アラームを解除して手動でメモリ文書をプリントするか、消去してください。

『不要な用件を消去する』（⇒ P. 47）
『メモリに受信した文書をプリントする』（⇒ P. 58）
『メモリに蓄積されたファクスを消去する』（⇒ P. 62）

留守 ➡ ［留守］ボタンが点灯し、応答メッセージが聞こえる
用件が残っていると点滅します。

| オウトウメッセージ ジョセイ | …… | ルスセッテイ |

こんなときは

モニタスピーカ音量を調節するには： 応答メッセージが流れている間に調節してください（『モニタスピーカと留守電の再生音量』（⇒ P. 42））。

応答メッセージを選択するには： 本機の固定応答メッセージは、男性の声、または女性の声の、どちらかを選択できます（⇒ P. 47）。

［留守］ボタンを押しても応答メッセージが聞こえないときは：

- モニタスピーカ音量が「切」になっていると聞こえません。モニタスピーカ音量を調節してください（『モニタスピーカと留守電の再生音量』（⇒ P. 42））。
- 着信中に［留守］ボタンを押した場合、「留守」は設定されますが、モニタスピーカからはメッセージが聞こえません。

子機で

注意

子機で「留守」を設定するときは、応答メッセージを選択することはできません。

待受中に メニュー ➡ 「リモコンソウサ」を選択 ➡

➡ メニュー ➡ 20秒以内に 7 ➡ 「留守設定をしました」 ➡

| リモコンチュウ |

➡ （子機を置く）または 切

■待受中については ⇒ P. 14

こんなときは

［7］を押す前に「ピーピーピー」と音がして待受中に戻ったときは： 親機が使用中です。しばらくしてから操作し直してください。

「留守」を解除する

親機で

注意

- 録音された件数と用件が自動で再生されます。
- 用件が1件再生されるごとに、録音された日時が音声で流れます（タイムスタンプ）。
- 用件が全部再生されると、自動的に止まります。途中で止めたいときは［ストップ］ボタンを押してください。

用件があると［留守］ボタンが点滅する ➡ 留守 ➡

| 9月20日 06:05　2
ルスセッテイ | …… | ヨウケン サイセイ |

用件の件数

［留守］ボタンが消灯します。

➡ 「用件は○件です」用件が再生される ➡ 「用件は以上です」

| サイセイチュウ　1/ 2 | | サイセイシュウリョウ***・・・ |

1秒ごとに“*”が表示されます。

こんなときは

録音された用件がないときは： 「用件はありません」というメッセージが流れます。

確認

ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は
用件再生時に相手先の電話番号が表示されます。電話帳に登録されている場合は、相手先の名前が表示されます。

留守電

子機で

待受中に メニュー ➡ 電話帳 「リモコンソウサ」を選択 ➡

➡ メニュー

ﾘﾓｺﾝﾁｭｳ

➡ 20秒以内に 9 ➡ 「留守設定を解除しました」 ➡

➡ または 切

■待受中については ⇒ P. 14

こんなときは

[9] を押す前に「ピーピーピー」と音がして待受中に戻ったときは：親機が使用中です。しばらくしてから操作し直してください。

録音された用件を聞く

録音された用件は、消去するまで何回でも聞くことができます。留守設定中でも用件を聞くことができます。

親機で

注意

モニタスピーカ音量が「切」になっていると、用件が聞こえません。モニタスピーカ音量を調節してください（⇒ P. 42）。

再生 ➡ 用件が再生される ➡ 「用件は以上です」

ｻｲｾｲﾁｭｳ　　2/3	ｻｲｾｲｼｭｳﾘｮｳ*・・・・

1秒ごとに“*”が表示されます。

こんなときは

用件が録音されていないときは：「用件はありません」というメッセージが流れます。

再生中の操作は：⇒ 右記

子機で

待受中に メニュー ➡ 電話帳 「リモコンソウサ」を選択 ➡

➡ メニュー

ﾘﾓｺﾝﾁｭｳ

➡ 20秒以内に 2 ➡ 用件が再生される ➡

➡ または 切

■待受中については ⇒ P. 14

こんなときは

再生中の操作：⇒ 下記

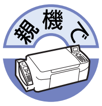
再生中の操作

用件をとばして再生したり、再生中の用件をはじめから聞き直したりできます。

押すボタン		本機の動き
親機	子機	
再生	2	再生速度を切り替えます（通常→高速→低速→通常…）。
⏮ 1	1	1回押すと、再生中の用件をはじめから再生します。続けて2回押すと、1つ前の用件を再生します。
⏭ 3	3	1回押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
ストップ	#	再生を止めます（そのあとに親機の場合は［再生］ボタン、子機の場合は［2］を押すと、1件目から再生します）。
消去	8	再生中の用件を消去します。その用件を再生終了後「消去しました」というメッセージが流れます。

不要な用件を消去する

再生した用件を一度にすべて消去したり、特定の用件を消去したりすることができます。一度消去した用件は再生できません。



特定の用件だけを消す

消去したい用件を再生中に 消去 ➡「消去しました」➡ ストップ

サイセイチュウ　3/5

聞き終わった用件を一度に消す

一度も再生しなかった用件は消去されません。少しでも再生した用件は消去されます。

再生終了後"*"が表示(約6秒間)中に 消去 ➡「再生済みの用件を消去しました」

サイセイシュウリョウ＊＊＊・・・

すべての用件を一度に消す<全用件消去>

注意　一度も再生していない用件もすべて消去されます。

メニュー ➡ 4 ➡

ルスバンデンワ キノウ

➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡「消去しました」

ゼンヨウケン ショウキョ



特定の用件を消去する

消去したい用件を再生中に 8 ➡「消去しました」➡（子機を置く）または 切

用件をすべて聞いてから一度に消去する

再生終了後「ピッピッピッ…」と聞こえている間（6秒間）に 8 ➡

➡「再生済みの用件を消去しました」➡（子機を置く）または 切

応答メッセージの音声を変更する

留守 ➡

オウトウメッセージ ジョセイ

➡ ファクス電話帳

どちらかを押して、男性の声か女性の声を選ぶ
オウトウメッセージ　ダンセイ：男性の声
オウトウメッセージ　ジョセイ：女性の声

■応答メッセージの音声をあらかじめ設定しておくには … 『応答メッセージの音声を設定する<音声選択>』（⇒ P. 94）

外出先から留守番電話を操作する（外線リモート）

リモート操作の設定とパスワードの登録

お買い上げのとき：**リモート操作しない**

リモート操作の設定とリモートパスワード（4桁の数字）を登録しておくと、留守設定中に録音された用件を外出先から聞くことができます。

注意　パスワードは大切な番号です。他人に知られないようにしてください。

メニュー ➡ 4（タ GHI）［ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ ｷﾉｳ］ ➡ 登録/セット ➡

➡ メニュー 2回押す［ﾘﾓｰﾄ ｿｳｻ　○×］ ➡ ○（リモート操作する）を選ぶ ➡

○×：リモート操作する
○×：リモート操作しない

➡ 登録/セット［ﾘﾓｰﾄﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ _］ ➡ パスワードを入力 ➡

➡ 登録/セット［ｶﾝﾘｮｳ］

こんなときは

パスワードを間違えたときは：［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

すでにパスワードが登録されているときは：新しいパスワードを入力すると、前のパスワードは消去されます。

外出先から「留守」を設定する

注意
- プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- 着信モードを「電話専用」に設定（⇒ P.95）しているときは、外出先から「留守」を設定することはできません。
- ダイヤルインをご利用の場合は、外出先から親機用の番号に電話をかけて、以下の操作をしてください。

外出先から本機に電話をかける ➡ 呼出音が変わる（回線が接続されます。） ➡ ［#］ ➡
➡ リモートパスワード（4桁の数字）をダイヤルする ➡ ［#］ ➡ 「パスワードが一致しました」 ➡
➡ 「留守設定をしました」 ➡ 電話を切る

こんなときは

「パスワードを入れ直してください」というメッセージが聞こえたときは：再度［#］を押す→リモートパスワードの入力→［#］を押す、の順で操作してください。3回間違えると電話が切れます。その場合は、電話をかけ直してください。

外出先から用件を聞く

注意
- 外出前に「留守」を設定しておいてください。
- プッシュ信号が出せる電話機で操作してください。
- 外線リモート操作コードは、応答メッセージの再生中に入力してください。
- 携帯電話やPHSから用件を聞くときは、雑音が入らないように送話口を手でおおって操作してください。
- リモート操作で用件を聞いても、用件は消去されません。

外出先から本機に電話をかける ➡ 応答メッセージが聞こえたら ［#］ ➡
➡ 応答メッセージが止まる ➡ リモートパスワード（4桁の数字）をダイヤルする ➡ ［#］ ➡
➡ 「パスワードが一致しました。用件は○件です。」 ➡ 用件再生 ➡ 電話を切る

こんなときは

［#］を押しても応答メッセージが止まらないときは：リモートパスワードをダイヤルする前に、再度［#］を押してください。

外出先から用件の有無を簡単に知りたい：トールセイバを「する」に設定してください（トールセイバ ⇒ P.50）。

ナンバー・ディスプレイを利用している場合は：用件が再生されたあと、相手先の番号が音声で聞こえます。

再生以外の操作をしたい：上記の操作でリモートパスワードを入力して［#］を押したあと、外線リモート操作コード（⇒ P.49）を入力してください。

こんなときは

再生中に早送りや巻き戻しをしたい：外線リモート操作コード（⇒ 下記）を入力してください。

用件再生終了後、何も操作しないと：約20秒後に電話が切れます。

外線リモート操作コード

『外出先から用件を聞く』（⇒ P. 48）の操作で、リモートパスワーを入力して［#］を押したあと、または再生中に以下の操作を行うことができます。

操作内容	リモート操作コード（押すボタン）	本機の動き
巻き戻し	[#] [1] [#]	再生中に押すと、1つ前の用件を再生します。先頭の用件を再生中にこの操作を行うと、先頭の用件を再度再生します。
用件再生	[#] [2] [#]	用件を先頭から再生します。再生中に押すと再生速度を切り替えます（通常→高速→低速→通常…の順）。
早送り	[#] [3] [#]	再生中に押すと、次の用件を再生します。続けて押すと、さらに次の用件を再生します。
用件転送設定	[#] [6] [1] [#]	用件転送を設定します（⇒ P. 50）。
用件転送解除	[#] [6] [2] [#]	用件転送を解除します（⇒ P. 50）。
留守設定	[#] [7] [#]	「留守」を設定します。
用件消去	[#] [8] [#]	再生中に押すと、再生中の用件が消去されます。用件をすべて聞いたあと「ピッピッピッ…」と音がしている間（約6秒間）に押すと、再生済みの用件がすべて消去されます。
留守解除	[#] [9] [#]	「留守」を解除します。

用件が録音されたら外出先に転送する（用件転送）

留守設定中に用件が録音されたとき、あらかじめ登録した携帯電話や外出先の電話機に転送することができます。

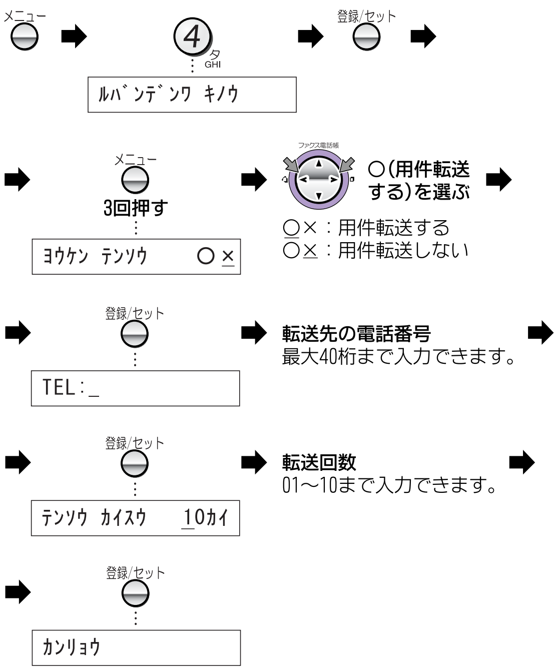
転送先を登録する

お買い上げのとき：**用件転送しない**

留守設定中に録音された用件を転送するときは、あらかじめ用件転送を「する」に設定し、携帯電話や外出先の電話機の番号を登録しておきます（⇒ 下記）。

注意

- 用件を転送するときは、リモート操作の設定とリモートパスワードの登録を必ず行ってください（⇒ P. 48）。
- 転送先の電話番号は1ヵ所のみ登録できます。
- 転送先につながらなかったときのために、用件転送を行う回数を最大10回まで設定できます。
- プッシュ信号が出せる電話機を通知先に指定してください。
- 転送先が携帯電話またはPHSのときは、電源が入っていない場合や電波が届かない場合など、転送されないことがあります。
- 録音された用件が6秒未満のときは、転送されません。
- おやすみモードのときは用件転送されません。
- 用件が録音されてから転送されるまでの間に、停電などで親機の電源が切れた場合は、用件転送されません。



留守電

転送先の電話番号を間違えたときは：［<］ボタンまたは［>］ボタンでカーソル移動するか、［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

登録した電話番号や転送回数を変えたい：最初から登録し直すと、新しい登録内容に上書きされます。

用件転送を設定／解除する

用件転送の設定を行うと、「留守」の設定／解除と同時に用件転送が設定／解除されます。

用件転送をやめたい：用件転送を「しない」に設定してください（⇒ P. 49）。

外出先から用件転送だけを解除するには：外線リモート操作コードの「＃62＃」を押してください（⇒ P. 49）。

用件転送先での受けかた

注意　あらかじめリモート操作の設定とリモートパスワードの登録が必要です（⇒ P. 48）。

1　**転送先で電話に出る**

2　**「用件転送をします。パスワードを入れてください」というメッセージが聞こえている間、またはメッセージのあと3秒以内に [#] を押す**

メッセージが止まります。
止まらないときは、再度［＃］を押してください。

3　**リモートパスワード（4桁の数字）を入力し、最後に [#] を押す**

メッセージが5回流れる間にパスワードを入力しないと、自動的に電話が切れます。

4　**「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが聞こえ、用件が再生される**

「パスワードを入れ直してください」と聞こえたら、［＃］→パスワード入力→［＃］と入力し直してください。ただし、パスワードを3回間違えると、電話が切れます。

5　**用件再生が終わったら電話を切る**

再生以外の操作をしたい：手順4の「パスワードが一致しました。用件は○件です」というメッセージが流れたあと、外線リモート操作コード（⇒ P. 49）を入力してください。

再生中に早送りや巻き戻しをしたい：外線リモート操作コード（⇒ P. 49）を入力してください。

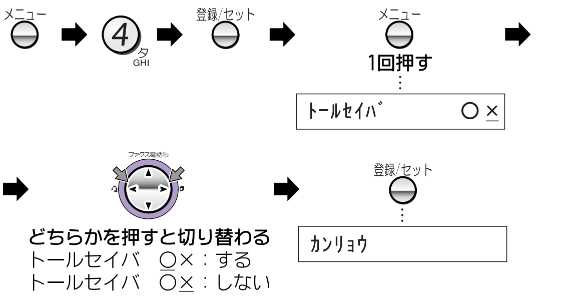
くり返して用件転送される：パスワードを入力する前に電話を切ると、回線によってはこのようなことが発生します。この場合は、『用件転送先での受けかた』（⇒ 左記）の手順を最後まで行ってください。

転送先が話し中のときや誰も電話に出ないときは：5回までは1分間隔、以降は30分間隔で、設定した回数まで自動的にかけ直します。それでもつながらないときは、用件転送が止まります。また、自動的にかけ直そうとしている間（待受中）に別の用件が録音されたときは、最初に録音された用件に対する用件転送の回数分だけかけ直します。

用件の有無を外出先から簡単に確かめる（トールセイバ）

お買い上げのとき：**しない**

トールセイバとは、留守設定時に外出先から用件の有無を簡単に確かめる機能です。トールセイバを利用すると、留守番電話が応答するまでのベルの回数が、用件が録音されているときは2回、録音されていないときは5回になります。呼出音を3回聞き終わってから電話を切ると、通話料金をかけずに、用件の有無を確かめることができます。



注意
- 一度聞いた用件でも、残っていると（消去しない限り）トールセイバがはたらきます。
- 子機は親機より遅れてベルが鳴り始めます。そのため、留守番電話の用件が録音されているときに着信した場合、トールセイバを「する」に設定していると、子機が鳴らずに留守応答になることがあります。

おやすみモード

電話やファクスが着信したときのベルを鳴らしたくないときや、ファクスの動作音が気になるときは、おやすみモードをご利用ください。

注意
- おやすみモードにすると、留守設定時の動作になります。なお、ベルは鳴りません。ファクスを受信すると、プリントされずにメモリに記憶されます。
- おやすみモードのときは、ベル音、留守電着信時のモニタ音、キータッチトーン、ファクス受信終了時の「ピー」という音は出ません。
- おやすみモードにする時間帯をあらかじめ設定しておくと、毎日自動的におやすみモードに切り替えることができます（⇒ P. 52）。

おやすみモードの設定／解除

おやすみモードにすると

相手先から電話やファクスがかかってきます。

↓

着信ベルは鳴りません。

●ナンバー･ディスプレイを利用すると、特定の相手先からかかってきたときにだけ着信ベルを鳴らすことができます（とくていコール ⇒ P. 83）。

↓

回線が接続され、相手先に留守番電話の応答メッセージが流れます。

相手先がファクスのとき

↓

受信内容はプリントされずメモリに記憶されます。

●受信終了時の「ピー」という音は聞こえません。

●手動で受信内容をプリントしてください（⇒ P. 58）。

↓

ファクスの受信が終わると［おやすみ］ボタンが点滅します。

相手先が電話のとき

●このとき、相手先がファクスの送信操作をするとファクスの受信が始まります。

↓

相手先の用件が録音されます。

●留守設定のときと異なり、相手先の声はモニタスピーカから聞こえません。

↓

録音が終わると［留守］ボタンが点滅します。

注意
メモリが残り少ないときに、メモリ残量を超える量の文書が送られてくると、受信できないことがあります。

おやすみモードの設定のしかた

注意
- おやすみモードにしようとして、「用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、おやすみモードを設定できません。
- 「メモリ残量が少なくなっています。不要な用件を消去してください」というメッセージが流れる場合は、すぐに用件がいっぱいになります。不要な用件を消去してください。
- メモリ文書があるときは、アラームを解除して、手動でメモリ文書をプリントするか、消去してください。

『不要な用件を消去する』（⇒ P. 47）
『メモリに受信した文書をプリントする』（⇒ P. 58）
『メモリに蓄積されたファクスを消去する』（⇒ P. 62）

1 おやすみ を押す　　ﾙｽｾｯﾃｲ

［おやすみ］ボタンと［留守］ボタンが点灯します。

これで、おやすみモードが設定できました。

おやすみモードの解除のしかた

用件が録音されているときは、［留守］ボタンが点滅します。ファクスの受信文書があるときは［おやすみ］ボタンが点滅します。

1 おやすみ を押す

［おやすみ］ボタンと［留守］ボタンが消灯します。用件が録音されているときは、用件が再生されます。ファクスをメモリに受信しているときは、手動でプリントしてください（⇒ P. 58）。

これで、おやすみモードが解除できました。

こんなときは
留守設定をしたあとに、おやすみモードにしたとき：おやすみモードを解除しても、留守設定は解除されません。［留守］ボタンを押すと、おやすみモードと留守設定の両方が解除されます。

おやすみモードのタイマ切替

おやすみモードにする時間帯を設定しておくと、毎日自動的に、おやすみモードに切り替えることができます。お買い上げのときは、おやすみモードのタイマ切替は設定されていません。

- おやすみモードの開始時刻と終了時刻は、別々に設定します。
  - 設定した開始時刻と終了時刻になると、自動的におやすみモードが設定／解除されます。
  - 開始時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードが設定されます。解除は手動で行います。
  - 終了時刻だけを設定すると、自動的におやすみモードが解除されます。設定は手動で行います。
- 次の場合は、おやすみモードを自動的に解除したとき、留守設定になります。
  - 留守設定してからおやすみモードにしたとき
  - 用件が録音されているとき

注意

- 留守録の用件がいっぱい（メモリフル）のときは、おやすみモードに切り替わりません。不要な用件を消去してください。
- メモリ文書があるときは、アラームを解除して、手動でメモリ文書をプリントするか、消去してください。
  『不要な用件を消去する』（⇒ P. 47）
  『メモリに受信した文書をプリントする』（⇒ P. 58）
  『メモリに蓄積されたファクスを消去する』（⇒ P. 62）
- おやすみモードのときに停電した場合、おやすみモードは解除されます。時計を再セットするまで、おやすみモードのタイマ切替は機能しません。『時計を合わせる<時刻セット>』（⇒ P. 91）

1 メニュー を押す

2 4（タ GHI）を押す　　ﾙｽﾊﾞﾝﾃﾞﾝﾜ ｷﾉｳ

3 登録/セット を押す

4 メニュー を4回押す　　ｵﾔｽﾐﾓｰﾄﾞ ﾀｲﾏｷﾘｶｴ

5 登録/セット を押す　　ｵﾔｽﾐ ｵﾝ　○×

6 ファクス電話帳 を押し、カーソルを移動させる

○×　：開始時刻を登録する
○×　：開始時刻を登録しない

■***開始時刻を登録しないときは*** … 手順9に進んでください。

7 登録/セット を押す　　ｵﾔｽﾐ ｵﾝ ＝ 00:00

8 開始時刻を入力する

24時間制で入力してください。0～9を入力するときは、頭に「0」を付けてください。

9 登録/セット を押す　　ｵﾔｽﾐ ｵﾌ　○×

10 ファクス電話帳 を押し、カーソルを移動させる

○×　：終了時刻を登録する
○×　：終了時刻を登録しない

■***終了時刻を登録しないときは*** … 手順13に進んでください。

11 登録/セット を押す　　ｵﾔｽﾐ ｵﾌ ＝ 00:00

12 終了時刻を入力する

24時間制で入力してください。0～9を入力するときは、頭に「0」を付けてください。

13 登録/セット を押す　　ｶﾝﾘｮｳ

これで、おやすみモードのタイマ切替が設定できました。

こんなときは

時間を間違えて入力したとき：［<］ボタンまたは［>］ボタンでカーソル移動するか、［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

ファクス

注意 本機には、カラーファクス機能はありません。カラー原稿を読み取っても、相手にはモノクロで送信されます。また、相手がカラーファクスを送っても、本機で受信する画像はモノクロになります。

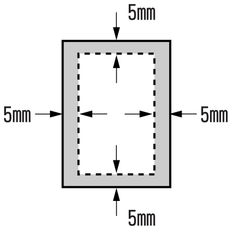
ファクスの前に

読み取れる原稿のサイズ

・**サイズ（最大）**：210（幅）× 297（長さ）mm

読み取れる範囲

原稿の縁から5mmの範囲内にある文字などは、読み取れない場合があります。



原稿セットのしかた

注意
・クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。原稿台ガラスに傷が付く原因となります。
・インクや修正液、糊（のり）などが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。



1 原稿台カバーを開ける

2 送る面を「下向き」にして、原稿を置く
原稿台ガラス面の右下角に原稿を合わせて置きます。

3 原稿台カバーを閉じる

これで、原稿がセットできました。

■ファクスを送る ⇒ P. 54

こんなときは **2枚以上の原稿を送るときは：**1枚ずつ原稿を読み込みます（⇒ P. 54）

写真や小さい文字の原稿のとき（画質モード）

文字の小さい原稿や、写真のように濃淡のある原稿を鮮明にファクスすることができます。送信の前に画質モードを設定してください。

ファクスの画質モードの決めかた

下表を参考に、画質モードを決めてください。

お買い上げのとき：**フツウ**

画質モード	原稿の状態
フツウ（普通）	文字がこのくらいの大きさのとき
チイサイ（小さい）	文字がこのくらいの大きさのとき
コマカイ（細かい）	文字がこのくらいの大きさのとき
シャシン（写真）	写真のとき 

注意
・「コマカイ」または「シャシン」に設定すると、「フツウ」や「チイサイ」に比べ、送信に時間がかかります。
・黒い部分が多い原稿や色地の原稿、縦の罫線のある原稿は送信に時間がかかります。
・色地の原稿を送るときは「フツウ」または「チイサイ」に設定してください。「コマカイ」や「シャシン」で送ると送信時間が極端に長くなることがあります。
・「コマカイ」に設定した場合、相手先の機種によっては「チイサイ」で送信することがあります。

ファクス

ファクスの画質モードを選ぶ

1 メニュー を押す　　｜ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ｜

2 ③（サ DEF）を押す　　｜ﾌｧｸｽ ｷﾉｳ｜

3 登録/セット を押す　　｜ﾌｧｸｽｶﾞｼﾂ ﾌﾂｳ <>｜

4 ファクス電話帳 を押して、画質モードを選ぶ

押すごとに、画面の表示が変わります。

→ フツウ ⇄ チイサイ ⇄ コマカイ ⇄ シャシン ←

5 登録/セット を押す　　｜ｶﾝﾘｮｳ｜

これで、ファクスの画質モードが選べました。

注意

- 原稿の色に注意してください。
- カラーのボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります（ブルーブラックや紺色に近い青は問題ありません）。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れないことがあります。
- 送信される絵は、モノクロコピーの絵とは異なります。
- 原稿がカラーの場合、黄色などの淡い色以外は、すべて黒色と同様に読み取ります。このため、色地に他の色で文字や絵が描かれた原稿は、受信側で真っ黒になることがありますので、ファクスでの送信は避けてください。

こんなときは

色のついた原稿や文字のうすい原稿をファクスするときは：読み取り濃度 ⇒ P. 59

ファクスを送る

あらかじめ読み取った原稿を送ったり、相手先と子機で話してから送ったりできます。

注意

- 相手先の機種によっては送信時間が長くかかることがあります。
- カラーファクス機能はありません。カラーの原稿を読み取っても、相手先にはモノクロで送信されます。

ファクスを自動で送る（自動送信）

ファクスを1枚送る

1 原稿をセットする

『原稿セットのしかた』（⇒ P. 53）

2 相手のファクス番号をダイヤルする

3 ファクス/プリント を押す　　｜ｹﾞﾝｺｳﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ P01｜ ⋮ ｜ﾂｷﾞﾉｹﾞﾝｺｳ ｱﾘﾏｽｶ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ(ｿｳｼﾝ)｜

4 ②（カ ABC）を押す　　｜ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ｜ ⋮ ｜ﾒﾓﾘｿｳｼﾝﾁｭｳ P01｜

これで、ファクスを1枚送れます。

ファクスを2枚以上送る

1 原稿をセットする

『原稿セットのしかた』（⇒ P. 53）

2 相手のファクス番号をダイヤルする

3 ファクス/プリント を押す　　｜ｹﾞﾝｺｳﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ P01｜ ⋮ ｜ﾂｷﾞﾉｹﾞﾝｺｳ ｱﾘﾏｽｶ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ(ｿｳｼﾝ)｜

4 ①（ア）を押す　　｜ﾂｷﾞﾉｹﾞﾝｺｳｦ ｾｯﾄｼﾃ ﾌｧｸｽﾎﾞﾀﾝ ｦ ｵｽ｜

5 次の原稿をセットする

6 ファクス/プリント を押す　　｜ｹﾞﾝｺｳﾖﾐﾄﾘﾁｭｳ P02｜ ⋮ ｜ﾂｷﾞﾉｹﾞﾝｺｳ ｱﾘﾏｽｶ? 1:ﾊｲ 2:ｲｲｴ(ｿｳｼﾝ)｜

7 手順4〜手順6をくり返して、送りたい原稿をすべて読み取る

8 送信するときは、②（カ ABC）を押す　　｜ﾀﾞｲﾔﾙﾁｭｳ｜ ⋮ ｜ﾒﾓﾘｿｳｼﾝﾁｭｳ P01｜

これで、ファクスを複数枚送れます。

こんなときは

番号をダイヤルするかわりに：リダイヤル（ファクス電話帳）、らくらくファクス電話帳（ファクス電話帳）も使うことができます。

送信を途中でやめるときは：［ストップ］ボタンを押してください。

自分の名前や電話番号などを相手先の用紙にプリントする：発信元記録 ⇒ P.92

海外にファクスを送るときは：『海外にファクスを送るとき』（⇒ P.60）

一度に送信できる枚数は：A4（700文字程度）の原稿で、約17枚です。

ファクスの送信結果、受信結果の一覧をプリントする：『通信管理レポートをプリントする』（⇒ P.99）

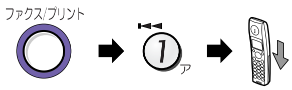
“サイハッコ　マチ　1カイメ”と表示された：相手先が話し中などで送信できなかったときは、1分間隔で5回までかけ直します（オートリダイヤル）。それでも送信できないときは、不達レポート（⇒ 右記）がプリントされます（送信できなかったときは ⇒ 下記）。

相手先と話してから送る（手動送信）

相手先に電話をかけて話してから、そのままファクスを送ることができます。送信できる枚数は、1枚です。

注意：相手先から電話がかかってきた場合でも、話しをしたあとにそのままこちらからファクスを送ることができます。

原稿セット ➡ 電話をかける ➡ 通話 ➡

➡ 相手先が受信操作 ➡  ➡

相手先が電話に出ずに「ピーヒョロヒョロ」という音が聞こえたら：相手先のファクスが自動受信になっているので、そのまま［ファクス／プリント］ボタンを押してから［1］を押せば送信できます。

相手先が受信操作する前に［ファクス／プリント］ボタンを押してから［1］を押したときは：相手先が受信操作をすれば送信できます。

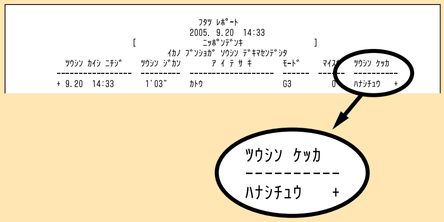
送信を途中でやめるときは：［ストップ］ボタンを押してください。

送信できなかったときは：ファクスを正常に送信できなかったときは、自動で不達レポートがプリントされます。プリントされないように設定することもできます。

『不達レポートをプリントする』（⇒ P.60）

注意：
- 送信の中断操作をしたときは、不達レポートはプリントされません。通信管理レポートでご確認ください。『通信管理レポートをプリントする』（⇒ P.99）

<プリント例>



<不達レポートの通信結果の意味>
- **「ハナシチュウ」**
  相手先が通話中である
- **「ヨビダシ」**
  相手先から通話予約などで呼び出しを受けた
- **「ムオウトウ」**
  - 相手先が受信できない状態になっている
  - 相手先が電話に出ない
  - 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある
- **「××（2桁の英数字）」**
  『エラーコードが表示されたとき』（⇒ P.110）

ファクスを受ける

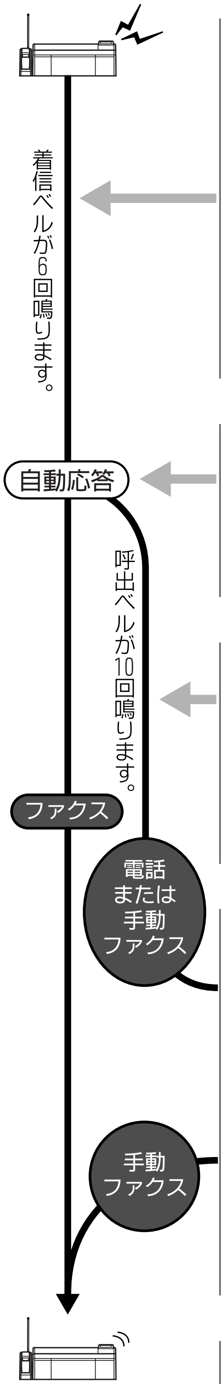
ファクスは、着信モードの設定によって自動で受けたり、通話のあとに手動で受けたりすることができます。

注意：
- 記録した文書を用紙排出口に30枚以上ためると、用紙トレイがつまることがあります。ただし、用紙の種類や記録されたインクの量によっては、30枚以下でもつまることがありますので、こまめに取り除いてください。
- 用紙トレイに、シールなどを貼り付けないでください。用紙がつまる原因となります。

自動で受ける

お買い上げ時の着信モードの設定は「電話／ファクス切替」になっています。この場合は、本機が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは、自動的に受信します。電話のときは、呼出ベルが鳴ります。

電話／ファクス自動切替のしくみ



この間に子機をとると…

- **電話のときは**
  そのまま話ができます。
- **ファクスのときは**
  「ポー…」のあとメッセージが流れます。子機を置くとファクスを受信します（ファクスかんたん受信（⇒ P. 60）を「する」に設定しているとき）。
- **無音のときは**
  ファクスかもしれません。手動受信を行ってください（⇒ P. 57）。

着信ベルが6回鳴ったら…

自動的に回線を接続し、相手先が電話かファクスかを判断します。
この時点から相手先に通話料金がかかります。

- **電話のときは**
  この間に子機をとると話ができます。録音が終わると［留守］ボタンが点滅します。
- **手動ファクスのときは**
  相手が送信操作をすれば受信します。

呼出ベルが10回鳴ったら…

「ファクシミリの方はそのまま送信してください。電話の方は恐れ入りますが、のちほどおかけ直しください」という固定メッセージ※のあと、信号音が30〜40秒流れます。

- **電話のときは**
  回線が切れます。
- **手動ファクスのときは**
  相手先が送信操作をすれば、受信します。

※ 上記固定メッセージは変更・消去できません。

ファクスを受信します。

注意 電話がつながると、相手先では受話器から聞こえる呼出音が少し変わり、ここから相手先に通話料金がかかります。

こんなときは

「留守」を設定したときには： 電話のつながりかたやベルの鳴りかたが異なります（⇒ P. 44）。

ベル回数を変えたいときは：

- 『着信ベル回数を変える』（⇒ P. 95）
- 『呼出ベル回数を変える』（⇒ P. 96）

ベルを鳴らさずに受信するには： 着信ベル回数を、0回に設定してください（⇒ P. 95）。

ファクスの送信結果、受信結果の一覧をプリントする： 『通信管理レポートをプリントする』（⇒ P. 99）

自動切替をやめるには： 着信モードの設定を、いつも電話で受ける（電話専用）／いつもファクスで受ける（ファクス専用）に変更することができます（着信モード ⇒ P. 95）。

- 電話／ファクス切替
  設定回数の着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。
- 電話専用
  ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料が相手先にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使うことができます。ファクスを受信するときは手動またはファクスかんたん受信で行ってください。
- ファクス専用
  設定回数の着信ベルが鳴ったあと、自動的にファクスを受信します。かかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。ただし、着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手先が電話ならば話しができます。

メモリオーバーによる通信異常がひんぱんに起こるときは： 本機は、ファクス受信中にプリントカートリッジや用紙がなくなってもメモリ受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。

- 『不要な用件を消去する』（⇒ P. 47）
- ファクス自動プリントと大容量受信を「する」に設定する（⇒ P. 59、P. 61）
- 『メモリに蓄積されたファクスを消去する』（⇒ P. 62）
- 『メモリに受信した文書をプリントする』（⇒ P. 58）

ファクスかんたん受信とは： 電話に出たとき、相手先がファクスだった場合はメッセージに従って子機を戻すと、自動的にファクスを受信できる機能です（⇒ P. 60）。「ポー・ポー…」という音が聞こえたあと「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れてから、子機を戻してください。メッセージが流れる前に子機を戻すと、回線が切れて受信できません。
ただし、以下の場合には、ファクスかんたん受信ができません。手動で受信してください。

- 相手先が無音のとき
- こちらから電話をかけたとき

手動で受ける（手動受信）

ファクスかんたん受信を「しない」に設定したときなどは、手動で受信してください。

注意 受信後、続けて話しをすることはできません。

ファクスがかかってきたとき

（子機を取る）➡ 通話 ➡ ポー・ポー… ➡ 内線 ➡ 6 ➡

➡ （子機を戻す）または 切 ➡ ファクスを受信

話しをしてから受信するとき

通話 ➡ 相手先が送信操作 ➡ ポー・ポー… ➡ 内線 ➡

➡ 6 ➡ （子機を戻す）または 切 ➡ ファクスを受信

親機で受信操作をするとき

（子機を取る）➡ 通話 ➡ ポー・ポー… ➡ ファクス/プリント ➡

➡ 2 ➡ （子機を戻す）または 切 ➡ ファクスを受信

こんなときは

「ポー・ポー…」という音が聞こえないときは：相手先の機種によっては聞こえないことがあります。『ファクスがかかってきたとき』（⇒ 上記）の操作を試してみてください。

「ポー・ポー…」のあとメッセージが流れるときは：「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージが流れるときは、ファクスかんたん受信がはたらいています。このときは、子機を戻すだけで自動的に受信します。お買い上げ時は、ファクスかんたん受信は「する」に設定されています（ファクスかんたん受信 ⇒ P. 60）。

相手先が送信する前に受信操作をしたときは：相手先が送信操作をすれば、受信できます。

ファクス情報サービスを利用する

いろいろな情報をファクスで取り寄せることができます。

注意 本機では、ガイダンス方式のファクス情報サービスのみ利用できます。ポーリング方式のファクス情報サービスは利用できませんのでご注意ください。なお、ファクス情報の内容や情報の提供方式については、各サービスの提供元にお問い合わせください。

ガイダンス方式のファクス情報には、次の2つの利用方法があります。

- ガイダンスが流れている間に情報番号などを入力できる方法
- ガイダンスのあと「ピッ」という音が聞こえてから情報番号などを入力する方法

利用するファクス情報サービスに合わせて入力してください。

注意 ダイヤル回線を使っているときに、情報番号などをトーン（プッシュ）信号で入力する必要があるときは、トーン信号に切り替えてください（⇒ P. 43）

（子機を取る）➡ 通話 ➡ ツー ➡ 相手先の電話番号 ➡

➡ ガイダンスに従って操作 ➡ ポー・ポー… ➡ ファクス/プリント ➡

➡ 2 ➡ （子機を戻す）または 切 ➡ ファクスを受信

■***番号を間違えたら*** … いったん子機を戻し、もう一度ダイヤルしてください。

こんなときは

「ポー・ポー…」という音が聞こえないときは：相手先の機種によっては聞こえないことがあります。『ファクスがかかってきたとき』（⇒ 左記）の操作を試してみてください。

ファクス

文書をメモリに入れてから手動でプリントする

送られてきた文書をいったんメモリに入れてから、[ファクス／プリント] ボタンを押してプリントします。お買い上げ時は、この設定になっています。
『ファクスを自動でプリントする』(⇒ P. 59)

メモリに受信した文書をプリントする

ファクスを受信すると、ディスプレイには下記のように表示されます。

ﾖｳｼｦｲﾚ ﾌﾟﾘﾝﾄｦｵｽ ←交互に表示→ ﾒﾓﾘｼﾞｭｼﾝﾌﾞﾝｼｮ ｱﾘ

A4 サイズの用紙がセットされていることを確認してから、[ファクス／プリント] ボタンを2回押します。

注意
- メモリの残りが少ないと、文書を記憶できないことがあります。
- メモリがいっぱいのときは着信ベルが鳴り続け、ファクスを受信できません。不要な文書や用件を消してください。
『不要な用件を消去する』(⇒ P. 47)
『メモリに受信した文書をプリントする』(⇒ 上記)
『メモリに蓄積されたファクスを消去する』(⇒ P. 62)
- メモリ受信中にメモリがいっぱいになってしまった場合、通信異常となります。ただし、メモリに記憶することができたページまでは、プリントすることができます。
- 受信したファクス文書をプリントする場合は、常に多めに用紙をセットしておいてください。ファクスで送られてきた原稿が1枚でも、原稿の長さによっては、2枚以上の用紙に分割してプリントされることがあります。このとき、用紙が1枚しかセットされていないと、プリントが終了できず、さらに用紙を1枚だけ補充しても、また1枚目からプリントされてしまいます。

こんなときは

記憶できる文書量：相手先が画質モードを「普通」で送信したとき、A4（700文字程度）の原稿を約25枚（最大10文書）記憶できます。ただし、原稿の内容によっては少なくなることがあります。

文書を自動でプリントする

ファクスを受信しながら自動的にプリントします。
『ファクスを自動でプリントする』(⇒ P. 59)

注意
- 必ずA4サイズの用紙をセットしておいてください。A4サイズより小さい用紙がセットされていると、はみ出してプリントされてしまいます。
- 紙づまりなどのエラーが発生していると、自動的にメモリ受信になります。自動でプリントしたい場合には、必ずエラーを解除してください。

自動でプリントする設定にしていても、以下の場合はメモリに受信します。
- 用紙がつまっている
- プリントカートリッジがない
- インク残量が少ない
  使用中のプリントカートリッジの組み合わせによります。
  - クロプリントカートリッジを装着時
    クロインクが少なくなっている、またはなくなっている場合
  - フォトプリントカートリッジを装着時
    フォトインクまたはカラーインクが少なくなっている、またはなくなっている場合
- ほかの機器で使ったことがあるプリントカートリッジを入れている
  使用中のプリントカートリッジの組み合わせによります。
  - クロプリントカートリッジを装着時
    ほかの機器で使ったことがあるクロプリントカートリッジを装着している場合
  - フォトプリントカートリッジを装着時
    ほかの機器で使ったことがあるフォトプリントカートリッジまたはカラープリントカートリッジを装着している場合
- プリンタカバーが開いている
- プリンタがエラーの状態
- PictBridge（ピクトブリッジ）対応のデジタルカメラを接続中
- メモリ受信文書の印刷待ち状態
- レポートの印刷待ち状態

文書のデータ量が多すぎてメモリに入りきらない場合

ファクス自動プリント「する」、および大容量受信「する」を設定すると、メモリに入れずにファクスをプリントするので、メモリに入りきらないようなデータ容量の多い原稿を受信できます。
『写真のようなデータ量の多い原稿を受信できるようにする<大容量受信>』(⇒ P. 61)
『ファクスを自動でプリントする』(⇒ P. 59)

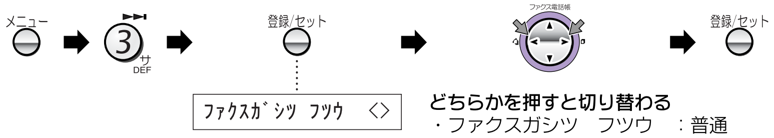
注意
- 文書はメモリに入らないため、用紙がセットされていない、または通信中に用紙がつまるなどの状態になった場合は通信異常となり、文書は正常にプリントされません。
- 自動でプリント「しない」とした場合には、大容量受信の設定が無効になります。

ファクス機能の設定

ファクスの画質モードを選ぶ

お買い上げのとき：**ふつう**

よく送るファクス原稿に合わせて、ファクスの画質モードを決め、調整しておきます（ファクスの画質モードの決めかた ⇒ P. 53）。一時的に画質モードを変えたときは、ファクスが終わったあと、元に戻しておいてください。

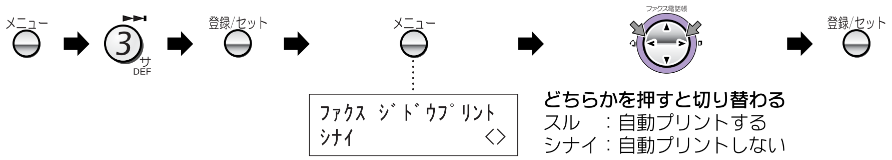


どちらかを押すと切り替わる
・ファクスガシツ　フツウ　：普通
・ファクスガシツ　チイサイ：小さい
・ファクスガシツ　コマカイ：細かい
・ファクスガシツ　シャシン：写真

ファクスを自動でプリントする

お買い上げのとき：**しない**

受信したファクスを自動的にプリントすることができます。



どちらかを押すと切り替わる
スル　：自動プリントする
シナイ：自動プリントしない

注意
- 自動プリント「する」に設定した場合は、必ずA4サイズの用紙をセットしておいてください。
  A4サイズより小さいサイズの用紙をセットした場合、はみ出してプリントされてしまいますので、ご注意ください。
- 自動プリント「しない」に設定した場合は、必ずメモリ受信となります。

ファクスの読み取り濃度を変える＜読み取り濃度＞

お買い上げのとき：■■■□□

原稿に色が付いているときや原稿の文字がうすいときなどは、相手先が読みやすいように読み取り濃度を調整してください。必ず、ファクス送信の前に設定してください。ファクス送信が終わったら「普通」（■■■□□）に戻しておいてください。



どちらかを押すと切り替わる
■□□□□：よりうすく読み取る（濃い色の原稿）
■■□□□：うすく読み取る（下地に色が付いている原稿や新聞）
■■■□□：普通に読み取る（コピーした原稿や黒ペンで書いた原稿）
■■■■□：濃く読み取る（エンピツで書いた原稿）
■■■■■：より濃く読み取る（うすい色の原稿）

注意
- 次のような原稿は、鮮明に読み取れないことがあります。
  — カラーのサインペンやボールペンなどで書かれた原稿（ブルーブラック、紺色に近い青は問題ありません）
  — うすい鉛筆、蛍光マーカーで書かれた原稿
  — 色地に他の色で文字や絵が描かれた原稿（黄色などの淡い色以外は、すべて黒色と同様に読み取るため、まっ黒になってしまいます）
- 受信したファクスが不鮮明なときは、相手先で調整し、送信し直してもらってください。

ファクス

電話に出て相手先がファクスだったときは簡単に受信する<ファクスかんたん受信>

お買い上げのとき：**する**

電話に出て相手先がファクスのときは「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえ、「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」とメッセージが流れます。このときは、子機を戻すだけでファクスを受信できます。



3回押す

カンタン ジュシン ○×

どちらかを押すと切り替わる
カンタン　ジュシン　○×：する
カンタン　ジュシン　○×：しない

注意

- 相手先が電話の場合でも、声質や音によってファクスの受信状態になることがあります。ひんぱんに起こる場合は、ファクスかんたん受信を「しない」に設定してください。
- ファクスかんたん受信を「しない」に設定した場合は、相手先がファクスの場合は親機では［ファクス／プリント］ボタンを押したあと［2］、子機では［内線］ボタンを押したあと［6］を押すと受信できます。

海外にファクスを送るとき

お買い上げのとき：**しない**

海外にファクスを送るときは「する」に設定してください。海外に送るときに起こりやすい通信ミスが少なくなります。ファクスを送ったあとは「しない」に戻しておいてください。



4回押す

カイガイ ツウシン ○×

どちらかを押すと切り替わる
カイガイ　ツウシン　○×：する
カイガイ　ツウシン　○×：しない

注意

海外からファクスを受信するときは、関係ありません。

不達レポートをプリントする

お買い上げのとき：**プリントする**

ファクスが正常に送信できなかったときに、送信できなかったことをお知らせする不達レポートをプリントすることができます（送信できなかったときは ⇒ P. 55）。



5回押す

フタツ レポート ○×

どちらかを押すと切り替わる
フタツ　レポート　○×：プリントする
フタツ　レポート　○×：プリントしない

受信したファクスを縮小する＜受信縮小率＞

お買い上げのとき：**93%**

受信した文書を、縦横方向に93%、90%、85%のいずれかの縮小率で縮小して、プリントすることができます。



6回押す

ｼﾞｭｼﾝｼｭｸｼｮｳ　93％

どちらかを押すと切り替わる
85% ⇄ 90% ⇄ 93% ⇄ 100%

注意

- 受信縮小率を100%に設定すると、受信したファクスの右端が記録されないことがあります。このようなときは、縮小してプリントするように設定してください。
- 相手先が、発信元記録を付けてファクスを送信してきた場合、A4サイズよりもわずかに大きくなってしまい、複数枚の用紙に分断してプリントされることがあります。このようなときは、縮小してプリントするように設定してください。
- 縮小することにより、原稿によっては画質が劣化する場合があります。この画質劣化を解消したいときは、受信縮小率を100%に設定してください。

写真のようなデータ量の多い原稿を受信できるようにする＜大容量受信＞

お買い上げのとき：**しない**

写真のようなデータ量の多い原稿は、ファクス受信できないことがあります。そのようなときは、大容量受信を「する」に設定してください。データ量の多い原稿をファクス受信できるようになります。



7回押す

ﾀﾞｲﾖｳﾘｮｳｼﾞｭｼﾝ　○×

どちらかを押すと切り替わる
ダイヨウリョウジュシン　○×：する
ダイヨウリョウジュシン　○×：しない

注意

- この設定は、ファクス自動プリントを「する」に設定した場合のみ表示されます。
- 「する」に設定したとき、ファクス受信中に以下が起こると通信異常となり、それ以降のファクスはプリントされません（メモリへの受信も行いません）。そのときは、以下の状態を復旧したあとに、再度ファクスを送信してもらってください（『メモリに受信した文書をプリントする』（⇒ P.58））。
  - ー 用紙がなくなった　ー プリンタカバーが開いた　ー PictBridge（ピクトブリッジ）対応のデジタルカメラが接続された
  - ー インクがなくなった　ー 用紙がつまった

ダイヤルトーンを検出してからファクスを送信する

お買い上げのとき：**しない**

ファクスを送信する際に、ダイヤルトーンを検出してから送信するように設定することができます。



8回押す

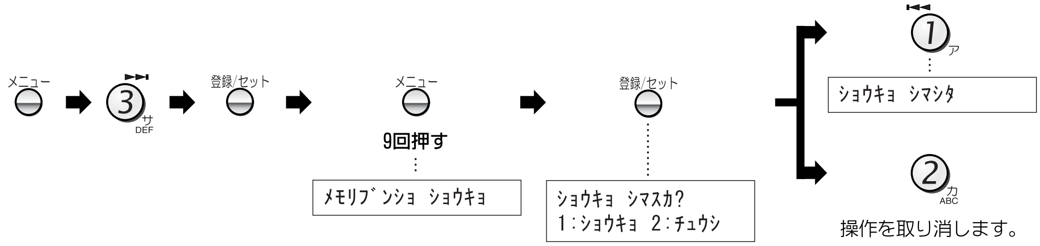
ﾀﾞｲﾔﾙﾄｰﾝｹﾝｼｭﾂ　○×

どちらかを押すと切り替わる
ダイヤルトーンケンシュツ　○×：する
ダイヤルトーンケンシュツ　○×：しない

ファクス

メモリに蓄積されたファクスを消去する

- メモリに蓄積されたファクスを強制的に消去します。
- ファクス受信文書が2通以上あった場合には、1回の操作で最も古い受信文書が1通だけ消去されます。



注意

- 消去された文書を元に戻すことはできません。
- 2通以上のファクス受信文書を、一度に消去することはできません。

コ ピ ー

コピーの前に

コピーしてはいけないもの

個人で使用する目的でも、法律でコピーが禁止されているものがあります。

- **貨幣、紙幣、公債証書、政府発行の有価証券、郵便切手、印紙など**
  外国で発行されたものも含め、法律でコピーが禁止されています。絶対にコピーしないでください。
- **書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画、写真などの著作物**
  個人的に、または家庭内などの限られた範囲内で使用するなど、著作権法で認められている場合を除き、基本的にコピーが禁止されています。
- **パスポートや免許証、民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券、通行券、身分証明書、食券など**
  政府の指導により、注意が呼びかけられています。

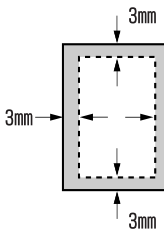
読み取れる原稿のサイズ

- **サイズ（最大）**：216（幅）× 297（長さ）mm

原稿台よりも大きな原稿をコピーしたい：原稿台カバーを取り外すと、原稿台よりも大きな原稿を置いてコピーすることができます（⇒ 右記）。ただし、読み取れるサイズは、上記のサイズまでです。

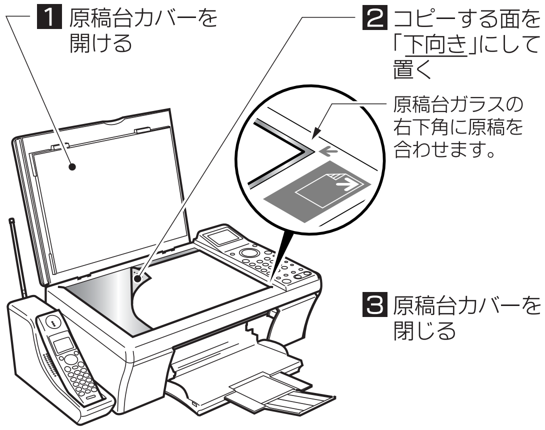
読み取れる範囲

原稿の縁から3mmの範囲内にある文字などは、読み取れない場合があります。



原稿セットのしかた

注意
- クリップやホチキスの針は必ず取り除いてください。原稿読み取り面に傷が付く原因となります。
- インクや修正液、糊（のり）などが付いた原稿は、完全に乾かしてからセットしてください。



1 **原稿台カバーを開ける**

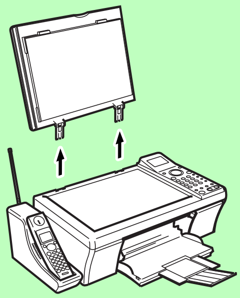
2 **コピーする面を「下向き」にして、原稿を置く**
ガラス面の右下角に原稿を合わせて置きます。

3 **原稿台カバーを閉じる**

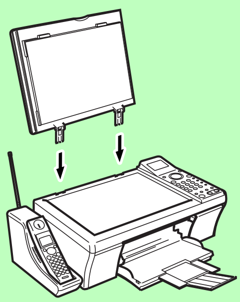
これで、原稿がセットできました。

原稿台よりも大きな原稿をセットしたい：下図のように原稿台カバーを取り外すと、原稿を置くことができます。

- 取り外しかた
  原稿台カバーを開け、カバーの側面を持ったまま引き上げます。

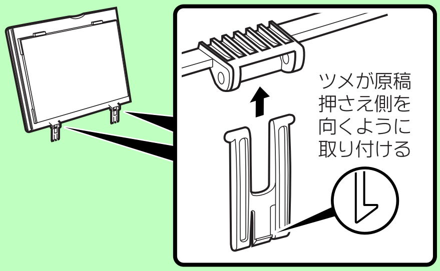


- 取り付けかた
  原稿台カバーのちょうつがいを元の溝に差し込みます。



コピー

原稿台カバーのちょうつがいが外れたときは：下図の向きで取り付けてください。



コピーする

- 一度にコピーできる部数は1～30部です。
- コピー中に用紙を追加しないでください。用紙がつまる原因となります。
- コピー中にプリンタカバーを開けるとコピーが中断されます。プリンタカバーを閉じるとコピーが再開されます。

1 原稿をセットする
『原稿セットのしかた』（⇒ P. 63）

2 ダイヤルボタンを押して、コピー部数を入力する

10_
コピー部数

■ *1枚だけコピーしたい* … この操作は不要です。手順3に進んでください。

3 （モノクロ）または（カラー）を押す

ｺﾋﾟｰﾁｭｳ

- モノクロコピーの場合には、原稿の色に注意してください。
  - カラーのボールペンやサインペンなどで書かれた原稿は、鮮明に読み取れないことがあります（ブルーブラックや紺色に近い青は問題ありません）。うすい鉛筆や、蛍光マーカーで書かれた文字も鮮明に読み取れないことがあります。
  - 黄色などの淡い色（明るい色）は、白になります。
  - 色が異なっていても、明度が同じであれば同じ濃度の黒（またはグレー）になります。このため、色地に異なる色で描かれた文字や絵が同じ濃度になる場合があります。
- 黒プリントカートリッジではなく、フォトプリントカートリッジを使用している場合、モノクロコピー時にはカラーとフォトのインクを混ぜて印刷するため、コピーが完全な黒色にはなりません。

文字や絵のうすい原稿をコピーするときは：『コピーの濃度を調整する』（⇒ P. 67）

コピー機能の設定

コピーをとる前に、用途に合わせていろいろな設定をしておくことができます。

設定を続けて行いたいときは：各種設定の手順2で行う操作のあと、[コピー設定] ボタンを押してください。

おまかせワンタッチコピーをする

お買い上げのとき：**しない**

原稿のサイズ・用紙のサイズ・用紙のタイプ（紙質）に合わせたコピーを、ワンタッチでとることができます。

1 （コピー設定）を何回か押して、右の画面を表示させる

ｵﾏｶｾ ﾜﾝﾀｯﾁｺﾋﾟｰ
ｼﾅｲ <>

2 （ファクス電話帳）を押して、“スル”を選ぶ

押すごとに画面の表示が変わります。

3 （登録/セット）を押す

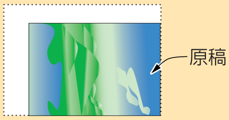
これで、おまかせワンタッチコピーが設定できました。

「おまかせワンタッチコピー」とは：親機にセットした「原稿のサイズ」・「用紙のサイズ」・「用紙のタイプ（紙質）」を自動で検出し、「用紙のサイズ」に合わせた倍率設定と、「用紙のタイプ（紙質）」の指定を自動的に行うコピー機能です。
<おまかせワンタッチコピーを「する」（⇒ 上記）にした場合のコピー例>
- 原稿：L判サイズの写真をセット
- 用紙：ハガキサイズのフォト用紙（光沢）をセット
- コピー結果
  - 倍率　：“L->ハガキ”を自動設定
  - 用紙タイプ：“フォト”を自動設定
  - 用紙サイズ：“フチナシハガキ”を自動設定

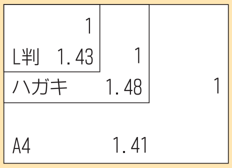
正しくコピーできなかった場合は：おまかせワンタッチコピーを「しない」にしたうえで、「用紙タイプ」、「用紙サイズ」、「拡大・縮小」をそれぞれ指定してください。

注意

- この機能を利用する場合は、推奨用紙（⇒ P.16）を使用してください。
- 原稿は、下図のようにセットしてください。



- 原稿と用紙の縦横（長辺・短辺）の比率が異なる場合には、用紙のタイプがフォト用紙（光沢）でもフチが出ることがあります。確実にフチなしでコピーしたい場合には、おまかせワンタッチコピーを「しない」にしたうえで、「用紙タイプ：フォト」、「用紙サイズ：フチナシ○○」、「拡大・縮小：○○」をそれぞれ指定してください。
  ＜主な用紙サイズの長辺・短辺の比率＞



『用紙タイプを指定する』（⇒ 右記）
『用紙サイズを指定する』（⇒ P.66）
『拡大・縮小コピーをする』（⇒ P.66）

コピー画質を変更する

お買い上げのとき：**ふつう**

コピーをとる際の画質を、「きれい・ふつう・はやい」の3パターンから選べます。

1 コピー設定 ◯ **を何回か押して、右の画面を表示させる**

ｺﾋﾟｰ ｶﾞｼﾂｾﾝﾀｸ <>

2 ファクス電話帳 **を押して、コピー画質を選択する**

押すごとに画面の表示が変わります。

きれい
⇕
ふつう
⇕
はやい

■ *コピー画質の決めかたは* ⇒ 右記

3 登録/セット ◯ **を押す**

これで、コピー画質が変更できました。

注意　画質「はやい」を設定した場合は、連続して大量のコピーをしないでください。故障の原因となることがあります。

コピー画質の決めかた

下記を参考に、コピー画質を決めてください。

コピー画質	コピーする状況
きれい	写真やイラストなどが含まれている原稿を、鮮明にコピーしたいとき（通常のコピーよりも時間がかかります）。
ふつう	通常のコピー
はやい	通常のコピーよりも時間を短くしたいとき（通常のコピーよりも画質が下がります）。

用紙タイプを指定する

お買い上げのとき：**ジドウ**

用紙タイプを、用途に合わせて指定できます。

1 コピー設定 ◯ **を何回か押して、右の画面を表示させる**

ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ:ｼﾞﾄﾞｳ <>

2 ファクス電話帳 **を押して、用紙タイプを選ぶ**

押すごとに画面の表示が変わります。

- ジドウ　：自動検出
- フツウ　：普通紙
- コート　：コート紙
- フォト　：フォト用紙
- アイロン：アイロンプリント用紙

3 登録/セット ◯ **を押す**

これで、用紙タイプが指定できました。

こんなときは

「アイロン」を選んだときは：『アイロンプリント紙にコピーする』（⇒ P.70）

コピーしたあとは：「ジドウ」に戻しておいてください。

注意　この設定は、おまかせワンタッチコピーを「する」にしている場合には、表示されません。

コピー

用紙サイズを指定する

お買い上げのとき：**ジドウ**

用紙サイズを、用途に合わせて指定できます。

注意　使用できる用紙サイズは、A4・ハガキ・L判です。それ以外のサイズでは、コピーできないことがあります。

1 コピー設定 を何回か押して、右の画面を表示させる

ﾖｳｼｻｲｽﾞ
ｼﾞﾄﾞｳ　<>

2 ファクス電話帳 を押して、用紙のサイズを選ぶ

押すごとに画面の表示が変わります。
- ジドウ：自動検出
- A4：A4判
- フチナシA4：A4判のフチなし
- ハガキ：ハガキ
- フチナシハガキ：ハガキのフチなし
- L：L判
- フチナシL：L判のフチなし

3 登録/セット を押す

これで、用紙サイズが指定できました。

こんなときは

「フチナシ○○」を選んだときは：『写真や絵画をフチなしでコピーする』（⇒ P. 69）

コピーしたあとは：「ジドウ」に戻しておいてください。

注意　この設定は、おまかせワンタッチコピーを「する」にしている場合には、表示されません。

拡大・縮小コピーをする

お買い上げのとき：**トウバイ**

拡大・縮小コピーするための倍率が設定できます。

1 コピー設定 を何回か押して、右の画面を表示させる

ﾊﾞｲﾘﾂ
ﾄｳﾊﾞｲ　<>

2 ファクス電話帳 を押して、倍率を選ぶ

押すごとに画面の表示が変わります。
- ヨウシニアワセル：用紙サイズの印刷可能範囲に合わせる
- トウバイ：拡大・縮小しない
- A4->ハガキ：A4判をハガキサイズに縮小
- A4->L：A4判をL判に縮小
- L->ハガキ：L判をハガキサイズに拡大
- L->A4：L判をA4判に拡大
- ジユウ：自由（25～400%の間で1%単位）
- ヨウシゼンタイ：原稿サイズに関係なく、用紙いっぱいに拡大
- ポスター：用紙を貼り合せるとポスターになるように分割して拡大 『ポスターを作成する』（⇒ P. 69）

3 登録/セット を押す

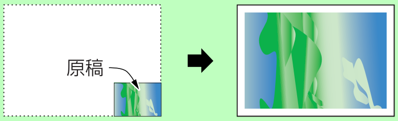
これで、コピーの倍率が設定できました。

こんなときは

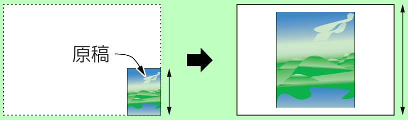
等倍（原稿と同じサイズ）でコピーしたいときは：「トウバイ」を選んでください。「ヨウシニアワセル」や「ヨウシゼンタイ」を選んだ場合、用紙より小さい原稿をセットすると、自動で拡大されます。また、用紙と原稿のサイズが同じでも、原稿の余白が多い場合は拡大されることがあります。

「ヨウシニアワセル」を選んだときは：用紙サイズの印刷可能範囲に合わせて、自動的に拡大または縮小コピーされます。
原稿の画像や文字がページ全体に配置されて余白がない場合には、原稿を縮小して、端の方の文字や画像が欠けないようにすることができます。また、小さな写真を用紙サイズの印刷可能範囲に合わせて拡大することもできます。原稿の縦横比を変えずに拡大する、または端を切り落とさずに拡大できます。ただし、原稿サイズによっては、コピーした結果が次のようになり、用紙の端に不均等な余白がそのまま残ることがあります。

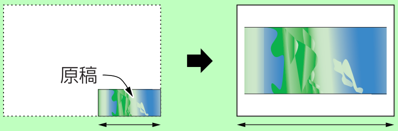
- 原稿と用紙の縦横比が同じ場合



- 原稿と用紙の縦横比が異なる場合
  長辺が用紙いっぱいに拡大され、用紙の中央にコピーされます。
  －原稿台ガラスの短辺側に原稿の長辺を合わせて置いた場合



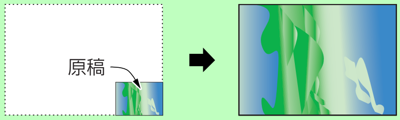
－原稿台ガラスの長辺側に原稿の長辺を合わせて置いた場合



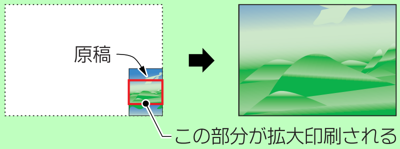
「ジユウ」を選んだときは：倍率を25～400%の間で入力し、［登録／セット］ボタンを押します。

「ヨウシゼンタイ」を選んだときは：用紙トレイにセットされている用紙の印刷可能範囲に合わせて、写真が拡大または縮小コピーされます。
次の例では、L判の写真を用紙に合わせてフチナシコピーしています。このとき、用紙のサイズによっては、コピーした結果が次のようになり、画像の端が切り落とされることがあります。

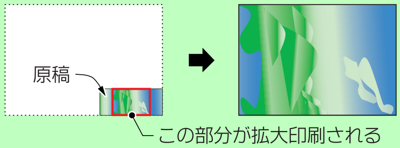
- 原稿と用紙の縦横比が同じ場合



- 原稿と用紙の縦横比が異なる場合
  －原稿台ガラスの短辺側に原稿の長辺を合わせて置いた場合



－原稿台ガラスの長辺側に原稿の長辺を合わせて置いた場合



「ポスター」を選んだときは：『ポスターを作成する』（⇒ P. 69）

注意 この設定は、おまかせワンタッチコピーを「する」にしている場合には、表示されません。

コピーの濃度を調整する

お買い上げのとき：■■■■■□□□□

コピーの濃度を濃くしたり、薄くしたりすることができます。

1 コピー設定 を何回か押して、右の画面を表示させる

```
ｺﾋﾟｰﾉｳﾄﾞ
ｳｽｲ<■■■■■□□□□>ｺｲ
```

2 を押して、濃度を選ぶ

3 登録/セット を押す

これで、コピーの濃度が調整できました。

コピーしたあとは：お買い上げの状態に戻しておいてください。

コピーの強調設定をする

お買い上げのとき：**コンザイ**

原稿の輪郭をはっきりさせるための機能です。強調には「混在」、「文字」、「写真」の3種類があります。

1 コピー設定 を何回か押して、右の画面を表示させる

ｷｮｳﾁｮｳ:ｺﾝｻﾞｲ　<>

2 ファクス電話帳 を押して、強調設定を選ぶ

押すごとに画面の表示が変わります。

→ ナシ ⇄ モジ ⇄ シャシン ⇄ コンザイ ←

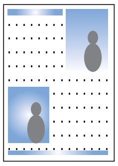
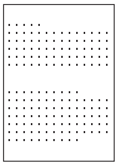
■ 強調設定の選びかた ⇒ 下記

3 登録/セット を押す

これで、コピーの強調設定ができました。

強調設定の選びかた

下記を参考に設定してください。

強調設定	効　果
コンザイ（混在）	下記2種類の両方の効果。 
モジ（文字）	モノクロ文字の輪郭をはっきりさせ、テキスト文書の品質を調整する。何回もファクスされた文書をコピーする場合に有効。 
シャシン（写真）	コピーの明るい部分を強調する。白に見えてしまうような淡い色を強調する。 
ナシ	強調設定しないとき

カラーコピーの色合いを調整する

お買い上げのとき：■■■■□□□

コピーの色をより鮮やかに、または、より落ち着いたものにするための機能です。カラー調整は、強調設定と合わせて使用します。強調設定（⇒ 左記）では色の明るさを、カラー調整では色の濃さを調整します。

1 コピー設定 を何回か押して、右の画面を表示させる

ｶﾗｰﾁｮｳｾｲ
ﾖﾜｲ<■■■■□□□>ﾂﾖｲ

2 ファクス電話帳 を押して、色の強弱を調整する

3 登録/セット を押す

これで、カラーコピーの色合いが調整できました。

コピー設定を元に戻す

コピー設定をお買い上げの状態に戻すことができます。

1 コピー設定 を何回か押して、右の画面を表示させる

ｺﾋﾟｰｾｯﾃｲ ｼｮｷｶ

2 登録/セット を押す

これで、コピー設定を元に戻せました。

便利にコピーする

コピーの設定を適切に組み合わせることで、写真や絵画のフチなしコピー、ポスター作成、アイロンプリントなど、より便利にコピーすることができます。

写真や絵画をフチなしでコピーする

1 用紙トレイにフォト用紙またはコート紙をコピーする枚数分セットする

注意 用紙トレイに「普通紙」をセットしたままで、フチなしコピーを行わないでください。紙づまりの原因となります。

2 原稿をセットする
『原稿セットのしかた』（⇒ P. 63）

3 以下のようにコピー設定をする
- 用紙タイプ：「フォト」または「コート」を選びます。
- 用紙サイズ：「フチナシA4」、「フチナシハガキ」、「フチナシL」のいずれかを選びます。
- 倍率　　　：適切な倍率を選びます。

注意 用紙タイプは「フツウ」を設定しないでください。コピー結果が“フチなし”になりません。

4 ダイヤルボタンを押して、コピー部数を入力する

10_
コピー部数

■ *1枚だけコピーしたい* … この操作は不要です。手順5に進んでください。

5 （モノクロ）または（カラー）を押す

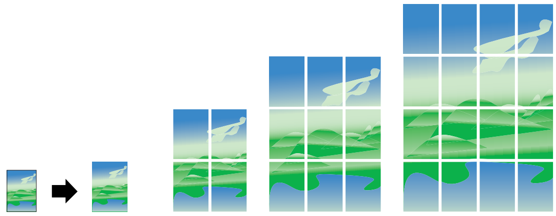
コピ゜ーチュウ

これで、フチなしコピーができました。

こんなときは **倍率設定で「ヨウシニアワセル」を選んだときは：** フチなしコピーにならないことがあります。

ポスターを作成する

用紙を貼り合わせると 1 枚の大きなポスターになるように、原稿を分割して拡大コピーします。



1 用紙トレイにA4サイズの用紙をセットする
十分な枚数をセットしてください。

2 原稿をセットする
『原稿セットのしかた』（⇒ P. 63）

3 以下のようにコピー設定をする
- 用紙タイプ：適切な用紙タイプを選びます。
- 用紙サイズ：「A4」を選びます。
- 倍率　　　：「ポスター」を選びます。さらに、ポスターサイズを分割幅で指定します。

4 （モノクロ）または（カラー）を押す

コピ゜ーチュウ

これで、ポスターコピーができました。

注意
- ポスターコピーができる用紙のサイズは、A4サイズのみです。「ハガキ」、「フチナシハガキ」、「L」、「フチナシL」には対応していないため、これらを選ぶとコピーができません。
- ポスターコピーでは、フチナシコピーはできません。

こんなときは **“ジッコウ　デキマセン”と表示されたときは：** 選んだポスターサイズが最大の拡大倍率を超えています。より小さいポスターサイズを選び、もう一度コピーしてください。

コピー

アイロンプリント紙にコピーする

画像または文字をアイロンプリント紙にコピーして、Tシャツ、枕カバー、ランチョンマットなどの生地にアイロンプリントすることができます。
アイロンプリントで印刷した場合、原稿が左右反転されてコピーされます。生地にアイロンプリントすると正しい向きになります。

こんなときは

初めてのときは：いらなくなった服などを使用して、アイロンプリントを練習することをお勧めします。

1 **用紙トレイにA4サイズのアイロンプリント紙を1枚セットする**

2 **原稿をセットする**

『原稿セットのしかた』(⇒ P.63)

3 **以下のようにコピー設定をする**

- 用紙タイプ：「アイロン」を選びます。
- 用紙サイズ：「ジドウ」、「A4」または「フチナシA4」を選びます。
- 倍率　　　：適切な倍率を選びます。

4 **(モノクロ) または (カラー) を押す**

コピ゜ーチュウ

これで、アイロンプリントコピーができました。

注意

アイロンプリントができる用紙のサイズは、A4 サイズのみです。「ハガキ」、「フチナシハガキ」、「L」、「フチナシL」には対応していないため、これらを選ぶとコピーができません。

ダイレクト写真印刷

デジタルカメラで撮影した写真をプリントする

注意
ダイレクト写真印刷中に、デジタルカメラを取り外したり、メモリカードを取り出したりしないでください。故障の原因となります。

デジタルカメラを接続してプリントする（PictBridge印刷）

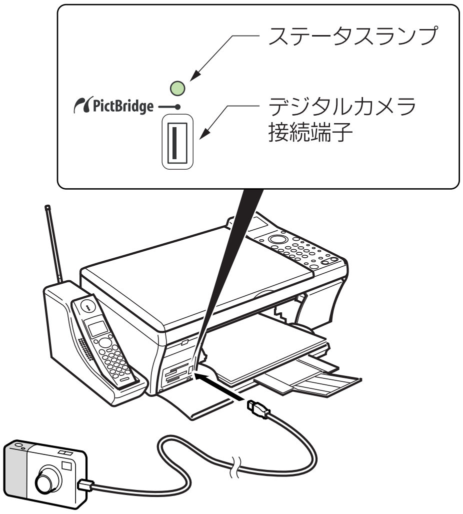
デジタルカメラを本機に接続して、写真をプリントすることができます。

デジタルカメラの確認

確認
お使いのデジタルカメラがPictBridgeに対応している必要があります。デジタルカメラに添付の取扱説明書で確認してください。PictBridge に対応していないデジタルカメラを接続すると、"コノ　カメラハ　ミタイオウ"と表示されます。

デジタルカメラを接続する

注意
本機が待受状態であることを確認してから接続してください。動作中に接続すると、動作が中断してしまう場合があります。



こんなときは
デジタルカメラを取り外すには：ステータスランプが緑点滅していないことを確認して、USBケーブルを取り外してください。

注意
ステータスランプが緑点滅中（デジタルカメラにアクセス中）には、取り外さないでください。デジタルカメラが故障する恐れがあります。

デジタルカメラ内の写真をプリントする

デジタルカメラを本機に接続したあとは、デジタルカメラ側からプリントの操作をします。操作のしかたは、デジタルカメラに添付の取扱説明書を参照してください。

メモリカードを差し込んでプリントする

メモリカードを本機に差し込んで、写真をプリントすることができます。

メモリカードの確認

本機は、次のメモリカードに対応しています。
下記のメモリカードは、容量1GB以下を推奨します。
- スマートメディア
- コンパクトフラッシュ＊1
- メモリースティック／メモリースティック PRO＊2
- メモリースティック デュオ／
  メモリースティック PRO デュオ(アダプタ使用)＊2
- SDメモリカード
- miniSDメモリカード（アダプタ使用）
- マルチメディアカード＊3
- xDピクチャーカード

＊1：マイクロドライブには対応していません。
＊2：マジックゲート機能には対応していません。
＊3：一部のマルチメディアカードは認識できない場合があります。

各メモリカードの取り扱いについては、メモリカードに添付の取扱説明書などを参照してください。

注意
- メモリカード内のファイル数は、1000枚までを推奨します。
- ファイルサイズは、320×240ピクセル（QVGAサイズ）以上、12メガピクセル以下に対応しています。

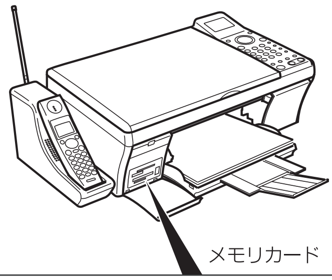
プリントできるファイル形式

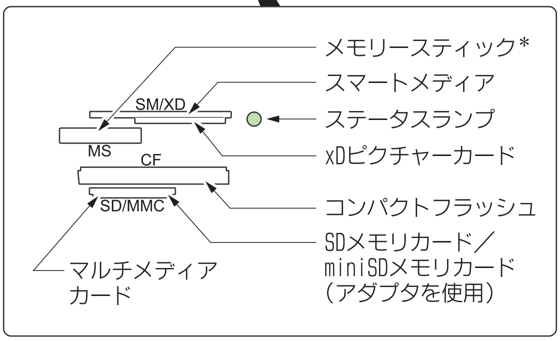
本機は、次のファイル形式に対応しています。

- JPEG（Exif）
- 非圧縮TIFF
- MPEG1
- Motion JPEG AVI
- Motion JPEG QuickTime

注意：メモリカードからのプリントは、デジタルカメラで撮影・保存された写真のプリントに対応しています。パソコンなどで加工した画像は、正しくプリントされない場合があります。このような場合は、画像をいったんパソコンに取り込んで、パソコンからプリントしてください。

メモリカードを差し込む





＊：メモリースティック／メモリースティック PRO／メモリースティック デュオ／メモリースティック PRO デュオ（デュオの場合はアダプタを使用）

注意：
- メモリカードを本機に差し込んだまま、電源を入れないでください。正しく認識されない場合があります。この場合は、メモリカードを抜いたあと、もう一度電源を入れ直してからメモリカードを差し込んでください。メモリカードは、短時間の間でひんぱんに抜き差ししないでください。故障の原因となります。
- ステータスランプが緑点滅中（メモリカードにアクセス中）には、電源コードを電源コンセントから抜いたり、メモリカードを取り出したりしないでください。メモリカードが破損する恐れがあります。
- インデックスシートや写真をプリントしているときにメモリカードを抜くと、本機の保護機能が自動ではたらき、動作が停止することがあります。
- 半角英数字以外のファイル名には対応していません。メモリカード内に、未対応の名前が付いたファイルが入っていると、読み込みに時間がかかったり、正常に読み込めなかったりすることがあります。ただし、デジタルカメラで撮影・保存された画像に自動で付いたファイル名は、問題ありません。
- ［メモリカード］ボタンを押したときに“ヨミトリチュウ”のままとなったときは、メモリカードまたはファイルが壊れている可能性があります。メモリカードをフォーマットするか、メモリカードを交換してください。

こんなときは

メモリカードを取り出すには：ステータスランプが緑点滅していないことを確認して、メモリカードを引き抜いてください。

メモリカードを差し込んだときのディスプレイ表示：メモリカード内に画像データが保存されているかどうかで、ディスプレイの表示が変わります。
- 画像データが保存されている場合
  “メモリカードケンシュツ”または“DPOFカードケンシュツ”
- 画像データが保存されていない場合
  “カード　ファイルナシ”

メモリカード内の写真をプリントする

インデックスシートをプリントする

メモリカード内の写真を、A4サイズの用紙に25枚並べてプリントします。プリントしたインデックスシートで写真の番号を確認してから、個別にプリントします。

1 メモリカードを差し込む
ステータスランプが点灯します。

メﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ
または
DPOFｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

2 メモリカード を押す

ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｷｰ ﾃﾞ
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ

3 メモリカード を押す
XXXXには枚数が表示されます。

ｶﾞｿﾞｳﾏｲｽｳ XXXX
ｲﾝﾃﾞｯｸｽｼｰﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ

4 登録/セット を押す

ｽﾍﾞﾃﾉ ｶﾞｿﾞｳ <>

5 ファクス電話帳 を押して、インデックスシートにプリントする画像を指定する

・スベテノ　ガゾウ　：すべての画像 ⇒ 手順10へ
・サイシン　25ガゾウ　：最新の25画像 ⇒ 手順10へ
・ハンイヲ　シテイスル：範囲を指定 ⇒ 手順6へ

6 登録/セット を押す

ｶｲｼ =

7 プリントしたい写真の最初の番号を入力する

8 登録/セット を押す

ｶｲｼ = 1
ｼｭｳﾘｮｳ =

9 プリントしたい写真の最後の番号を入力する

10 登録/セット を押す
インデックスシートがプリントされます。

ｲﾝﾃﾞｯｸｽ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

こんなときは
操作を中断したいときは：［ストップ］ボタンを押します。

写真の番号を指定してプリントする

メモリカード内の写真を、番号で指定してプリントします。写真の番号は、インデックスシートをプリントすると、確認できます。

1 メモリカードを差し込む
ステータスランプが点灯します。

ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ
または
DPOFｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

2 メモリカード を押す

ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｷｰ ﾃﾞ
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ

3 メモリカード を2回押す
XXXXには枚数が表示されます。

ｶﾞｿﾞｳﾏｲｽｳ XXXX
1ｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ

4 登録/セット を押す

ｶﾞｿﾞｳﾊﾞﾝｺﾞｳｦ
ﾆｭｳﾘｮｸｼﾃｸﾀﾞｻｲ

5 プリントしたい写真の番号を入力する

ｶﾞｿﾞｳﾊﾞﾝｺﾞｳ= 1
ｾｯﾄﾃﾞ ｹｯﾃｲ

6 登録/セット を押す

ﾌﾞｽｳｦ ﾆｭｳﾘｮｸ

7 プリントの枚数を入力する
1〜30が入力できます。

ﾌﾞｽｳ: 1
ｾｯﾄﾃﾞ ｹｯﾃｲ

8 登録/セット を押す

ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ・ｻｲｽﾞ
ﾌｫﾄ・L <>

9 ファクス電話帳 を押して、写真のサイズを選ぶ

・フォト用紙 L判　：フォト・L
・フォト用紙 フチなしL判　：フォト・フチナシL
・フォト用紙 A4判　：フォト・A4
・フォト用紙 フチなしA4判　：フォト・フチナシA4
・フォト用紙 はがき　：フォト・ハガキ
・フォト用紙 フチなしはがき：フォト・フチナシハガキ
・普通紙 A4判　：フツウ・A4

10 登録/セット を押す
写真がプリントされます。

ｼｬｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

こんなときは
操作を中断したいときは：［ストップ］ボタンを押します。

すべての写真をプリントする

メモリカード内の、すべての写真をプリントします。

1 **メモリカードを差し込む**
ステータスランプが点灯します。

ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ
または
DPOFｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

2 メモリカード **を押す**

ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｷｰ ﾃﾞ
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ

3 メモリカード **を3回押す**
XXXXには枚数が表示されます。

ｶﾞｿﾞｳﾏｲｽｳ XXXX
ｾﾞﾝｶﾞｿﾞｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ

4 登録/セット **を押す**

ﾌﾞｽｳｦ ﾆｭｳﾘｮｸ

5 **プリントの枚数を入力する**
1〜30が入力できます。

ﾌﾞｽｳ: 1
ｾｯﾄﾃﾞ ｹｯﾃｲ

6 登録/セット **を押す**

ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ・ｻｲｽﾞ
ﾌｫﾄ･L <>

7 ファクス電話帳 **を押して、写真のサイズを選ぶ**

- フォト用紙 L判 ：フォト・L
- フォト用紙 フチなしL判 ：フォト・フチナシL
- フォト用紙 A4判 ：フォト・A4
- フォト用紙 フチなしA4判 ：フォト・フチナシA4
- フォト用紙 はがき ：フォト・ハガキ
- フォト用紙 フチなしはがき：フォト・フチナシハガキ
- 普通紙 A4判 ：フツウ・A4

8 登録/セット **を押す**
写真がプリントされます。

ｼｬｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

こんなときは
操作を中断したいときは：［ストップ］ボタンを押します。

写真の番号で範囲を指定してプリントする

メモリカード内の複数の写真を、番号の範囲を指定してプリントします。

注意
番号を個別に指定することはできません。
- 1〜5 ：指定可
- 1、3、5：指定不可

1 **メモリカードを差し込む**
ステータスランプが点灯します。

ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ
または
DPOFｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

2 メモリカード **を押す**

ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｷｰ ﾃﾞ
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ

3 メモリカード **を4回押す**
XXXXには枚数が表示されます。

ｶﾞｿﾞｳﾏｲｽｳ XXXX
ﾊﾝｲｼﾃｲ ﾌﾟﾘﾝﾄ

4 登録/セット **を押す**

ｶｲｼ =

5 **プリントしたい写真の最初の番号を入力する**

6 登録/セット **を押す**

ｶｲｼ = 1
ｼｭｳﾘｮｳ =

7 **プリントしたい写真の最後の番号を入力する**

8 登録/セット **を押す**

ﾌﾞｽｳｦ ﾆｭｳﾘｮｸ

9 **プリントの枚数を入力する**
1〜30が入力できます。

ﾌﾞｽｳ: 1
ｾｯﾄﾃﾞ ｹｯﾃｲ

10 登録/セット **を押す**

ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ・ｻｲｽﾞ
ﾌｫﾄ･L <>

11 ファクス電話帳 **を押して、写真のサイズを選ぶ**

- フォト用紙 L判 ：フォト・L
- フォト用紙 フチなしL判 ：フォト・フチナシL
- フォト用紙 A4判 ：フォト・A4
- フォト用紙 フチなしA4判 ：フォト・フチナシA4
- フォト用紙 はがき ：フォト・ハガキ
- フォト用紙 フチなしはがき：フォト・フチナシハガキ
- 普通紙 A4判 ：フツウ・A4

12 登録/セット **を押す**
写真がプリントされます。

ｼｬｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ
⋮
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｹﾝｼｭﾂ

こんなときは
操作を中断したいときは：［ストップ］ボタンを押します。

DPOF形式で保存された写真をプリントする

デジタルカメラで、あらかじめ写真をDPOF形式で保存しておくと、本機で番号を指定しなくても、任意の写真だけがプリントできます。DPOF形式での保存のしかたなどについては、デジタルカメラに添付の取扱説明書を参照してください。

1 メモリカードを差し込む

ステータスランプが点灯します。

DPOFｶｰﾄﾞｹﾝｼｭﾂ

2 メモリカード を押す

ｼﾊﾞﾗｸｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ

⋮

ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ ｷｰ ﾃﾞ
ｷﾉｳｾﾝﾀｸ

3 メモリカード を5回押す

ｶﾞｿﾞｳﾏｲｽｳ XXXX
DPOF ﾌﾟﾘﾝﾄ

4 登録/セット を押す

ﾖｳｼﾀｲﾌﾟ・ｻｲｽﾞ
ﾌｫﾄ・L <>

5 ファクス電話帳 を押して、写真のサイズを選ぶ

- フォト用紙 L判 ：フォト・L
- フォト用紙 フチなしL判 ：フォト・フチナシL
- フォト用紙 A4判 ：フォト・A4
- フォト用紙 はがき ：フォト・ハガキ
- フォト用紙 フチなしはがき：フォト・フチナシハガキ
- 普通紙 A4判 ：フツウ・A4

6 登録/セット を押す

ｼｬｼﾝ ﾌﾟﾘﾝﾄﾁｭｳ

写真がプリントされます。

こんなときは

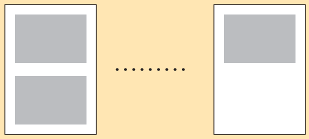
操作を中断したいときは：［ストップ］ボタンを押します。

注意

- 日付印刷には対応していません。
- DPOFプリントが正常に終了した場合：
  再度DPOFプリントを行うには、もう一度デジタルカメラを使用して写真をDPOF形式で保存します。
- DPOFプリントを中断した場合または何らかの異常で終了した場合：
  メモリカードをもう一度、抜き差しすれば再度プリントができます。

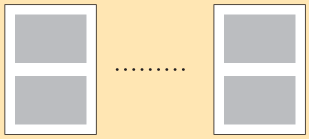
注意

- DPOFプリントでA4判の用紙サイズを選んだときは、下記のように写真が割り付けられてプリントされます。
  －メモリカード内に保存されているDPOF形式の写真が奇数枚の場合



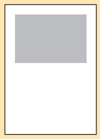
1ページ目　　最終ページ

  －メモリカード内に保存されているDPOF形式の写真が偶数枚の場合



1ページ目　　最終ページ

  －メモリカード内に保存されているDPOF形式の写真が1枚の場合



1ページ目

ダイレクト写真印刷

スキャン

スキャンする

親機のボタン操作だけで、簡単にスキャンできます。スキャンした画像データは、パソコンの画面に表示させたり（スキャン to PCアプリケーション）、メモリカードに保存したり（スキャン to メモリカード）することができます。

こんなときは

スキャンしてはいけないものは：『コピーしてはいけないもの』（⇒ P.63）

読み取れる原稿のサイズは：『読み取れる原稿のサイズ』（⇒ P.63）

読み取れる範囲は：『読み取れる範囲』（⇒ P.63）

パソコンにスキャン画像を表示する（スキャン to PCアプリケーション）

原稿をスキャンして、パソコンの画面に表示させることができます。ここでは、例として本機に付属のソフトウェア「Photo and Imaging Gallery」でスキャン画像を表示する方法を説明しています。

1 本機とパソコンを、USBケーブルで接続する
『パソコンに接続する』（⇒ P.26）

2 原稿をセットする
『原稿セットのしかた』（⇒ P.63）

3 スキャン を押す

```
ｽｷｬﾝｻｷｦ ｼﾃｲ
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ        <>
```

4 ファクス電話帳 を押して、“PCアプリケーション”を選ぶ

```
ｽｷｬﾝｻｷｦ ｼﾃｲ
PCｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ     <>
```

5 登録/セット を押す

```
PCｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ
AdobePhotoshop<>
```

6 ファクス電話帳 を押して、“Image gallery”を選ぶ

```
PCｱﾌﾟﾘｹｰｼｮﾝ
Image gallery <>
```

“Image gallery”のほかに“MS PowerPoint”や“Adobe Photoshop”を選ぶこともできます。

■***Microsoft PowerPointやAdobe Photoshopにスキャン画像を表示させたい***… あらかじめ、パソコンにインストールしたSP-P70 Directorの「スキャン送信設定」で、「フロントパネル送信先」にMicrosoft PowerPoint、Adobe Photoshopを追加しておく必要があります。詳しくは、『パソコン活用編』を参照してください。

7 登録/セット を押す

```
PCｾｯｿﾞｸﾁｭｳ
    ⋮
ｽｷｬﾅ ﾄﾞｳｻﾁｭｳ
```

スキャンが終わるとパソコンの【Scan Preview】画面に、スキャンした画像が表示されます。

以降の操作は、『パソコン活用編』の「絵や写真を取り込む」を参照してください。

こんなときは

“ジッコウ　デキマセン”と表示された：
パソコンと接続されていない可能性があります。パソコンと本機の接続状態を確認してください（⇒ P.28）。
正しくUSBケーブルが接続されている場合は、SP-P70 Directorの「スキャン送信設定」で、利用するアプリケーションが「フロントパネル送信先」に追加されていることを確認してください（⇒『パソコン活用編』）。それでも実行できないときは、SP-P70 Directorの「スキャン送信設定」をやり直してみてください。

注意

- スキャンを実行してからスキャナが動作し始めるまでには、約10秒程度、時間がかかります（かかる時間は、パソコンのスペックによって異なります）。この間、本機には“PCセツゾクチュウ”と表示されます。
- スキャン中にUSBケーブルを引き抜かないでください。誤動作の原因となります。
- USBケーブルは、短時間の間でひんぱんに抜き差ししないでください。本機の保護機能がはたらき、自動で再起動する場合があります。

メモリカードにスキャン画像を保存する（スキャン to メモリカード）

原稿をスキャンして、本機に差し込んだメモリカードに、JPEG 形式の画像データを保存することができます。

注意

xDピクチャーカードは、スキャン to メモリカードには対応していません。

1 本機にメモリカードを差し込む

『メモリカードを差し込む』（⇒ P.72）

2 原稿をセットする

『原稿セットのしかた』（⇒ P.63）

3 スキャン を押す

```
ｽｷｬﾝｻｷｦ ｼﾃｲ
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞ        <>
```

4 登録/セット を押す

```
ﾒﾓﾘｶｰﾄﾞﾆ ｽｷｬﾝ
ﾓﾉｸﾛ           <>
```

5 ファクス電話帳 を押して、“モノクロ”または“カラー”を選ぶ

押すごとに画面の表示が変わります。

6 登録/セット を押す

```
ｽｷｬﾅ ﾄﾞｳｻﾁｭｳ
```

これで、メモリカードにスキャン画像が保存できました。

こんなときは

利用できるメモリカードは：『メモリカードの確認』（⇒ P.71）

スキャン画像の保存先：スキャンした画像には、自動で“SCANxxxx.JPG”（xxxxは連続した数字）というファイル名が付きます。また、メモリカード内に下記のフォルダが自動で作成され、このフォルダ内に保存されます。

- 保存先フォルダ：DCIMフォルダ内のyyyNCAIOフォルダ（yyyは数字）

“ジッコウデキマセン”と表示された：メモリカードが正しく差し込まれていない可能性があります。一度、メモリカードを引き抜いて、差し込み直してください。

注意

- メモリカードを本機に差し込んだまま、電源を入れないでください。正しく認識されない場合があります。この場合は、メモリカードを抜いたあと、もう一度電源を入れ直してからメモリカードを差し込んでください。
- ステータスランプが緑点滅中（メモリカードにアクセス中）には、メモリカードを取り出さないでください。メモリカードが破損する恐れがあります。
- スキャン中にメモリカードを取り出したり、電源コードを電源コンセントから抜いたりしないでください。正しくスキャンできないことがあります。
- 空き容量にゆとりのあるメモリカードを使用してください。空き容量が少ないメモリカードを使ってスキャンを行うと、正しくスキャンできないことがあります。
- ディスプレイの表示が“ヨミトリチュウ”のままとなったときは、メモリカードまたはファイルが壊れている可能性があります。メモリカードをフォーマットするか、メモリカードを交換してください。

ナンバー・ディスプレイ

ナンバー・ディスプレイを利用する

ナンバー・ディスプレイとは、電話をかけた方またはファクスを送った方の電話（ファクス）番号などが、受信側の画面に表示されるサービスです。このサービスを利用するためには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。
契約している場合は、ナンバー・ディスプレイを「利用する」に必ず設定してください（ナンバー・ディスプレイの設定 ⇒ P.80）。お買い上げ時は「利用する」に設定されています。
キャッチホン・ディスプレイ（有料）をご契約になると、お話し中に別の人から電話がかかってきたときに電話番号などが表示されます（⇒ P.87）。

注意

次の場合は電話番号が表示されません。
- 国際電話
- オペレーター扱いの通話（100 番・106 番）
- 相手先が番号非通知のとき
- 相手先が公衆電話からかけてきたとき
- 相手先が圏外からかけてきたとき
- 電話回線の雑音などで、データを正常に受信できなかったとき

ナンバー・ディスプレイサービスを利用した便利な機能

ナンバー・ディスプレイを利用すると、いろいろな便利な機能を使うことができます。
- かけてきた相手先の電話番号と日時を確認する：着信データの表示 ⇒ P.84
- 着信データを使って電話をかける：コールバック ⇒ P.85
- 着信データを電話帳に登録する：かんたん登録 ⇒ P.85
- 留守中にかけてきた相手先を確認する：留守録着信データ ⇒ P.86
- 電話に出たくない相手先には着信拒否のメッセージを流す：着信拒否 ⇒ P.80
- 相手先によって子機だけベルを鳴らしたり、着信ベルの音色やメロディを変える：着信鳴り分けとプライベートコール ⇒ P.82
- おやすみモードを設定しているときに、特定の相手先からの電話やファクスのときだけ着信ベルを鳴らす：とくていコール ⇒ P.83
- 電話番号を通知してこない相手先にメッセージを流す：番号リクエスト ⇒ P.80

注意

- ナンバー・ディスプレイを利用して、相手の名前も表示する場合は、電話帳に番号を登録する際に「＊」、「＃」、「－（ポーズ）」を入力しないでください。入力すると、相手から通知された番号と、電話帳に登録した番号が一致しないため、相手の名前が表示できません。また、相手が同一市内の場合でも、電話番号は必ず市外局番から登録してください。
- 着信拒否を「する」に設定している場合でも、親機の登録・設定中／コピー中にかかってきた場合は、対象となっている相手先であっても拒否メッセージは流れません。

ご利用にあたって

ナンバー・ディスプレイを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です。

注意
- 本機でナンバー・ディスプレイを契約すると、次のサービスが利用できなくなります。
  - ー 転送電話（ボイスワープを除く）
  - ー ダイヤルQ2（情報提供側）
  - ー テレドーム（情報提供側）
  - ー ノーリンギング情報サービス（センター回線）
- ブランチ接続では使えません（⇒ P. 18）。
- 構内交換機やホームテレホンなどに接続されているときは、ナンバー・ディスプレイをご利用になれないことがあります。
- 停電時は、ナンバー・ディスプレイはご利用できません。

お問い合わせ先

NTT東日本・NTT西日本

窓　　口：116（無料）
受付時間：午前9:00〜午後9:00
年中無休（年末年始12月29日〜1月3日を除きます）

ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンター

フリーダイヤル：**0120-848521**

受付時間：午前9:00〜午後5:00（月曜〜土曜）

確認

ダイヤルインサービスを同時に利用するときは
必ずモデムダイヤルインサービスを契約してください。通常のダイヤルインサービスを契約している場合は、モデムダイヤルインサービスに変更する必要がありますので、ナンバー・ディスプレイ　カスタマーセンターに連絡してください。

ISDN回線を利用しているときは
ナンバー・ディスプレイ対応のターミナルアダプタを使用してください。ターミナルアダプタの種類によっては、ナンバー・ディスプレイを利用できないことがあります。

ネーム・ディスプレイについて
本機は、ネーム・ディスプレイサービスには対応しておりません。

表示の見かた

電話がかかってくると、相手先の番号が次のように表示されます。

- 電話帳、ワンタッチダイヤル（子機のみ）に登録されていない相手先のとき

親機	子機
ｱｲﾃ:0312345678	0312345678

- 電話帳、ワンタッチダイヤル（子機のみ）に登録されている相手先のとき

親機	子機
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ TEL:0312345678	ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

こんなときは

親機と子機で同じ電話番号に違う名前を登録している：親機と子機、それぞれに登録した名前が表示されます。

相手先が番号非通知のとき	ﾋﾂｳﾁ
相手先が公衆電話のとき	ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ
相手先が海外など、圏外からかけてきたとき	ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ
一時的な電話回線の雑音などにより正常に受信できなかったとき	ｼﾞｭｼﾝｴﾗｰ

自分の電話番号の通知・非通知について

ナンバー・ディスプレイを利用している相手先に、自分の電話番号を通知するかどうかを、電話をかけるごとに指定できます。

注意
電話番号を通知すると、電話勧誘など思わぬ使いかたをされることがあります。

	契約の内容	
	通話ごとの非通知	回線ごとの非通知
相手先に電話番号を通知する	普通にダイヤルする	[1] [8] [6] のあと相手先の番号をダイヤル
相手先に電話番号を通知しない	[1] [8] [4] のあと相手先の番号をダイヤル	普通にダイヤルする

こんなときは

自分の契約がどちらかわからないときは：NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。

必要な設定

ナンバー・ディスプレイの設定

お買い上げのとき：**利用する**

注意
- ナンバー・ディスプレイを契約している場合は「利用する」、契約していない場合は「利用しない」に必ず設定してください。この設定が間違っていると、電話が受けられないことがあります。
- モデムダイヤルインを契約している場合は、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、「利用する」に設定してください。

メニュー ➡ 5（ナ JKL） ➡ 登録/セット ➡ ファクス電話帳（◀▶） ➡ 登録/セット ➡

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ 〇×

どちらかを押すと切り替わる
ナンバーディスプレイ　〇×：利用する
ナンバーディスプレイ　〇×：利用しない

"ナンバーディスプレイ　〇×" を選んだとき ➡ ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ ｼﾃｲ ＆ ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ ｼﾃｲ ➡ **終了するときは** ストップ
続けていろいろな設定が行えます。

"ナンバーディスプレイ　〇×" を選んだとき ➡ ｶﾝﾘｮｳ

いろいろな設定／機能

電話番号を通知してこない相手先にメッセージを流す<番号リクエスト>

お買い上げのとき：**しない**

非通知の相手先からかかってきたとき、ベルを鳴らさずメッセージを流してから自動的に電話を切ることができます。

注意
非通知の相手先に流すメッセージ…「番号を通知しておかけ直しください。また、回線ごと非通知の方は番号の前に186をダイヤルしておかけ直しください」（固定）

メニュー ➡ 5（ナ JKL） ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー（2回押す） ➡ ファクス電話帳（◀▶） ➡ 登録/セット

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ 〇×

ﾊﾞﾝｺﾞｳﾘｸｴｽﾄ 〇×

どちらかを押すと切り替わる
バンゴウリクエスト　〇×：する
バンゴウリクエスト　〇×：しない

注意
- 番号リクエストを「する」に設定すると、留守設定中も、非通知の相手先からの電話は留守録音やファクス受信ができません。
- 公衆電話や表示圏外からの電話は、通常どおり着信します。

電話を受けたくない相手先を設定する<着信拒否>

お買い上げのとき：着信拒否**「する」**、公衆電話拒否**「しない」**、表示圏外拒否**「しない」**

着信拒否に登録してある相手先からかかってきたときに、ベルを鳴らさずにメッセージを流して電話を切ることができます。また、公衆電話からの着信や条件等により、電話番号を通知できない電話からの着信（表示圏外）を拒否することもできます。

注意
着信拒否の相手先に流すメッセージ…「申し訳ありませんがお取り次ぎできません」（固定）

着信拒否機能を利用する／しないを設定する

メニュー ➡ 5 ナ JKL ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー ➡ ファクス電話帳 ➡

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

3回押す

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ○×

どちらかを押すと切り替わる
チャクシンキョヒ ○×：する
チャクシンキョヒ ○×：しない

➡ 登録/セット

"チャクシンキョヒ ○×"を選んだとき ➡ ファクス電話帳 ➡ 登録/セット ➡

ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ ○×

どちらかを押すと切り替わる
コウシュウデンワ ○×：する
コウシュウデンワ ○×：しない

ﾋｮｳｼﾞｹﾝｶﾞｲ ○×

"チャクシンキョヒ ○×"を選んだとき ➡

ｶﾝﾘｮｳ

➡ ファクス電話帳 ➡ 登録/セット

どちらかを押すと切り替わる
ヒョウジケンガイ ○×：する
ヒョウジケンガイ ○×：しない

注意 着信拒否を「する」に設定すると、留守設定中も、着信拒否に登録されている相手先からは電話の留守録音やファクス受信ができません。

着信拒否する相手先を登録する

受けたくない相手先の電話番号（20件まで）を、あらかじめ着信拒否に登録しておきます。着信拒否に登録する場合、すでに登録されているリストの番号の次の番号に登録されます。

メニュー ➡ 5 ナ JKL ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー ➡ 登録/セット ➡

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

4回押す

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾘｽﾄ
ﾍﾝｼｭｳ

ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ ﾘｽﾄ
1:ﾄｳﾛｸ 2:ｶｸﾆﾝ

➡ 1 ア ➡ 相手先の電話番号を市外局番から入力する ➡ 登録/セット

01)
TEL:_

<着信データの番号を着信拒否に登録する>

注意 子機からは着信拒否の登録はできません。

ファクス電話帳 ➡ ファクス電話帳 ➡ 登録/セット ➡ 2 カ ABC ➡ ストップ

登録する相手先を表示させる

こんなときは

"チャクシンキョヒ　リスト　フル"と表示されたときは： 着信拒否を登録できるのは20件までです。リストから不要な電話番号を消去してください。

"トウロクズミ　デス"と表示されたときは： 登録しようとしている相手先が、すでに着信拒否リストにあります。

登録内容を確認／消去する

メニュー ➡ 5（ナ JKL） ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー（4回押す） ➡ 登録/セット ➡

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ  ○ ×
```

```
ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ  ﾘｽﾄ
 ﾍﾝｼｭｳ
```

```
ﾁｬｸｼﾝｷｮﾋ  ﾘｽﾄ
1:ﾄｳﾛｸ  2:ｶｸﾆﾝ
```

➡ 2（カ ABC） ➡ ファクス電話帳（どちらかを押して確認する）

```
01)
TEL:0312345678
```

- 確認を終わるとき：ストップ
- 消去するとき　：消去

■着信拒否する相手先の登録 ⇒ P. 81

こんなときは　“チャクシンキョヒ　リスト　ミトウロク”と表示されたときは：着信拒否する相手先が1件も登録されていません。

かけてくる相手先によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>

お買い上げのとき：着信鳴り分け「シテイナシ」、プライベートコール「スベテ」

電話帳に登録してある相手先からかかってきたときは、ベルの音色やメロディを変えることや（着信鳴り分け）、あらかじめ指定した子機だけのベルを鳴らすことができます（プライベートコール）。
ベルの鳴っていない子機でも電話に出ることができます。

メニュー ➡ 5（ナ JKL） ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡

```
ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ  ○ ×
```

```
ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ  ｼﾃｲ  &
ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ  ｼﾃｲ
```

```
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL:0312345678
```

➡ ファクス電話帳（どちらかを押して、ベルを鳴り分けしたい相手先を表示させる） ➡ 登録/セット ➡ ファクス電話帳 ➡

```
ﾁｬｸｼﾝﾅﾘﾜｹ  ｼﾃｲ
 -> ｼﾃｲﾅｼ
```

どちらかを押して、ベルの音色／メロディを表示させる

- シテイナシ　：「ベルの音色／メロディを変える」で指定したベル
- ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
- ベル（ナリワケ）　：「ヒョウジュン」とは違う音色
- メロディ（A）　：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
- メロディ（B）　：春
- メロディ（C）　：トルコ行進曲

➡ 登録/セット ➡ ファクス電話帳 ➡ 登録/セット

```
ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄｺｰﾙ  ｼﾃｲ
  -> ｽﾍﾞﾃ
```

どちらかを押して、プライベートコールで鳴らす電話機を表示させる

- スベテ
- ナイセン2(コキ)※1
- ナイセン3(コキ)※2
- ナイセン4(コキ)※3

※1：コードレス子機のことです。
※2：SP-P70Hの場合は増設時に表示されます。
※3：増設時に表示されます。

```
ｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ
```

```
1:ﾍﾝｺｳ  ｼｭｳﾘｮｳ
2:ﾍﾝｺｳ  ｦ  ﾂﾂﾞｹﾙ
```

- 設定を終わるとき：1（ア）
- 続けて別の相手先の着信鳴り分けを設定するとき：2（カ ABC）

注意　電話帳に登録されている番号に「＊」「＃」「－（ポーズ）」が含まれている場合や、市外局番が登録されていない場合には、ナンバー・ディスプレイの機能が正常にはたらきません。電話帳に登録するときは、ご注意ください。

こんなときは

“デンワバンゴウミトウロク”と表示されたときは：電話帳に何も登録されていません。

選択中の着信ベルを確認したいときは：［<］ボタンまたは［>］ボタンで着信ベルの音色／メロディを選択しているとき、親機の［音量］ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます（『音量を調整する』（⇒ P. 42））。途中でやめたい場合は［ストップ］ボタンを押してください。子機の［>］ボタンでは音量の調節はできません。

かけてくる相手先によって着信ベルを鳴らす<とくていコール>

お買い上げのとき：とくていコール**「しない」**、電話帳設定**「電話帳すべて」**、公衆・圏外**「なし」**

本機をおやすみモード（⇒ P. 51）に設定していると、電話やファクスが入ったときに着信ベルは鳴りませんが、とくていコールに設定された相手先から電話やファクスが入ってきたときには、着信ベルを鳴らすことができます。

メニュー → 5（ナ JKL） → 登録/セット

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ ○×

→ 登録/セット → メニュー 1回押す

ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ ○×

→ ○（する）を選んで →

どちらかを押して、選択する
トクテイ　コール　○×：する
トクテイ　コール　○×：しない

→ 登録/セット

1：ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｾｯﾃｲ
2：ｺｳｼｭｳ･ｹﾝｶﾞｲ

→ 1（ア）のとき →

ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｾｯﾃｲ
->ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ｽﾍﾞﾃ

どちらかを押して、鳴動される種別を表示させる
・デンワチョウ　スベテ：電話帳に登録されている相手先をすべて鳴らすとき
・デンワチョウ　コベツ：電話帳に登録されている特定の相手先のみ鳴らすとき

→ 1 へ

→ 2（カ ABC）のとき →

ｺｳｼｭｳ･ｹﾝｶﾞｲ
->ﾅｼ

どちらかを押して、鳴動される種別を選択する
・ナシ　：鳴らさない
・コウシュウデンワ　：公衆電話からの着信を鳴らす
・ヒョウジケンガイ　：表示圏外からの着信を鳴らす
・コウシュウ　&　ケンガイ：公衆電話と表示圏外からの着信を鳴らす

→ 登録/セット

1 登録/セット

“デンワチョウ　スベテ”のとき → ｶﾝﾘｮｳ

“デンワチョウ　コベツ”のとき →

ｱｲﾃ：ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ
TEL：0312345678

→ どちらかを押して、設定する相手先を表示させる → 2 へ

2 登録/セット

ﾄｸﾃｲｺｰﾙ ｾｯﾃｲ
->ｼﾅｲ

→ どちらかを押して、選択する
・スル
・シナイ

→ 登録/セット

ｾｯﾃｲｼﾏｼﾀ

1：ｼｭｳﾘｮｳ
2：ﾃﾞﾝﾜﾁｮｳ ﾂﾂﾞｹﾙ

設定を終わるとき：1（ア）

続けて別の相手先のとくていコールを設定するとき：2（カ ABC）

注意

子機は親機より遅れてベルが鳴り始めるため、トールセイバを「する」に設定していて留守番電話の用件が録音されている場合、子機のベルが鳴らないことがあります（トールセイバ ⇒ P. 50）。

こんなときは

とくていコールによって鳴るベルの音色：
- 電話帳に登録されている相手先の場合は、『かけてくる相手先によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>』（⇒ P. 82）で設定した音色で鳴ります。
- 公衆電話や表示圏外の場合は「ベル（ヒョウジュン）」の音色で鳴ります（『ベルの音色／メロディを変える』（⇒ P. 94））。

ナンバー・ディスプレイ

着信データの活用

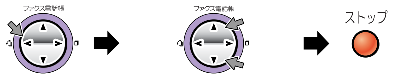
電話がかかってきた日時と相手の名前または電話番号が､親機と子機それぞれに着信データとして自動的に記憶されます。着信データは親機に20件、子機に10件まで記憶され、これらの件数を超えると古いものから順に消去されます。

注意 親機では、電話やファクスを使用しているときは、着信データを見ることはできません。

こんなときは **着信データをプリントしたいときは：**『ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする』（⇒ P.98）

過去にかかってきた相手先を確認する＜着信データの表示＞

親機で



他の着信データを見る

ディスプレイには、最新の着信データから順に表示されます。

電話帳に登録している相手先
相手先の名前が表示されます。

着信した順番（新しい順）	着信した日時
01）	9月20日 21：44
ｱｲﾃ：ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ	

[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して画面を切り替える

02）	9月20日 20：00
ｱｲﾃ：ｶﾄｳ	

電話帳に登録していない相手先
相手先の電話番号が表示されます。

着信した順番（新しい順）	着信した日時
01）	9月20日 21：44
ｱｲﾃ：0312345678	

[▲]ボタンまたは[▼]ボタンを押して画面を切り替える

02）	9月20日 20：00
ｱｲﾃ：0612345678	

こんなときは **“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されたときは：**着信データが記憶されていません。ナンバー・ディスプレイサービスに加入していない場合、着信データは残りません（⇒ P.78）。

子機で



2回押す

他の着信データを見る

0312345678　または　ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ

電話機に登録してある相手先の場合、
相手先の名前が表示されます。

注意
- 子機のディスプレイに、相手先の電話番号などが表示されたときに着信データとして記憶されます。
- 子機を電波の届かないところに置くと、記憶されません。

こんなときは **着信データの表示を切り替えたいときは：**[＞] ボタンを押すと、相手先の名前（電話帳に登録してある場合）→電話番号→着信日時の順に、表示が切り替わります。[＜] ボタンを押すと、相手先の名前（または電話番号）の表示に戻ります。

0312345678　[＞]→ ←[＜]　9月20日21：44

“アリマセン”と表示されたときは：着信データが記憶されていません。ナンバー・ディスプレイサービスに加入していない場合、着信データは残りません（⇒ P. 78）。

着信データを消す

親機で

→ 消去したい着信データを表示させる → 消去 → ショウキョ シマスカ? 1：ショウキョ 2：チュウシ → 1 → ショウキョ シマシタ → ストップ

約3秒後に次の着信データが表示されます。

子機で

待受中 → 2回押す → 消去したい着信データを表示させる → 保留/消去 ショウキョ シマスカ? → 保留/消去 または メニュー ショウキョ シマシタ ピーッ → または 切

■*待受中については* ⇒ P. 14

消去を途中でやめたいときは：“ショウキョ　シマスカ?”と表示されたところで［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押し“チュウシ　シマスカ?”と表示されたら［メニュー］ボタンを押してください。

着信データを使って電話をかける<コールバック>

着信データの電話番号へ、子機で簡単に電話をかけることができます。

待受中 → 2回押す → かけたい相手先を表示させる → 通話 → 通話

■*待受中については* ⇒ P. 14

“アリマセン”と表示されたときは：着信データが記憶されていないため、コールバックできません。

着信データを電話帳に登録する<かんたん登録>

着信データの電話番号を電話帳に登録できます。子機の着信データは、子機の電話帳に登録できます。

親機で

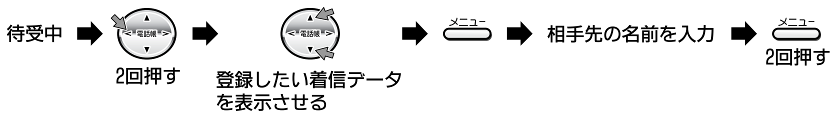
→ 登録したい着信データを表示させる → 登録/セット → 1 → 相手先の名前を入力 → 登録/セット → ストップ

“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されたときは：着信データが記憶されていないため、登録できません。

“デンワチョウ　フル”と表示されたときは：電話帳から不要な電話番号を消去してください（『親機の電話帳の登録内容を消去する』（⇒ P. 38））。

文字入力のしかたがわからないときは：文字入力一覧表 ⇒ P. 138

子機で



■待受中については ⇒ P. 14

“アリマセン”と表示されたときは：着信データが記憶されていないため、登録できません。

“デンワチョウ　フル”と表示されたときは：電話帳から不要な電話番号を消去してください（『子機の電話帳の登録内容を消去する』（⇒ P. 39））。

文字入力のしかたがわからないときは：文字入力一覧表 ⇒ P. 138

留守中にかけてきた相手先を確認する＜留守録着信データ＞

留守設定中に電話がかかってくると、着信データと同時に留守録着信データが記憶されます。これにより、親機や子機で用件を再生しながら相手番号を確認することができます。外線リモートや子機のリモコン操作で用件を聞いたときは、電話番号が音声で聞こえます。留守録着信データは、いったん回線がつながった相手先であれば、応答メッセージが流れている間に相手先が電話を切っても記憶されます。

『録音された用件を聞く』（⇒ P. 46）
『外出先から用件を聞く』（⇒ P. 48）

注意

留守録着信データには、次のような制限があります。
- 用件が消去されると、留守録着信データも同時に消去されます。
- 留守録着信データを使って電話をかけたりファクスを送ることはできません。
- 電話帳や着信拒否に登録することはできません。

親機で

留守録の用件を再生すると、ディスプレイに留守録着信データが表示されます。

電話帳に登録している相手先	電話帳に登録していない相手先
ｱｲﾃ:ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ ｻｲｾｲﾁｭｳ　　1/ 5	ｱｲﾃ:0312345678 ｻｲｾｲﾁｭｳ　　1/ 5
相手先の名前が表示されます。	相手先の電話番号が表示されます。

子機で

ディスプレイに留守録着信データは表示されません。留守録の用件を再生すると、用件のあと、時間と相手先の電話番号が音声で聞こえます。

- 相手先が用件を録音していないと、用件のかわりにビジートーン（話中音）が聞こえ、そのあと時間と相手先の電話番号が聞こえます。
- 相手先の電話番号が通知されないときは、その理由が音声で聞こえます。

キャッチホン・ディスプレイについて

通話中にキャッチホンが入ったとき、かけてきた相手先の電話番号を約30秒間表示します。表示の見かたは、ナンバー・ディスプレイの表示と同じです。キャッチホン・ディスプレイを利用するためには、キャッチホンとナンバー・ディスプレイを契約（有料）したうえで、キャッチホン・ディスプレイの契約（有料）をしてください。

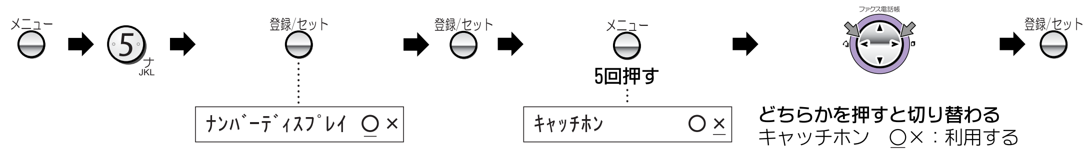
ダイヤルインサービスも同時に利用したいときは：必ずモデムダイヤルインサービスでご利用ください。「ナンバー・ディスプレイカスタマーセンター」（⇒ P.79）または最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

ISDN回線を利用しているときは：キャッチホン・ディスプレイはアナログ回線用のサービスです。ISDN回線の方は、最寄りのNTT東日本またはNTT西日本の窓口にご相談ください。

キャッチホン・ディスプレイを設定する

お買い上げのとき：**利用しない**

NTT東日本またはNTT西日本のキャッチホン・ディスプレイを契約したときに設定します。



どちらかを押すと切り替わる
キャッチホン　○×：利用する
キャッチホン　○×：利用しない

キャッチホン・ディスプレイのご利用にあたって

- キャッチホンが着信すると、キャッチホン着信音「プルルー・プップッ」のあとに「ピポ」という音が聞こえ、相手先の電話番号を受信する間（約1秒間）通話が途切れます。
- 子機で通話中の場合、親機から電話番号情報を転送する間「ザッ」というノイズが聞こえます。
- 次の場合、キャッチホンが着信しても、相手先の電話番号が表示されないことがあります。
  - 保留中、留守番電話動作中、コピー中、ファクス送受信中、登録・設定操作中、通話録音中、通話再生中、外線転送中
  - 大声で通話したとき
  - 周囲の雑音が大きいとき
  - NTT東日本またはNTT西日本の交換機とお客様宅との距離が遠いとき

注意

キャッチホン・ディスプレイをご契約になる場合には、次の点にご注意ください。
- ファクスの送信中や受信中にキャッチホンが入ると、ファクスの画像が乱れたり、送信や受信が中断されることがあります。また、この場合、電話がかかってきたことは、こちらではわかりません。キャッチホン・ディスプレイの異常ではありませんので、ご了承願います。
- 通話中に、キャッチホン・ディスプレイで割り込んできた相手先がファクスの場合は、「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえてもファクスかんたん受信（⇒ P.60）は動作しません。手動受信の操作（⇒ P.57）をしてファクスを受信することはできますが、受信中は前の方とのお話しに戻ることができません。子機の［キャッチ］ボタンをもう一度押して、先に通話していた方とお話しください。なお、手動受信の操作をしなかった場合は、ファクスを送ってきていた相手先は通信エラーになります。ファクスが再送信されてくることが考えられますので、早めにお話しを終えられることをお勧めします。

キャッチホン・ディスプレイの表示について

- 着信拒否を設定している相手先（着信拒否リスト）の場合でも、キャッチホン着信して、その番号が表示されます。
- 番号リクエストの設定が「する」になっていても、非通知の相手先もキャッチホン着信して“ヒツウチ”と表示されます。
- プライベートコールに指定されている番号も表示されます。
- キャッチホンに応答する前に相手先が電話を切っても、約30秒間表示されます。
- キャッチホンに応答したときは、その時点で通話時間表示に戻ります。応答しなくても、約30秒が経過すると通話時間表示に戻ります。
- キャッチホンの相手先は、着信データに記憶されます。
  - 子機で通話中にキャッチホンが入った場合、通話していた子機と親機に着信データが記憶されます。このとき、通話していない子機には記憶されません。

モデムダイヤルインを利用する

モデムダイヤルインを利用すると、1本の電話回線で、2つ以上の電話番号を使えます。

ご利用にあたって

モデムダイヤルインを利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約（有料）が必要です。
契約の際に、以下の内容をNTT東日本またはNTT西日本に連絡してください。

窓　　口：**116**（無料）
受付時間：午前9:00〜午後9:00
　　　　　年中無休（年末年始12月29日〜1月3日を除きます）

- ダイヤルインの種類は「モデムダイヤルイン」
- 電話番号（送出番号）は「下4桁」
  「下4桁」を指定しないと、現在使用している電話番号が変わることがあります。
- ダイヤルインサービスの利用開始日時を確認

注意
- 本機はPB信号方式のダイヤルインには対応していません。お申し込み時には、モデム信号方式のダイヤルイン（モデムダイヤルイン）を指定してください。
- モデムダイヤルインは、NTTの他のサービスと同時に使えない場合があります。また、一部の地域ではダイヤルインサービスが利用できないことがあります。詳しくは、NTT東日本またはNTT西日本の窓口などにお問い合わせください。
- ブランチ（並列）接続では使えません（⇒ P. 18）。
- 電話番号が複数になっても電話回線は1本のままです。同時に電話をかけたり受けたりすることはできません。
- 停電中は、電話もファクスも使えません。
- ダイヤルインサービスが始まっていないときにダイヤルインの登録操作をすると、電話が使えなくなることがあります。。
- NTT東日本またはNTT西日本以外の直収電話サービスをご使用の場合は、ダイヤルインサービスをご利用になれないことがあります。詳しくは、ご加入の電話会社にお問い合わせください。

確認
ISDN回線を利用しているときは
ターミナルアダプタの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン登録が使えない場合があります。このときは、ダイヤルインを「利用しない」（お買い上げ時の設定のまま）にしてください（⇒ P. 90）。

ダイヤルインの動作

電話番号（契約者回線番号）とダイヤルイン追加番号を使い分け、電話用とファクス用の番号として利用できます。
- 電話用の番号に電話がかかってくると、ベルが鳴り、電話／ファクス自動切替がはたらきます。自動切替をしたくないときは、着信モードを「電話専用」に設定してください（⇒ P. 95）。
- ファクス用の番号にファクスが送られてくると、ベルは鳴らず、自動でファクスを受信します。

こんなときは
電話用の番号にファクスが送られてきたとき：ベルが鳴り、電話に出ると「ポー・ポー・ポー…」という音が聞こえるか、または無音になっています。ファクスかんたん受信（⇒ P. 60）、またはファクスの手動受信（⇒ P. 57）の操作をしてください。
また、ファクス用の番号に電話がかかってきたときは、ベルは鳴らず、電話に出ることもできません。

「留守」を設定しているとき：
- 電話用の番号にかかってくると、留守番電話の動作をします。用件の録音もファクスの自動受信も行えます。
- ファクス用の番号にかかってくると、ファクスの受信はできますが、用件の録音はできません。
- 子機用の番号にかかってくると、子機のベルが鳴ります。用件の録音もファクスの自動受信もできます。

ダイヤルインの利用例

AさんとBさんの場合を例として、契約および登録例を説明します。
- Aさんの場合
  - 電話用とファクス用の番号を分けたい
  - 電話がかかってきたら、親機も子機も鳴らしたい
- Bさんの場合
  - 子機を増設して、合計3台使いたい
  - 内線3、内線4は個別に鳴らしたい
  - ファクス専用の番号は必要ない

1 NTT東日本またはNTT西日本と契約する

契約内容	Aさんの場合	Bさんの場合
契約者回線番号	xxx - aaaa （電話用）	xxx - cccc （コードレス子機用）
ダイヤルイン追加番号	xxx - bbbb （ファクス用）	xxx - dddd （増設子機用） xxx - eeee （増設子機用）

2 ダイヤルインサービス開始後に、本機の登録を行う

必要な登録設定（⇒ P.90）	Aさんの場合	Bさんの場合
ダイヤルイン	○	○
ファクス専用	○	×
ファクス	bbbb	－
スベテ	aaaa	cccc
内線2（コードレス子機）	aaaa	cccc
内線3（増設子機）*	－	dddd
内線4（増設子機）	－	eeee

＊SP-P70HWの場合は、内線3も付属の子機です。

これで、次のように利用できるようになりました。

注意
- Aさんに電話をするときは、必ず電話用の番号をダイヤルしてもらってください。ファクス用の番号ではベルが鳴らず、電話に出られません。
- ベルが鳴っていない子機でも電話に出られます。

動作	ダイヤルする番号	親機とコードレス子機（内線2）の状態	増設子機の状態
Aさんに電話	XXX - aaaa	ベルが鳴る	－
Aさんにファクス	XXX - bbbb	ベルが鳴らずに、自動受信	－
Bさんに電話	XXX - cccc	ベルが鳴る	内線3、内線4のベルが鳴る
Bさんの増設子機（内線3）に電話	XXX - dddd	ベルが鳴らない	内線3のベルが鳴る
Bさんの増設子機（内線4）に電話	XXX - eeee	ベルが鳴らない	内線4のベルが鳴る
Bさんにファクス	XXX - cccc	ベルが鳴り、自動受信	ベルが鳴り、自動受信

こんなときは

ナンバー・ディスプレイをご利用の場合は：プライベートコールで鳴らす電話機が「スベテ」以外に設定されている場合は、ダイヤルインの登録よりもナンバー・ディスプレイのプライベートコールが優先されます。このため、電話帳に登録してある相手先からかかってきたときは、ベルが鳴る電話機が変わることがあります（『かけてくる相手先によって着信ベルを変える<着信鳴り分けとプライベートコール>』（⇒ P.82））。

ダイヤルインの登録をする

注意
- ダイヤルインサービスが開始されたことを確認してから行ってください。サービス開始前に行うと、電話がつながらなくなることがあります。
- ダイヤルインサービスを利用するときは、ナンバー・ディスプレイの契約にかかわらず、ナンバー・ディスプレイの設定を「利用する」にしてください（『ナンバー・ディスプレイの設定』(⇒ P.80)）。
- ナンバー・ディスプレイの設定を「利用しない」にした場合には、ダイヤルインが「利用しない」に設定されます。

ダイヤルインの登録

お買い上げのとき：**利用しない**

メニュー ➡ 5（ナ JKL） ➡ 登録/セット ➡ 登録/セット ➡ メニュー 6回押す ➡ ファクス電話帳 ○（利用する）を選んで ➡

ﾅﾝﾊﾞｰﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ　○×

ﾀﾞｲﾔﾙｲﾝ　○×

どちらかを押して選ぶ
○×：ダイヤルインを利用する
○×：ダイヤルインを利用しない

➡ 登録/セット ➡ ファクス電話帳 ➡

ﾌｧｸｽ ｾﾝﾖｳ　○×

どちらかを押して選ぶ
○×：ファクス用番号を登録する
○×：ファクス用番号を登録しない

“ファクス　センヨウ　○×”を選んだとき ➡ 登録/セット ➡ **ファクス用番号の下4桁を入力する** ➡

“ファクス　センヨウ　○×”を選んだとき ➡

登録/セット ➡

ｽﾍﾞﾃ　＝ _

➡ **親機用番号の下4桁を入力する**
親機と子機の両方が鳴ります。
➡ 登録/セット ➡ **コードレス子機用番号の下4桁を入力する** ➡ 登録/セット ➡

ﾅｲｾﾝ2　＝ _

“ナイセン2”は付属のコードレス子機（1台目の子機）です。

ﾅｲｾﾝ3　＝ _

“ナイセン3”は増設した子機（2台目）です。

➡ **子機用番号の下4桁を入力する** ➡ 登録/セット

注意
SP-P70HWでは、“ナイセン3”も付属の子機となります。

こんなときは

増設子機があるときは：“ナイセン2”（付属のコードレス子機）用の番号を入力し、［登録／セット］ボタンを押すと、“ナイセン3　＝＿”、“ナイセン4　＝＿”が表示されます。

電話番号を変更したいときは：同じ手順で最初から登録し直してください。

ダイヤルインを利用しない、または利用を解除したいときは：上記操作でダイヤルインを「利用しない」“×”を選び、［登録／セット］ボタンを押してください。

便利に使う

ここでは、もっと便利に使うためのいろいろな機能の登録や設定について説明しています。

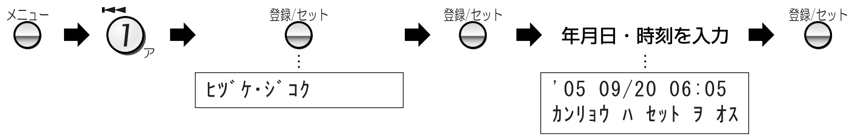
注意　登録や設定を行う途中で、90秒以上何も操作しなかったときは、待受中に戻ります。

こんなときは　**設定を途中でやめるときは：**［ストップ］ボタンを押してください。

初期設定

時計を合わせる<時刻セット>

- 時刻がずれてきたときや、親機を組み立てたときに時刻をセットしなかった場合に設定してください（時計の精度は平均月差±60秒以内。周囲の温度により、月差の度合いは変わります。また、雷や静電気などにより、時計が一時的に止まることがあります。このような場合、精度は平均月差より数秒広がります）。
- 時刻は24時間制で、年は西暦の下2桁を入力してください。月日や時刻が1桁のときは、頭に0を付けてください。
  例：2005年9月20日6時5分→0509200605 と入力



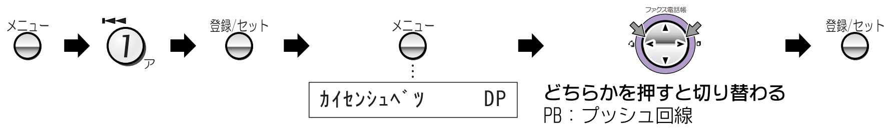
こんなときは　**修正したいときは：**［<］ボタンまたは［>］ボタンを押して、修正したい箇所にカーソルを合わせ、入力し直してください。

回線種別の自動／手動設定

お買い上げのとき：**ダイヤル回線（DP）**

- 使用している電話回線種別（プッシュ回線、ダイヤル回線）を、自動または手動で設定します。
- INSネット64を利用していて、ターミナルアダプタに本機を接続する場合は、プッシュ回線（PB）に設定してください。
- ADSL回線を利用している場合も、回線種別を設定してください。

注意
- お買い上げ後、初めて回線を接続したとき、本機は「自動回線選択」を行います。
- 回線種別を手動で設定すると、次回の電源ON時には「自動回線選択」を行いません。



こんなときは　**"デンワカイセン　カクニン"と表示されたときは：**電話回線の接続を確認してください。

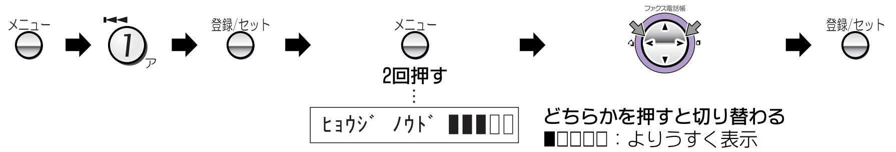
"カイセンセッテイ　シテクダサイ"と表示されたときは：自動回線選択できていません。上記操作で、PBかDPを手動で設定してください。

便利に使う

ディスプレイの表示濃度を変える

お買い上げのとき：■■■□□

ディスプレイに表示される文字の濃度を、5段階で変えることができます。



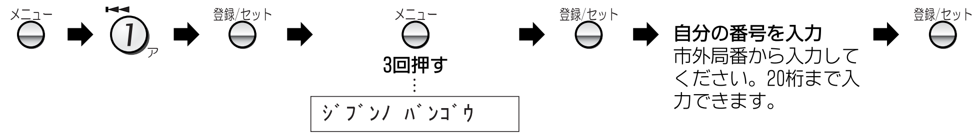
どちらかを押すと切り替わる
■□□□□：よりうすく表示
■■□□□：うすく表示
■■■□□：普通の濃さで表示
■■■■□：濃く表示
■■■■■：より濃く表示

自分の電話番号の登録

お買い上げのとき：**自分の番号未登録**

ここで登録した電話番号は、ファクス送信中に相手先のディスプレイに表示されたり、相手先の通信管理レポートなどにプリントされます。

注意
- ここで登録した電話番号は、相手先の用紙にはプリントされません（自分の名前や電話番号などを相手先の用紙にプリントする ⇒ 下記）。
- 相手先の機種によっては、相手先のディスプレイなどに表示されないことがあります。
- 引越しなどで電話番号が変わったときは、もう一度登録をやり直してください。



こんなときは
自分の電話番号を消去したいときは：上記操作の「自分の電話番号を入力」で、登録した電話番号を［消去］ボタンですべて消してから［登録／セット］ボタンを押してください。

自分の名前や電話番号などを相手先の用紙にプリントする

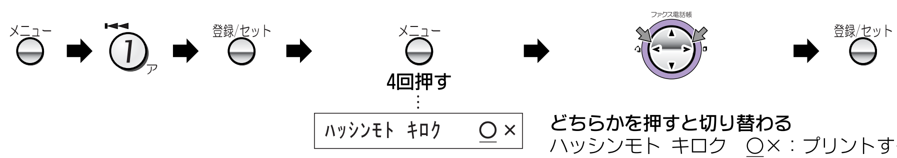
ファクスを送ったとき、相手先の用紙の各ページの最上部に、自分の名前や電話番号など（発信元）を自動的にプリントすることができます。発信元をプリントすると、相手先はどこからファクスがきたのかを簡単に知ることができます。

注意
- 発信元をプリントするには、発信元の登録と、発信元を相手先の用紙にプリント「する」の、2つの設定が必要です。
- 発信元に登録できる文字は、カナ、数字、アルファベット、記号です。最大40文字（空白を含む）まで入力できます。

発信元をプリントする／しないを設定する＜発信元記録＞

お買い上げのとき：**する**

注意
「しない」を設定すると、日付・時刻やページ番号もプリントされません。



どちらかを押すと切り替わる
ハッシンモト キロク ○×：プリントする
ハッシンモト キロク ○×：プリントしない

発信元を登録する＜発信元登録＞

お買い上げのとき：**発信元未登録**

メニュー ➡ 1(ア) ➡ 登録/セット ➡ メニュー **5回押す** ➡ 登録/セット ➡ **自分の名前や電話番号などを入力** 40桁まで入力できます。 ➡ 登録/セット

ﾊｯｼﾝﾓﾄ ﾄｳﾛｸ

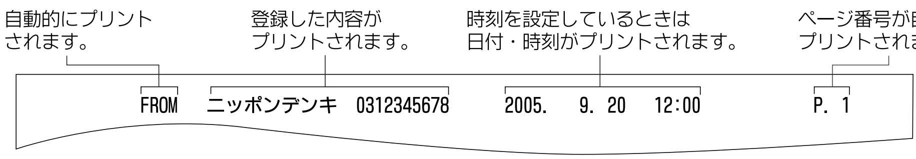
入力のしかたがわからないときは：文字入力一覧表 ⇒ P. 138

発信元を削除または変更したいときは：発信元を削除するときは、上記操作の「自分の名前や電話番号などを入力」で、登録した内容を［消去］ボタンですべて消してから［登録／セット］ボタンを押してください。変更するときは、同じ手順で変更したい箇所に［＜］ボタンまたは［＞］ボタンでカーソルを合わせ［消去］ボタンで消し、修正してから［登録／セット］ボタンを押してください。

自分の電話番号もプリントさせたいときは：数字もすべて文字として入力してください。自分の電話番号の登録（⇒ P. 92）を行っても、相手先の用紙にはプリントされません（文字入力一覧表 ⇒ P. 138）。

登録できたか確認したいときは：システムリスト（⇒ P. 99）をプリントしてください。

＜相手先でのプリント例＞



親機のキータッチトーンを設定する

お買い上げのとき：**鳴らす**

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行われていることを、この音で確認します。
キータッチトーンを鳴らさないように設定することもできます。

メニュー ➡ 1(ア) ➡ 登録/セット ➡ メニュー **6回押す** ➡ ファクス電話帳（＜／＞） ➡ 登録/セット

ｷｰﾀｯﾁﾄｰﾝ ○×

どちらかを押すと切り替わる
キータッチトーン ○×：鳴らす
キータッチトーン ○×：鳴らさない

子機のキータッチトーンを設定する

お買い上げのとき：**鳴らす**

ボタンを押したときに「ピッ」と鳴る音を、キータッチトーンといいます。ボタン操作が確実に行われていることを、この音で確認します。
子機が2台以上ある場合は、子機ごとにキータッチトーンを鳴らすか、鳴らさないかを設定することができます。

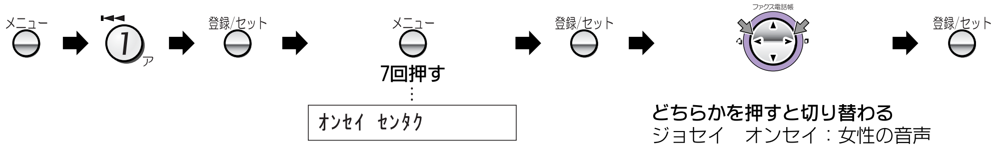
メニュー ➡ 電話帳（＜／＞） **“タッチトーン”を表示させる** ➡ メニュー ➡ 電話帳（＜／＞） **どちらかを押すと切り替わる** タッチトーンON：鳴らす タッチトーンOFF：鳴らさない ➡ メニュー

注意　子機のキータッチトーンを「OFF」に設定すると、エラーを知らせる音や、設定終了を知らせる音が鳴らなくなります。ただし、キータッチトーンのON／OFFを設定したときの音は鳴ります。

応答メッセージの音声を設定する<音声選択>

お買い上げのとき：**女性の音声**

応答メッセージの音声を、男性の声または女性の声の、2種類から選ぶことができます。



どちらかを押すと切り替わる
ジョセイ　オンセイ：女性の音声
ダンセイ　オンセイ：男性の音声

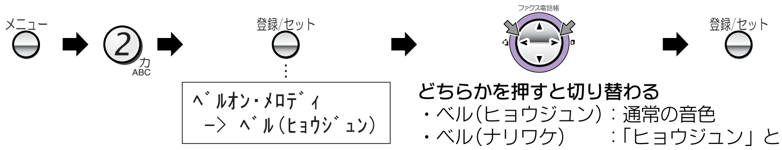
「留守」を設定するときに切り替えるときは：［留守］ボタンを押したあと、“オウトウメッセージ　ジョセイ”または“オウトウメッセージ　ダンセイ”と表示中に、［ファクス電話帳］ボタンの［<］ボタンまたは［>］ボタンで音声を切り替えることもできます。『応答メッセージの音声を変更する』（⇒ P. 47）

電話機能

ベルの音色／メロディを変える

お買い上げのとき：**ベル（標準）**

着信ベルの音色を変えることができます。また、ベルのかわりにメロディを流すことができます。親機のベル音を変えると、子機のベル音も変わります。



どちらかを押すと切り替わる
・ベル（ヒョウジュン）：通常の音色
・ベル（ナリワケ）　：「ヒョウジュン」とは違う音色
・メロディ（A）　：アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク
・メロディ（B）　：春
・メロディ（C）　：トルコ行進曲

ナンバー・ディスプレイを契約し、着信鳴り分けを設定している相手先からの電話は、着信鳴り分けで設定した着信ベルが鳴ります。

選択中の着信ベルを確認したいときは：［<］ボタンまたは［>］ボタンで着信ベルの音色／メロディを選択しているとき、親機の［音量］ボタンを押すと、選んだ音が鳴ります。このとき、音量も調整できます（『音量を調整する』（⇒ P. 42））。途中でやめたい場合は［ストップ］ボタンを押してください。子機の［>］ボタンでは音量の調節はできません。

いつも電話で受ける、またはファクスで受ける<着信モード>

お買い上げのとき：**電話／ファクス切替**

着信モードには、下記の3通りの方法があります。

- 電話／ファクス切替 … 設定回数の着信ベルが鳴ると、本機が自動で電話をつなぎ、相手先が電話かファクスかを判断します。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼出ベルが鳴ります。
- ファクス専用 … 設定回数の着信ベルが鳴ったあと、自動的にファクスを受信します。かかってくるのがファクスだけとわかっているときにご利用ください。ただし、着信ベルが鳴っている間に電話に出たとき、相手先が電話ならば話しができます。
- 電話専用 … ファクスを自動受信したくない場合や、電話に出なかったとき、通話料が相手先にかからないようにしたい場合など、普通の電話と同じように使いたいときにご利用ください。ファクスを受信するときは、手動（⇒ P. 57）またはファクスかんたん受信（⇒ P. 60）で行ってください。

メニュー ➡ 2 (カ ABC) ➡ 登録/セット ➡ メニュー ➡ ファクス電話帳（どちらかを押すと切り替わる）➡ 登録/セット

```
ﾁｬｸｼﾝﾓｰﾄﾞ
->ﾃﾞﾝﾜ/ﾌｧｸｽ ｷﾘｶｴ
```

どちらかを押すと切り替わる
・デンワ／ファクス　キリカエ
・ファクスセンヨウ
・デンワセンヨウ

注意
- 「電話専用」に設定し、トールセイバを「しない」に設定（⇒ P. 50）している場合、留守設定中は、着信ベルが5回鳴ったあとに留守番機能がはたらきます。
- 「ファクス専用」に設定し、着信ベルを「0回」に設定すると、相手先がファクスのときは着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。この場合は電話が受けられません。
- 「ファクス専用」に設定しても、留守設定中は留守設定が優先されます。

着信ベル回数を変える

お買い上げのとき：**6回**

- 電話／ファクス切替、またはファクス専用に設定しているとき、自動的に回線が接続されるまでに鳴るベルのことを着信ベルといいます。回数は0〜19回の間で設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください（例：7回→07と入力）。

メニュー ➡ 2 (カ ABC) ➡ 登録/セット ➡ メニュー（**2回押す**）➡ **着信ベル回数を入力** 00〜19が入力できます。➡ 登録/セット

```
ﾁｬｸｼﾝﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ
          06ｶｲ
```

こんなときは

着信ベル回数の入力を間違えたときは：［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

ベルを鳴らさずにファクスを受けたいときは（無鳴動着信）： 着信ベルの回数を0回に設定してください。
なお、選択している着信モードにより、次のように動作します。
- 電話／ファクス切替 … 相手先が電話だったときは、回線が接続されてから約5秒後に呼出ベルが鳴ります。相手先がファクスを手動送信したときは、呼出ベルが鳴ります。電話に出てから手動受信してください（⇒ P. 57）。
- ファクス専用 ………… 着信ベルが1回も鳴らずにファクスを受信します。電話は受けられません。

注意
- 着信ベルが設定された回数鳴ると、回線が接続され、相手先に料金がかかります。
- 着信ベルの回数は、なるべく7回以下で設定してください。8回以上に設定すると、相手先がファクスを自動送信したとき、受信できないことがあります。
- トールセイバを「する」に設定していると、留守設定中は着信ベルの設定にかかわらず、トールセイバのベル回数が優先されます。留守設定中もここで設定したベル回数で回線を接続したいときは、トールセイバを「しない」に設定してください（トールセイバ ⇒ P. 50）。
- 子機の着信ベルは、親機よりも遅れてベルが鳴り始めるため、設定した回数より少なくなります。
- 電話専用を設定している場合は、“＊＊カイ”と表示され、変更はできません。

呼出ベル回数を変える

お買い上げのとき：**10回**

- 電話／ファクス切替に設定しているとき、自動的に回線が接続されたあとに鳴るベルのことを呼出ベルといいます。回数は1〜19回の間で設定できます。
- 入力する回数が1桁のときは、頭に0を付けて2桁にしてください（例：8回→08と入力）。

メニュー ➡ 2（カ ABC） ➡ 登録/セット ➡ メニュー **3回押す** ➡ **呼出ベル回数を入力** 01〜19が入力できます。 ➡ 登録/セット

ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾍﾞﾙ ｶｲｽｳ
10ｶｲ

呼出ベル回数の入力を間違えたときは：［消去］ボタンを押し、入力し直してください。

注意
- 回線が接続された時点から相手先に料金がかかります。呼出ベルが鳴っているときは、すでに料金がかかっています。
- ファクス専用や電話専用を設定している場合は、“＊＊カイ”と表示され、変更はできません。

携帯電話へ電話をかけるときに自動的に通話サービスを利用する<ケータイお得ダイヤル>

お買い上げのとき：**利用しない**

携帯電話への通話サービスとは、固定電話から携帯電話へ電話をかけるとき、携帯電話番号の前に事業者識別番号を付けると、固定電話事業者が設定した料金で通話できるサービスです（お申し込みの手続きは不要です）。自動的にこの通話サービスを利用する場合は、あらかじめ事業者識別番号の登録を行ってください。

IP電話をご利用の方は、IP電話解除番号の登録も行ってください。IP電話解除番号の登録を行わないと、自動的にこのサービスをご利用できないことがあります。IP電話解除番号については、IP電話の事業者にお問い合わせください。

メニュー ➡ 2（カ ABC） ➡ 登録/セット ➡ メニュー **4回押す** ➡ ファクス電話帳（◀ ▶） ➡

ｹｰﾀｲ ｵﾄｸﾀﾞｲﾔﾙ○×

どちらかを押すと切り替わる
ケータイ オトクダイヤル ○×：する
ケータイ オトクダイヤル ○×：しない

➡ 登録/セット（ｼｷﾍﾞﾂ ﾊﾞﾝｺﾞｳ） ➡ 登録/セット ➡ **事業者識別番号を入力**（例：NTT東日本の場合は「0036」を入力） ➡ 登録/セット（IPﾃﾞﾝﾜ ｶｲｼﾞｮ ○×） ➡

➡ ファクス電話帳（◀ ▶）

どちらかを押すと切り替わる
IPデンワ カイジョ ○×：する
IPデンワ カイジョ ○×：しない

- **IP電話解除番号を登録しない場合** ➡ **×（しない）を選ぶ** ➡ 登録/セット
- **IP電話解除番号を登録する場合** ➡ **○（する）を選ぶ** ➡ 登録/セット（ｶｲｼﾞｮ ﾊﾞﾝｺﾞｳ） ➡ 登録/セット ➡

➡ **IP電話解除番号を入力**（例：「0009」を入力） ➡ 登録/セット

こんなときは

ケータイお得ダイヤルを使うと：「080」「090」で始まる電話番号の前に、自動的に事業者識別番号を付加します。
例：NTT東日本「0036」を登録した場合

- 080-○○○○-××××や090-△△△△-□□□□とダイヤルしたとき
  <発信されるダイヤル>　0036-080-○○○○-××××、0036-090-△△△△-□□□□
- 080-○○○○-××××や090-△△△△-□□□□を電話帳（⇒ P.34）／ワンタッチダイヤル（⇒ P.34）／リダイヤル（⇒ P.33）／着信データ（ナンバー・ディスプレイご利用時）（⇒ P.85）から発信したとき
  <発信されるダイヤル>　0036-080-○○○○-××××、0036-090-△△△△-□□□□
- 080-○○○○-××××や090-△△△△-□□□□の頭に「184」（非通知）や「186」（通知）を付けてダイヤルしたとき
  <発信されるダイヤル>　184-0036-080-○○○○-××××、184-0036-090-△△△△-□□□□／
  186-0036-080-○○○○-××××、186-0036-090-△△△△-□□□□と発信

ケータイお得ダイヤルを一時的に解除するには：一部ご利用になれない携帯電話番号があります（携帯電話事業者の留守番電話サービスなど）。そのような場合は、携帯電話番号の前に解除番号「0000」をダイヤルしてください。

注意

- 構内交換機（PBX）など、電話番号の先頭に外線発信番号「0」を必要とする通信機器に本機を接続した場合は、ケータイお得ダイヤルを「しない」に設定してください。「する」に設定して使用すると、正しくダイヤルできない場合があります。
- 通話先、通話時間や電話事業者の料金プランなどによっては、一部安くならないことがあります。事業者識別番号および料金プランなどのサービスについては、各固定電話事業者にお問い合わせください。
- 事業者識別番号はお間違えのないように入力してください。発信時、ディスプレイには携帯電話番号のみ表示され、事業者識別番号は表示されません。間違えて登録されると、正しく電話がかけられないことがあります。
- 本機能の対象は、「080」「090」で始まる携帯電話番号のみです。
- PHSへの通話は対象外です。
- 留守番電話の用件転送を呼び出すときも、携帯電話への通話サービスをご利用になれます。
- 事業者識別番号を自動的に付けて電話をかけた場合、電話がつながるまで時間がかかることがありますが故障ではありません。
- ケータイお得ダイヤルを設定した場合のみ、IP電話解除番号の設定が有効となります。ケータイお得ダイヤルを設定しないで、IP電話解除番号だけを登録することはできません。

保留メロディを変える

お買い上げのとき：**保留メロディ１「聖者の行進」**

電話を保留したときに相手先に流すメロディ音を「聖者の行進」または「茶色の小瓶」から選べます。



ﾎﾘｭｳ ﾒﾛﾃﾞｨ　1

どちらかを押すと切り替わる
ホリュウ　メロディ1：「聖者の行進」
ホリュウ　メロディ2：「茶色の小瓶」

こんなときは

選択中の保留メロディを確認したいときは：[＜] ボタンまたは [＞] ボタンで保留メロディを選択しているとき、親機の [音量] ボタンを押すと、選んだメロディが鳴ります。このとき、確認時のモニタ音量を調節することはできますが、相手先に聞こえる保留音の音量は変えられません。途中で止めたいときは、[ストップ] ボタンを押してください。子機の [＞] ボタンでは音量の調節はできません。

注意

子機からの操作では、相手先に聞こえる保留音の種類を変えることはできません。

便利に使う

リストプリント

あなたが登録や変更した内容などをプリントできます。

注意
- リストプリントには、必ずA4サイズの用紙を使用してください。A4サイズより小さい用紙をセットした場合、はみ出した部分はプリントされません。なお、用紙をはみ出していても、プリンタの内部が汚れることはありません。
- 黒プリントカートリッジではなく、フォトプリントカートリッジを使用すると、印字濃度が薄くなります。読みにくい場合は、黒プリントカートリッジを使用してください。

親機の電話帳の登録内容（電話番号リスト）をプリントする

- 電話番号リストは、次の順にプリントされます。
  空白＋文字 → 数字 → カナ（50音順）→ アルファベット → 記号 → 名前を登録していない電話番号
- 電話番号リストは、1ページに70件までプリントされます。

メニュー ➡ 6（ハ MNO）➡ 登録/セット（ﾃﾞﾝﾜ ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ）➡ 登録/セット ➡ プリントが始まります。

注意
- 子機の電話帳の登録内容はプリントされません。
- 電話帳に電話番号が登録されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“デンワバンゴウミトウロク”と表示されます。

こんなときは
プリントを途中でやめたいときは：［ストップ］ボタンを押してください。

＜プリント例＞

ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾘｽﾄ (1/2)

2005. 9.20　11:56

[　　ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ　　]

ｱｲﾃｻｷ	ﾃﾞﾝﾜ ﾊﾞﾝｺﾞｳ	ﾁｬｸｼﾝ ﾅﾘﾜｹ	ﾌﾟﾗｲﾍﾞｰﾄ ｺｰﾙ	ﾄｸﾃｲ ｺｰﾙ
+ ｲﾄｳ	0312345670	ｼﾃｲﾅｼ	ｽﾍﾞﾃ	ｽﾙ　+
+ ｶﾄｳ	0612345678	ﾍﾞﾙ(ﾋｮｳｼﾞｭﾝ)	ﾅｲｾﾝ2(ｺｷ)	ｼﾅｲ　+
+ ｷｸｵ	0312345679	ﾒﾛﾃﾞｨ(C)	ﾅｲｾﾝ3(ｺｷ)	ｼﾅｲ　+

ナンバー・ディスプレイの着信データをプリントする

メニュー ➡ 6（ハ MNO）➡ 登録/セット ➡ メニュー（ﾁｬｸｼﾝﾃﾞｰﾀ ﾌﾟﾘﾝﾄ）➡ 登録/セット ➡ プリントが始まります。

注意
- 子機に記憶された着信データはプリントできません。
- ナンバー・ディスプレイを利用していないと、着信データは記憶されません。
- 着信データが記憶されていない場合はプリントされません。ディスプレイに“チャクシンデータ　アリマセン”と表示されます。

こんなときは
プリントを途中でやめたいときは：［ストップ］ボタンを押してください。

＜プリント例＞

ナンバー・ディスプレイの契約をしている場合

```
                    ﾁｬｸｼﾝ ﾃﾞｰﾀ ﾘｽﾄ

                 2005. 9.20   12:50

        [               ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ               ]

  NO.    ﾁｬｸｼﾝ ﾆﾁｼﾞ        ﾁｬｸｼﾝﾃﾞｰﾀ          ｱ ｲ ﾃ ｻ ｷ
 ----  --------------  --------------------  ---------------
 + 1    9.10 12:47     0312345678            ﾆﾁﾃﾞﾝﾀﾛｳ        +
 + 2    9.15 11:47     ﾋﾂｳﾁ                                  +
 + 3    9.19 12:00     ｺｳｼｭｳﾃﾞﾝﾜ                             +
```

本機の設定状態（システムリスト）をプリントする

メニュー ➡ 6（MNO） ➡ 登録/セット ➡ メニュー 2回押す（ｼｽﾃﾑ ﾘｽﾄ ﾌﾟﾘﾝﾄ） ➡ 登録/セット ➡ プリントが始まります。

プリントを途中でやめたいときは：［ストップ］ボタンを押してください。

＜プリント例＞

```
                         ｼｽﾃﾑ ﾘｽﾄ

                     2005. 9.20   12:50

             [               ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ               ]

  <ｼｮｷ ｾｯﾃｲ>
      ｺ ｳ ﾓ ｸ                             ﾅ  ｲ  ﾖ  ｳ
 -----------------  ---------------------------------------------------------
 + ｶｲｾﾝｼｭﾍﾞﾂ          DP                                                     +
 + ﾋｮｳｼﾞﾉｳﾄﾞ          ﾌﾂｳ                                                    +
 + ｼﾞﾌﾞﾝ ﾊﾞﾝｺﾞｳ       0312345677                                             +
 + ﾊｯｼﾝﾓﾄ ｷﾛｸ         ｽﾙ                                                     +
 + ﾊｯｼﾝﾓﾄ             ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ                                              +
```

通信管理レポートをプリントする

ファクスを送信または受信した履歴を、最新の20件までプリントします。

メニュー ➡ 6（MNO） ➡ 登録/セット ➡ メニュー 3回押す（ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ） ➡ 登録/セット ➡ プリントが始まります。

プリントを途中でやめたいときは：［ストップ］ボタンを押してください。

注意 通信データがない場合にはプリントされません。ディスプレイに“ツウシンデータ　アリマセン”と表示されます。

<プリント例>

ﾂｳｼﾝｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ

2005. 9.25　13:54

[　　　ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ　　　]

(ｿｳｼﾝ)

	ﾂｳｼﾝ ｶｲｼ ﾆﾁｼﾞ	ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ	ｱ ｲ ﾃ ｻ ｷ	ﾓｰﾄﾞ	ﾏｲｽｳ	ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ	
+	9.23　13:07	0'27"	30	ECM	1	O.K.	+
+	9.23　13:43	0'26"	ｲﾄｳ	G3	0	ﾁｭｳﾀﾞﾝ	+
+	9.23　13:43	0'29"	ｶﾄｳ	ECM	2	O.K.	+

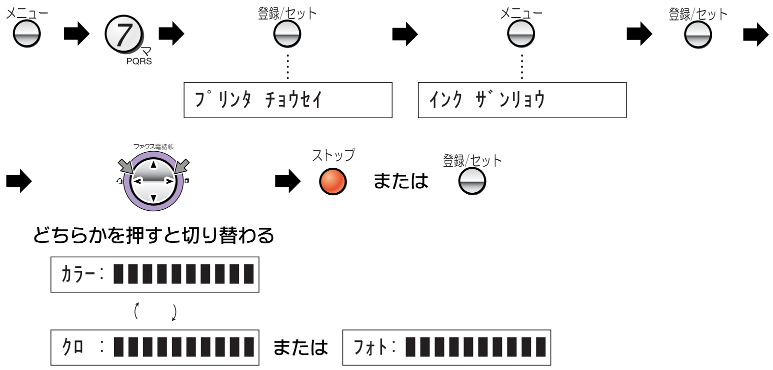
■通信管理レポートの通信結果の意味

- 「ハナシチュウ」
  相手先が通話中である
- 「ヨビダシ」
  相手先から通話予約などで呼び出しを受けた
- 「ムオウトウ」
  - 相手先が受信できない状態になっている
  - 相手先が電話に出ない
  - 電話回線が正しく接続されていないか、電話回線接続コードが断線している恐れがある
- 「XX（2桁の英数字）」
  エラーコードが表示されたとき（⇒ P.110）
- 「O.K.」
  通信が正常に行われた
- 「チュウダン」
  通信中に（自分が）中断操作をした
- 「ショウキョ」
  メモリ受信したファクスを消去した（⇒ P.62）

プリンタ　メンテナンス

インク残量を表示する

インクの、おおよその残量を表示します。



注意　表示されるインク残量は、あくまでも、めやすとしてご利用ください。

こんなときは

インク残量が少なくなると：“XXX：マモナクナクナリマス”と表示されます。“XXX”にはプリントカートリッジの種類が表示されます。

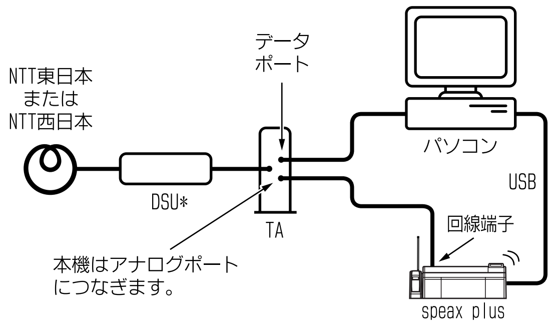
インク残量がないときは：“XXX：ナシ”と表示されます。“XXX”にはプリントカートリッジの種類が表示されます。

こんなときは

INSネット64を利用するには

INSネット64を利用すると、インターネットをしながら電話が使えます。

注意
- INSネット64を利用するには、NTT東日本またはNTT西日本との契約が必要です（有料）。
- 本機のほかに、次の機器が必要です。
  - ー ISDNターミナルアダプタ（TA）
  - ー デジタルサービスユニット（DSU）



＊ TAの機種によってはDSUが内蔵されています。詳しくはTAの取扱説明書を参照してください。

注意
- 回線種別の設定はTAの取扱説明書を参照して、設定してください。『回線種別の自動／手動設定』（⇒ P. 91）
- TAの設定（ダイヤル桁間タイマなど）によっては、電話帳登録（⇒ P. 37）で「ポーズ」を入力した番号に電話をかけられないことがあります。

こんなときは

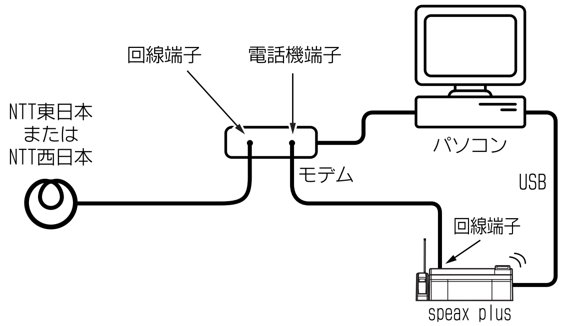
ナンバー・ディスプレイを利用するときは： INSナンバー・ディスプレイ対応のTAを使用してください。

ダイヤルインサービスを利用するときは： TAの取扱説明書に従って設定してください。TAの機種または設定によっては、本機のダイヤルイン機能が使えないことがあります。この場合は、ダイヤルインを「利用しない」に設定してください（⇒ P. 90）。

パソコンやモデムにつなぐには

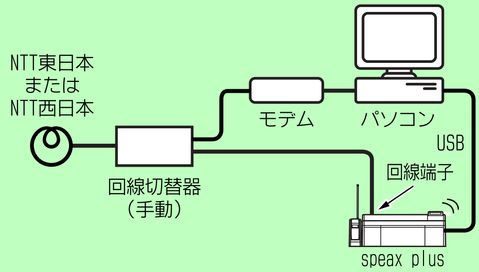
INS ネット 64 を利用しないでインターネットをする場合は、モデムやモデム内蔵パソコンに本機をつなぎます。

注意
- 回線種別は手動で設定してください。『回線種別の自動／手動設定』（⇒ P. 91）
- モデムやモデム内蔵パソコンで電話を受けるようにするときは、本機の「電話／ファクス自動切替」がはたらく前に着信するように設定してください。詳しくは、モデムやパソコンの取扱説明書を参照してください。
- モデムやモデム内蔵パソコンで通信中は、本機を操作しないでください。
- 本機で通話中やファクス中には、モデムやモデム内蔵パソコンの通信操作はしないでください。本機での通話や通信が切れます。



こんなときは

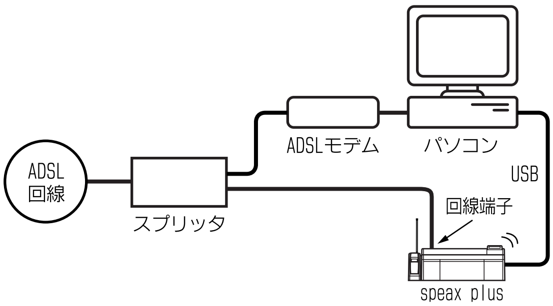
回線切替器を使うときは： 下図のようにつなぎます。



こんなときは

ADSL回線を利用するには

注意
- ADSL回線を利用するには、ADSL接続事業者と、電話共用型（タイプ1）の契約が必要です（有料）。
- 本機のほかに、次の機器が必要です。
  - ー ADSLモデム
  - ー スプリッタ
- 誤った接続をすると、通話中の雑音や本機誤動作の原因となります。ご加入のADSL接続事業者に正しい接続方法をお問い合わせください。



注意
本機はスプリッタのTEL（またはPHONE）端子につなぎます。詳しくは、スプリッタまたはADSLモデムの取扱説明書を参照してください。

ADSL回線に切り替わったときに、電話やファクスが使えなくなることがあります。そのようなときは、次のことを確認してください。
- ブランチ（並列）接続をしていませんか？
  ブランチ接続をしている場合は、本機以外に接続されている機器を外してください（ブランチ接続 ⇒ P. 18）。
- スプリッタを交換することで、電話やファクスが使えるようになる場合があります。詳しくは、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。

注意
- ADSL関連機器によっては、正常に動作しないことがあります。お気づきの点がありましたら、ご加入のADSL接続事業者にお問い合わせください。
- ADSLモデムと接続した場合、回線の自動選択ができないことがあります。ご使用の回線種別を確認のうえ、手動設定してください。
  『回線種別の自動／手動設定』（⇒ P. 91）

IP電話機能付きADSLモデムにつないだとき

電話として使うとき

次のようなことが起きる場合があります。
- ナンバー・ディスプレイが正常に動作しない
- 携帯電話に電話がかけられない
- 特殊な相手先（フリーダイヤルなど）に電話がかけられない

このような場合、本機が正常に動作するかどうか、次の確認作業を行ってください。
1. 本機をADSLモデムから取り外す
2. ADSLモデムを電話コンセントから取り外す
3. 本機を直接、電話コンセントに接続する

この状態で正常に動作する場合は、本機に異常はありません。ご契約内容の条件やADSLモデムの設定などが原因として考えられますので、ご加入のADSL接続事業者（IP電話事業者）にお問い合わせください。

ファクスとして使うとき

ADSL回線との接続状態やインターネットの状態などによっては、ファクスが正常に送受信できないことがあります。ひんぱんに送受信の異常が発生する場合は、一般電話（加入電話）の回線を経由して電話する方法でご使用ください。一般電話（加入電話）の回線を経由して電話する方法は、ADSLモデムごとに異なります。
詳しくは、お使いのADSLモデムの取扱説明書をご覧になるか、ご加入のADSL接続事業者（IP電話事業者）にお問い合わせください。

紙づまりのときは

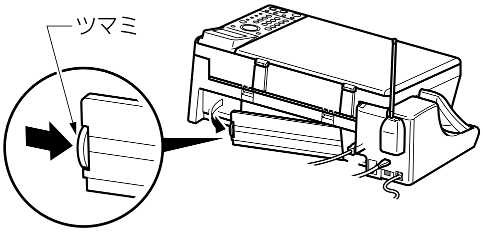
“ヨウシガ　ツマリマシタ”“トリノゾイテ　プリントヲオス”と交互に表示されたとき

“ヨウシガ　ツマリマシタ”と“トリノゾイテ　プリントヲオス”が交互に表示される場合は、用紙がつまったか、または用紙の給紙不良が考えられます。用紙がつまっているかどうかを確認してください。

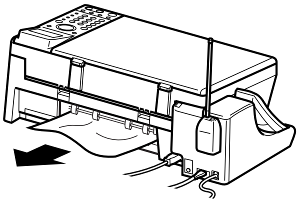
紙づまり解除カバーを開ける（取り外す）

1 紙づまり解除カバーを外す

ツマミを矢印の方向に押しながら、紙づまり解除カバーを開いて外します。



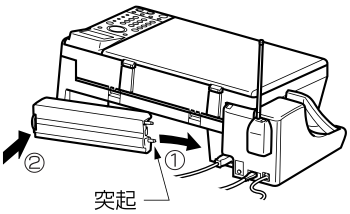
2 つまった用紙を、ゆっくり抜き取る



注意　つまった用紙は、必ず背面の紙づまり解除カバーを外してから抜き取ってください。前面のプリンタカバーを開けてから抜き取ると、本機の内部にあるローラーなどが故障する原因となります。

3 紙づまり解除カバーを取り付ける

右側の突起を本機の穴に差し込んでから、左側を「パチン」と音がするまでゆっくり押し込みます。



取り付けたあとは、ツマミを引いてみて、ロックが外れないことを確認してください。

注意　裏紙は使用しないでください。用紙がつまる原因となります。

プリントカートリッジを交換する

注意
- 交換用プリントカートリッジは、指定（⇒ P.122）のプリントカートリッジをお使いください。指定以外のプリントカートリッジは使用できません。
- 詰め替えインクや指定以外のプリントカートリッジを使用すると故障や印字かすれの原因となります。
- プリントカートリッジの上面シールをはがしたり、分解したりしないでください。インクが漏れる原因となります。
- プリントカートリッジを振ったり、落としたりしないでください。ノズルからインクが漏れることがあります。
- 新品のプリントカートリッジでも保管状態（高・低温での保管や、ノズルを上向きで保管するなど）によっては、安定したプリント状態になるまで時間がかかる場合があります。
  クリーニングしても印刷がかすれるときは ⇒ P.106

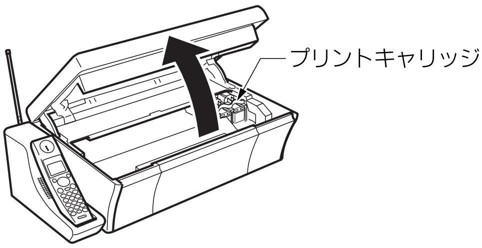
プリントカートリッジを取り外す

次の手順でプリントカートリッジを取り外してください。

注意
- 作業するときは、プリンタカバーを一番上まで持ち上げて開いてください。中途半端に開いた状態では、プリンタカバーの重さで、作業中に閉まることがあります。
- 作業中は、指をはさまないように注意してください。
- プリントキャリッジは、絶対に手で動かさないでください。故障やトラブルの原因となります。

1 プリンタカバーを開く

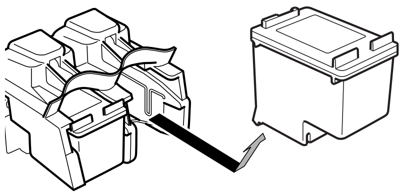
プリントキャリッジが、自動的に右端へ移動します。



2 交換したいプリントカートリッジを取り外す

プリントカートリッジを、手前に引き抜きます。

黒プリントカートリッジの場合



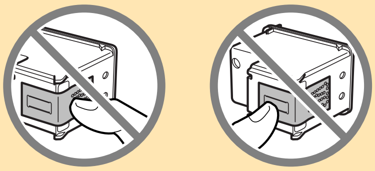
こんなときは

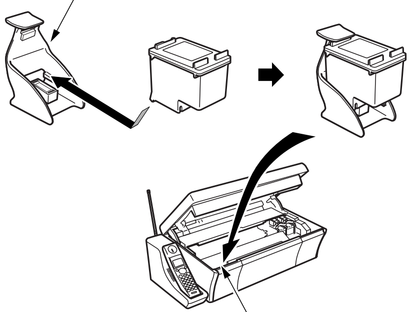
使いかけのプリントカートリッジを保管するときは：添付のプリントカートリッジケースにセットして、本機のプリントカートリッジ収納場所に入れてください（⇒ P. 17）。このとき、インク ノズルは必ず「下向き」にして保管してください。

プリントカートリッジを取り付ける

『プリントカートリッジを取り付ける』（⇒ P. 22）を参照してください。
使いかけのプリントカートリッジは、プリントカートリッジケースにセットして、本機のプリントカートリッジ収納場所に入れてください。

注意
銅色の接触部やインク ノズルにはさわらないでください。この部分に手を触れると、目づまり、インクの吹き付け不良、および電気的な接触不良が発生することがあります。





"プリンタチョウセイ ヒツヨウ"と"プリントヲオス"が交互に表示されるときは：プリンタの調整を行ってください（⇒ P. 24）。

"ツカエナイ カートリッジデス"と表示されるときは：プリントカートリッジを一度取り外し、もう一度取り付けてください。

確認
プリントカートリッジの処分方法について
使用済のプリントカートリッジは、お住まいの地域で定められた分別に従って捨てるか、お近くのパソコンショップなどに設置されているリサイクルボックスに投入してください。

お手入れのしかた

注意
- お手入れ前に親機の電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを抜くと、時計のデータなど、消えてしまう情報（⇒ P. 110）がありますので、ご注意ください。
- ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となります。

親機・子機の外装の清掃

本機の表面の汚れは、薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭いてください。
水拭きをするときは、布を固く絞ってから拭いてください。

原稿台ガラスの清掃

原稿台ガラスが汚れると、コピーや相手先に届いたファクスに汚れが出てしまいます。原稿台ガラスは、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

注意
作業中は、指をはさまないように注意してください。

1 原稿台カバーを開ける

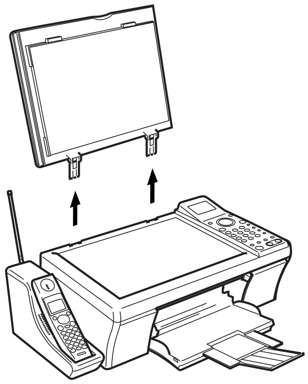
2 原稿台ガラスを柔らかい布で拭く

原稿押さえの清掃

原稿台カバーの裏側にある、白い原稿押さえの表面が汚れると、コピーや相手先に届いたファクス文書の周囲に汚れが出てしまいます。原稿押さえは、月に1回くらいの周期で清掃し、いつもきれいにしておいてください。

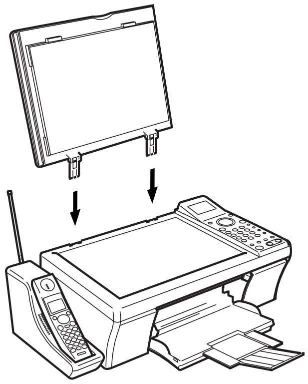
注意
- 原稿押さえは、力を入れてこすらないでください。
- 紙でできたクロスは、原稿押さえを傷付ける可能性があるので、使用しないでください。

1 **原稿台カバーを取り外す**
原稿台カバーを開けて、カバーの左右を持ったまま引き上げます。

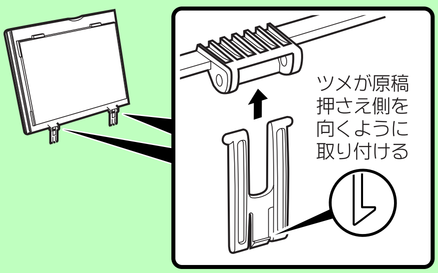


2 **原稿押さえを拭く**
薄めた台所用中性洗剤に浸した布を固く絞って拭き取り、最後に乾いた柔らかい布で拭きます。

3 **原稿台カバーを取り付ける**
原稿台カバーのちょうつがいを元の溝に差し込みます。



ちょうつがいが原稿台カバーから外れてしまった：下図の向きで取り付けてください。



汚れが取れないときは：消毒用のアルコールを布に少量付け、汚れを拭き取ったあと、上記手順2をくり返してください。ただし、このとき、アルコールが本機の外装やガラスに付着しないように注意してください。本機が故障する可能性があります。

プリントカートリッジを調整する

プリントした用紙が汚れるときやかすれるときは、プリントカートリッジを調整してください。
プリントカートリッジの調整には、次の3つの作業があります。
- プリントカートリッジの調整
- プリントカートリッジのクリーニング
- テスト印刷

プリントカートリッジの調整

注意
- 必ず、白いA4普通紙をセットしてください。色の付いた用紙をセットすると、正しく調整できません。
- 印刷中に［ストップ］ボタンを押したり、プリンタカバーを開けたりすると、調整が完了できません。

1 **用紙トレイに、A4サイズの普通紙をセットする**
『用紙をセットする』（⇒ P. 23）

2 メニュー **を押す**

3 7 PQRS **を押す**　　ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ

4 登録/セット **を押す**　　ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾁｮｳｾｲ

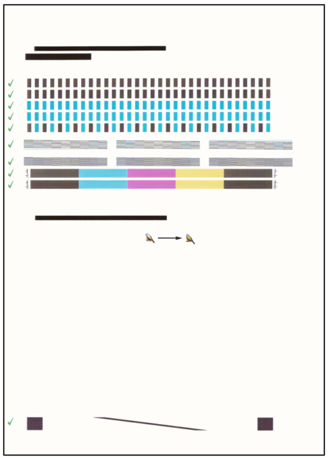
5 登録/セット **を押す**　　A4ﾖｳｼ ｦ ｾｯﾄｼ ｾｯﾄｦ ｵｽ

6 登録/セット **を押す**　　ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾁｮｳｾｲﾁｭｳ
プリンタ調整シートが印刷されます。

これで、プリントカートリッジの調整ができました。

こんなときは

＜プリンタ調整シート＞



調整シートの左端に「レ」点が10個印字されていることを確認してください。
1箇所でも「×」が印字された場合は、プリントカートリッジが確実に取り付けられていないか、接点部分の接触がうまくいっていない可能性があります。プリントカートリッジを抜き差ししてから、もう一度「プリントカートリッジの調整」を行ってください。
それでも「×」が消えない場合は、『プリントカートリッジのクリーニング』（⇒ 下記）を行ってください。

プリントカートリッジのクリーニング

1 用紙トレイに、A4 サイズの普通紙をセットする
『用紙をセットする』（⇒ P. 23）

2 メニュー を押す

3 7（マ PQRS） を押す　　プ゛リンタ　メンテナンス

4 登録/セット を押す　　プ゛リンタ　チョウセイ

5 メニュー を2回押す　　カートリッシ゛　クリーニンク゛

6 登録/セット を押す　　クリーニンク゛チュウ
クリーニング用のシートが印刷されます。

これで、プリントカートリッジのクリーニングができました。

クリーニングを途中でやめるときは：［ストップ］ボタンを押してください。

＜クリーニング用シート＞



クリーニングしても印刷がかすれるときは：インク残量を確認してください（⇒ P. 100）。
- インク残量が十分ある状態で印刷がかすれる場合は、クリーニングを複数回くり返してください。また、パソコンが接続されている場合は、パソコンからの操作でクリーニングを試してみてください（⇒『パソコン活用編』）。
- 新品のプリントカートリッジや、保管していたプリントカートリッジを使ってもかすれが直らない場合は、しばらく待ってから再度クリーニングしてみてください（⇒ 下記「注意」）。
- プリントカートリッジの接触部の汚れが原因で、印刷がかすれる場合があります。かすれが直らないときは、接触部のクリーニングを試してみてください。
『プリントカートリッジの接触部のクリーニング』（⇒ 下記）

注意 プリントカートリッジの保管状態（高・低温での保管や、ノズルを上向きで保管するなど）によっては、安定したプリント状態になるまで時間がかかる場合があります。

プリントカートリッジの接触部のクリーニング

プリントカートリッジの接触部のクリーニングは、プリントカートリッジのクリーニングと調整をしても、“プリンタチョウセイ　ヒツヨウ”などの表示が消えないときに行います。

注意 プリントカートリッジは、1つずつ取り外してクリーニングしてください。また、取り外したプリントカートリッジを 30 分以上放置しないでください。プリントカートリッジ内のインクが乾燥して、印刷不良の原因となります。

1 プリントカートリッジを取り外す
『プリントカートリッジを取り外す』（⇒ P. 103）

2 プリントカートリッジの接触部に、何も付着していないことを確認する

3 プリントカートリッジを取り付ける
『プリントカートリッジを取り付ける』（⇒ P. 22）

4 “プリンタチョウセイ　ヒツヨウ”が消えないときは、手順5に進む

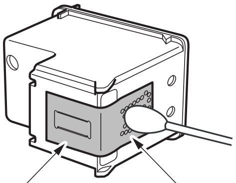
5 プリントカートリッジを取り外す
『プリントカートリッジを取り外す』（⇒ P. 103）

6 きれいな綿棒や糸くずの出ない布、繊維がちぎれない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞る

> **注意**
> - 水道水には、プリントカートリッジを傷める物質が含まれている可能性があるので、使用しないでください。
> - アルコールは、プリントカートリッジや本機を傷める可能性があるので、使用しないでください。

7 プリントカートリッジの横を持つ

8 銅色の接触部のみをクリーニングする



> **注意**
> インク ノズル周辺部分には触らないでください。この部分をクリーニングするときは、『プリントカートリッジのインク ノズル周辺部分のクリーニング』（⇒ 下記）を参照してください。

9 プリントカートリッジを取り付ける
『プリントカートリッジを取り付ける』（⇒ P. 22）

10 必要に応じて、もう一方のプリントカートリッジもクリーニングする

これで、プリントカートリッジの接触部のクリーニングができました。

プリントカートリッジのインク ノズル周辺部分のクリーニング

インク ノズル周辺部分のクリーニングは、プリントカートリッジのクリーニングと調整をしても、印刷結果のスジやにじみが消えないときに行います。

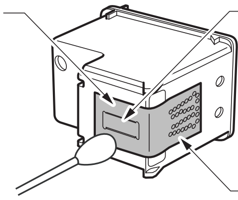
1 プリントカートリッジを取り外す
『プリントカートリッジを取り外す』（⇒ P. 103）

2 インクカートリッジを上に向けて、プリントカートリッジを紙の上に置く

3 きれいな綿棒や糸くずの出ない布、繊維がちぎれない布を蒸留水に浸し、余分な水分を絞る

> **注意**
> - 水道水には、プリントカートリッジを傷める物質が含まれている可能性があるので、使用しないでください。
> - アルコールは、プリントカートリッジや本機を傷める可能性があるので、使用しないでください。

4 インク ノズル周辺部分のみをクリーニングする



> **注意**
> - ノズルプレートには触らないでください。
> - プリントカートリッジの接触部には触らないでください。この部分をクリーニングするときは、『プリントカートリッジの接触部のクリーニング』（⇒ P. 106）を参照してください。

5 プリントカートリッジを取り付ける
『プリントカートリッジを取り付ける』（⇒ P. 22）

6 必要に応じて、もう一方のプリントカートリッジもクリーニングする

これで、プリントカートリッジのインク ノズル周辺部分のクリーニングができました。

テスト印刷

1 用紙トレイに、A4 サイズの普通紙をセットする
『用紙をセットする』（⇒ P. 23）

2 [メニュー] を押す

3 [7] を押す　　`ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾒﾝﾃﾅﾝｽ`

4 [登録/セット] を押す　　`ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾁｮｳｾｲ`

5 [メニュー] を3回押す　　`ﾃｽﾄｲﾝｻﾂ`

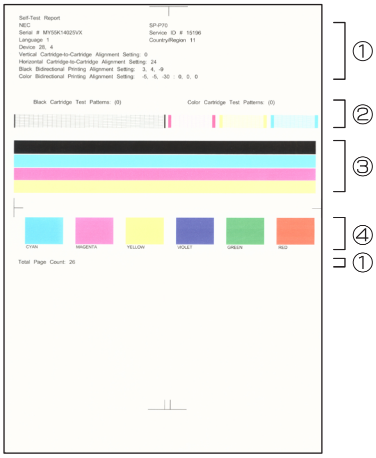
6 [登録/セット] を押す　　`ﾃｽﾄｲﾝｻﾂﾁｭｳ`

セルフテストレポートが印刷されます。

これで、テスト印刷ができました。

> **こんなときは**
> **テスト印刷を途中でやめるときは：**［ストップ］ボタンを押してください。

＜セルフテストレポートの見かた＞



No.	表示の意味
①	本機のシリアル番号など、製品情報がプリントされます。
②	各色の格子が均一で、欠けたりすることなくプリントされていることを確認します。格子がずれたり欠けたりしている場合は、プリントカートリッジをクリーニングしてください。
③	4 本の線が、用紙の幅いっぱいにムラなくプリントされていることを確認します。次のような場合は、プリントカートリッジをクリーニングしてください。 ・線が見えない ・線にスジや線が入っている ・線の端がそろっていない
④	6 色の四角が、ムラなくプリントされていることを確認します。次のような場合は、プリントカートリッジをクリーニングしてください。 ・四角がない ・四角の下にプリントされている色の名称と四角の色が違う ・色の名称がない ・四角がかすれている ・四角にスジや線が入っている

子機について

電池パックを交換する

⚠危険

- 子機の充電は、子機専用の充電器を使用してください。その他の充電条件で充電すると、電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 専用の電池パックを使用してください。また、専用の電池パックは他の機器には使用しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを水や火の中に投入したり、加熱しないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックに直接はんだ付けしないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックのコネクタの赤（プラス）・黒（マイナス）を、針金などの金属類で接触しない（ショートさせない）でください。火災、感電の原因となります。
- 電池パックのビニールカバー（チューブ）は、はがさないでください。電池パックを液漏れ、発熱、破裂させる原因となります。
- 電池パックを分解・改造しないでください。電池パックの発熱、破裂の原因となります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。目に傷害を与える恐れがあります。
また漏れた液が皮膚や衣服についたときは、きれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となります。
- 電池パックを使用中や充電中、または保管中に異臭を発したり、発熱したり、変色・変形その他、今までと異なることに気がついたときは、子機から電池パックを取り外し、使用を中止してください。

Ni-MH

電池パックにはニッケル水素電池を使用しています。ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。交換後、不要になった電池パックや本機を廃棄する際に取り出した電池パックは、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、お買い上げいただいた販売店、またはお近くの「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へお持ちください。

●「ニッケル水素電池リサイクル協力店」へのお問い合わせは下記へお願いします。
- 本機または電池パックをお買い上げいただいた販売店
- 「(社)電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ」事務局（(社)電池工業会ホームページ http://www.baj.or.jp/（平成17年9月現在）をご参照ください）

電池パックの寿命は、お使いになり始めてから約2年です。電池パックの購入については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

注意
- 電池パックを入れていない状態で、子機を充電器に置かないでください。
- 電池パックは必ず本機専用のもの（SP-N2）を使ってください（⇒ 下記）。
- 新しい電池パックは充電されていません。電池パックを交換したときは、子機を充電器に置いて10時間以上充電してください。
- 電池パックを交換しても、電話帳に登録した電話番号は消去されません。
- 電池パックのコードを強くひっぱらないでください。また、電池カバーではさまないように注意してください。故障の原因となります。

電池仕様：SP-N2, 2.4V, 600mAh

型　名	希望小売価格
SP-N2（ニッケル水素電池）	1,680円（税抜1,600円）

1 電池カバーを外す

電池カバーを下に押しながら手前に引くと外れます。

2 古い電池パックを取り出す

電池パックのコネクタは、まっすぐ上に引き抜いてください。

3 新しい電池パックを取り付ける（⇒ P.20）

電池パックのラベルに、使用開始年月日を記入してください。

4 充電器に置いて充電する

注意

子機の電池パックを交換するときなど、電池パックのコードを抜き挿しすると、子機の中の情報には消えてしまうものと消えないものがあります。
- 消えてしまう情報
  - 着信データ ⇒ P.84
  - リダイヤル（再ダイヤル） ⇒ P.33
- 消えない情報
  - ワンタッチダイヤル ⇒ P.34
  - らくらく電話帳 ⇒ P.34
  - 各種の設定値

子機を増設するとき

増設する子機は別途、本機をお買い上げいただいた販売店で、お買い求めください。

注意

お買い求め時には、必ず下記の型名をご指定ください。
指定以外の子機はご使用になれません。

型　名	希望小売価格
SP-ZK40（カナ表示）	13,650円（税抜13,000円）

- 増設できる子機の台数は、付属の子機と合わせて合計で3台です。

	付属	増設
SP-P70H	1台	最大2台
SP-P70HW	2台	最大1台

- 増設子機を使える状態にするには、識別番号（IDコード）の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。

エラーコードが表示されたとき

ファクス送信中や受信中に異常があると、ディスプレイに“ツウシン　イジョウ”などのエラーメッセージが表示されます。

- 送信時の異常の場合 … 不達レポートが自動でプリントされます（⇒ P. 55）。
- 受信時の異常の場合 … 通信管理レポートをプリントする操作を行ってください（⇒ P. 99）。

各レポートの“ツウシン　ケッカ”欄に記録される2桁の英数字（エラーコード）で、下表より異常内容と対処方法を確認してください。

エラーコード表

エラーコード	内容と対処方法	参照ページ
40	用紙がなくなりました。用紙を入れてください。	P. 23
41	用紙がつまりました。取り除いてください。	P. 103
45	メモリがいっぱいになりました。不要な留守電の用件を消去するか、メモリ文書があるときは、アラームを解除してプリントするか、消去してください。ファクス自動プリントと大容量受信を「する」に設定すれば用紙受信することができます。	P. 47、P. 59、P. 61、P. 62
71	相手先から応答がないため、送信できませんでした。相手先に確認してください。	−
74, 75	電話回線に雑音が多くて送信できませんでした。もう一度送り直してください。	−
76, 77	送信の途中で相手先が受信を終了してしまいました。相手先のファクスの用紙がなくなった、もしくは用紙がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	−
92, 96, 97, 98	受信の途中で相手先が送信を終了してしまいました。相手先で原稿がつまった可能性があります。相手先に確認してください。	−
B5	プリントの際にエラーが起きています。［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 111
BA	インクがなくなりました。新しいプリントカートリッジに交換してください。	P. 103

なお、上記以外にも、電話回線や相手先での異常が考えられます。再度送受信してみてください。

停電したとき

停電したときや親機の電源プラグをコンセントから抜いたときは、親機・子機ともに使用できません。
停電したとき、消えてしまう情報と消えない情報があります。
なお登録中、送受信中、録音中に停電したときは、動作中の設定値、文書、用件は保存されずに消えてしまいます。

消えてしまう情報
・親機に記憶されているリダイヤルの電話番号 ... ⇒ P. 33
・時計のデータ .... ⇒ P. 91
・ファクスを送信するために読み取った原稿データ
・ナンバー・ディスプレイ利用時、親機に記憶されている着信データ .... ⇒ P. 84
・おやすみモード .... ⇒ P. 51
・おやすみモードのタイマ切替 .... ⇒ P. 52

消えない情報
・メモリ内の受信文書 .... ⇒ P. 59
・留守番電話に録音された用件 .... ⇒ P. 46
・通信管理レポート .... ⇒ P. 99
・子機に登録されている下記のデータ
− リダイヤル .... ⇒ P. 33
− 電話帳 .... ⇒ P. 34
− 着信データ .... ⇒ P. 84
− ワンタッチダイヤル .... ⇒ P. 34
・インク残量 .... ⇒ P. 100
・登録した電話番号や各種の設定値

停電が復旧したとき

- 停電が復旧すると、本機は自動的に使用できる状態に戻ります。
- ファクス送信中に停電したときは、メモリクリアレポートが自動的に出力されます。
- 停電したときは、時計が初期化され、2005年1月1日0時0分になります。
  この場合は、時刻をセットしてください（『時計を合わせる＜時刻セット＞』（⇒ P. 91））。
- おやすみモードのときに停電した場合、おやすみモードは解除されます。

＜メモリクリアレポートのプリント例＞

```
                         ﾒﾓﾘｸﾘｱ ﾚﾎﾟｰﾄ
                        2005. 1. 1   0:00
           [                ﾆｯﾎﾟﾝﾃﾞﾝｷ                    ]
                   ｲｶﾉ ﾅｲﾖｳｶﾞ  ﾃｲﾃﾞﾝﾆﾖﾘ ｸﾘｱ ｻﾚﾏｼﾀ
  ｳｹﾂｹ ﾆﾁｼﾞ      ﾂｳｼﾝ ｼﾞｶﾝ       ｱ ｲ ﾃ ｻ ｷ        ﾓｰﾄﾞ    ﾏｲｽｳ   ﾂｳｼﾝ ｹｯｶ
---------------- ---------- ----------------- ------ ------ -----------
+ 9.20  12:20      0'00"    0312345679        ECM       1    ﾃｲﾃﾞﾝ   +
```

困ったときは（Q&A）

待受中

こんなときは	内　容	参照ページ
ディスプレイに何も表示されない	・電源プラグはコンセントに差し込んでありますか？	P. 22
“プリンタエラー”“プリントヲオス”と交互に表示が出た	・プリントの際に、エラーが起きています。 －［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 －それでも解除されない場合は、プリンタカバーを開けてプリントカートリッジの周りに用紙がつまっていないかどうかを確認してください。用紙がつまっているときは、用紙を取り除いたあと、プリンタカバーを閉めて［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 －大量のプリントをしていた場合は、電源コードをコンセントから抜き、しばらく待ってから再度接続してください。 －それでも解除されない場合は、本機が故障している可能性があります。speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください。	P. 103 P. 123
“レポートアリ”“ヨウシヲイレ　プリントヲオス”と交互に表示が出た	・レポートのプリント待ち状態です。用紙をセットして、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 23
“メモリジュシンブンショアリ”“ヨウシヲイレ　プリントヲオス”と交互に表示が出た	・ファクスで受信した文書のプリント待ち状態です。用紙をセットして、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 58
“スキャナエラー”“プリントヲオス”と交互に表示が出た	・スキャンの際に、エラーが起きています。 －［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 －それでも解除されない場合は、電源コードをコンセントから抜き、再度接続してください。 －それでも解除されない場合は、本機が故障している可能性があります。speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください。	P. 123
“カートリッジ　ナシ”と表示が出た	・プリントカートリッジが、片方または両方とも入っていません。プリントカートリッジを取り付けてください。	P. 22
“ツカエナイ　カートリッジデス”と表示が出た	・使用できないプリントカートリッジが取り付けられています。プリントカートリッジを取り外し、指定のプリントカートリッジを取り付けてください。 ・指定のカートリッジを入れたときに表示された場合は、一度取り外してから再度取り付け直してください。	P. 122 P. 22、103
“プリンタチョウセイ　ヒツヨウ”“プリントヲオス”と交互に表示が出た	・プリントカートリッジを交換したときは、プリンタの調整が必要です。［ファクス／プリント］ボタンを押して、プリンタ調整をしてください。	P. 24
“インクガ　アリマセン”“XXXXXX インクコウカン”と交互に表示が出た	・インクがなくなっています。新しいプリントカートリッジに交換してください。 “XXXXXX”には、“カラー”、“クロ”、“フォト”、“カラー&クロ”、“カラー&フォト”のいずれかが表示されます。表示された色のプリントカートリッジを交換してください。	P. 103
“インクガモナク　ナクナリマス”“XXXXXX インクコウカン”と交互に表示が出た	・インクの残量が少なくなっています。新しいプリントカートリッジを用意してください。 “XXXXXX”には、“カラー”、“クロ”、“フォト”、“カラー&クロ”、“カラー&フォト”のいずれかが表示されます。表示された色のプリントカートリッジを用意してください。	P. 122

こんなときは	内　容	参照ページ
“フルイ　カートリッジデス”と表示が出た	・一度他の装置で使用されていたことのあるプリントカートリッジが取り付けられています。このとき、該当するプリントカートリッジのインク残量は“ナシ”となります。	P. 103

親機

こんなときは	内　容	参照ページ
ベルが鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？	P. 42
ベルの音が小さい（大きい）	・ベルの音量を調整してください。	P. 42
“カイセン　カクニン”と表示が出た	・電話回線接続コードが抜けていませんか？ ・話し中に相手先が電話を切り、一定の時間が経つと表示されます。	P. 25

子機

こんなときは	内　容	参照ページ
電話がかけられない（「ツー」という音が聞こえない）	・親機の電源プラグは、コンセントに差し込んでありますか？ ・子機は充電されていますか？ ・親機に電話回線が接続されていますか？ ・親機から離れ過ぎていませんか？　親機に近づいてください。 ・親機がファクスの送信／受信、またはコピーをしていませんか？ ・［通話］ボタンを押しましたか？	P. 22 P. 21、22 P. 25 P. 19 P. 33 P. 33
電話を受けられるが、かけることができない	・回線種別の設定が合っていますか？ ・ターミナルアダプタを使用していませんか？	P. 91 P. 101
電話をかけることはできるが、受けることができない	・ナンバー・ディスプレイやダイヤルインの契約をしている場合は、必ず「利用する」に設定してください。 ・ターミナルアダプタを使用していて、ターミナルアダプタ側でダイヤルインの設定をしている場合は、本機側のダイヤルインの設定を「利用しない」にしてください。	P. 80、90 P. 90
ベル（呼出音）が鳴らない	・ベルの音量調整が「切」になっていませんか？ ・親機に近づいてみてください。 ・親機のアンテナの向きを変えてみてください。 ・子機は充電されていますか？	P. 43 P. 19 P. 21、22
ベルが鳴り、電話をとったが何も聞こえない	・相手先がファクスかもしれません。親機の［ファクス／プリント］ボタンを押したあとに、［2］を押してください。子機では［内線］ボタンを押したあとに、［6］を押してください。	P. 57
相手先の声が聞き取りにくい	・受話音量を調整してください。	P. 43
通話中に声が途切れたり雑音が入る	・子機は電波を使っているため、通話中に雑音が入ることがありますが、故障ではありません。雑音がひどい場合は、次のことをご確認ください。 －親機に近づいてみてください。 －親機のアンテナの向きを変えてみてください。 －テレビやラジオなどの電気機器から離れてみてください。 －蛍光灯が近くにあったら離してみてください。 －子機の近くに携帯電話などの充電器があったら離してみてください。	P. 19

こんなときは	内　容	参照ページ
通話中に「ピッピッピッ…」という音が鳴り、 が点滅した	・電池パックの充電残量が少なくなっています。充電をしてください。	P. 21、22
通話中にすぐに電池がなくなる	・電池パックを交換してください。	P. 108
充電器に置いたとき、[切]ボタンが点灯しない	・充電器の電源プラグをコンセントに差し込んでありますか？ ・充電器に正しく置いてください。	P. 21 P. 21、22
他のファクスの子機を本機の子機として使えるのか？	・使えません。子機を増設する場合は指定の増設コードレス電話機セットをお買い求めください。	P. 109
増設子機が使えない	・増設子機に対する識別番号（IDコード）の登録が必要です。増設子機に同梱の説明書に従って増設を行ってください。	P. 109
子機で通話中、突然通話が切れる	・親機に近づいてみてください。 ・電池パックを交換してください。	P. 19 P. 108

親機・子機共通

こんなときは	内　容	参照ページ
トーン（プッシュ）信号の送出のしかたは？	・P. 43をご覧ください。	―
着信ベル／呼出ベルの意味がわからない	・P. 56、95、96をご覧ください。	―
公衆電話で電話をかけた相手先から、応答もしないのに通話料金がかかると言われた また、呼出音が少しおかしいと言われた	・P. 56、95、96をご覧ください。	―
電話をかけたとき、相手先に自分の電話番号が表示されるのか？	・相手先がNTT東日本またはNTT西日本のナンバー・ディスプレイを契約している場合、自分の電話番号を通知したときに表示されます。 ・ファクス送信のとき、お客様が自分の電話番号を登録している場合、その番号が相手先のファクスに表示されます。	P. 78 P. 92
電話をかけてから呼出音が聞こえ始めるまでに時間がかかる	・相手先がナンバー・ディスプレイを利用している場合は、接続までに時間がかかることがあります。	P. 78

留守番電話

こんなときは	内　容	参照ページ
留守設定ができない	・用件がいっぱいです。不要な用件を消去してください。 ・メモリ文書があるときは、エラーを解除してプリントするか、消去してください。	P. 47 P. 58、62
留守設定にしているが、ベル回数を常に一定にしたい	・トールセイバを「しない」に設定すると、設定した回数だけ着信ベルが鳴ります。	P. 50
留守番電話の内容が聞こえなくなってしまった（用件件数は表示されている）	・モニタスピーカ音量が「切」になっていませんか？	P. 42
留守設定時に自動送信で送られたファクスを受信できない	・着信ベル回数を7回以下に設定してください。	P. 95

こんなときは	内　容	参照ページ
外出先から操作（リモート操作）できない	・留守設定にしてありますか？ ・パスワードは登録しましたか？ ・プッシュ信号の出せる電話機で操作していますか？ ・リモート操作を「する」に設定してありますか？	P. 45 P. 48
用件転送は6秒以上メッセージが録音されないと転送されないのか？	・転送されません。内容のない用件が転送されるのを防止しています。	P. 49
応答メッセージが流れない	・着信中に［留守］ボタンを押したとき、留守設定はされますが、モニタスピーカからメッセージは流れません。 ・おやすみモードになっていませんか？	P. 45 P. 51

ファクス（送信）

こんなときは	内　容	参照ページ
“アイテサキ　ムオウトウ”と表示が出た	・相手先の電話番号を確認してください。 ・相手先が電話に出ません。しばらくしてから、もう一度かけ直してください。 ・相手先のファクスが受信できない状態になっています。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
“アイテサキ　ハナシチュウ”と表示が出た	・相手先が話し中です。しばらくしてから、かけ直してください。 ・回線が混み合っています。しばらくしてから、かけ直してください。	—
何回送信しても“サイハッコ　マチ”になる	・相手先が話し中です。 ・電話がかけられるかを確認してください。 ・手動で送信してみてください（手動とは、電話をかけて話しをして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。	P. 55 P. 55
送信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・相手先のファクスに用紙切れなどが起きたため、送信が中断されました。相手先に確認して、もう一度送り直してください。	—
送信に時間がかかる	・画質モードの設定が「コマカイ」または「シャシン」のときは、「フツウ」や「チイサイ」のときに比べ、送信に時間がかかります。 ・原稿に黒い部分が多いときや原稿の裏に印刷があるときは、送信に時間がかかります。 ・回線の状態が悪い場合は、送信に時間がかかることがあります。	P. 53、54
海外への送信ができない	・海外へ送信するときは、国内と違い接続に時間がかかります。手動で送信するのが確実です（手動とは、電話をかけて話しをして、そのあとに双方がファクスを送る／受ける操作をする方法です）。 ・海外通信の設定をすると、エコーキャンセルや、ファクス信号を長く送出するため、海外との通信がしやすくなります。	P. 55 P. 60
送受信でサイズが違う	・ファクスの場合は、送受信で若干の差が出ます。原稿／用紙の送り誤差（原稿読み取りおよび受信画の伸び縮み）があります。	—
送信した原稿が相手先で白紙になる	・原稿を表裏逆にセットしませんでしたか？　送る面を「下向き」にセットし、もう一度送り直してください。 ・相手先の用紙の向き（表裏）が正しくないかもしれません。相手先に確認してもう一度送り直してください。	P. 53
相手先で受信した記録がかすれた 相手先で受信した記録がうすい	・原稿読み取り濃度を濃くして、もう一度送り直してください。	P. 59

こんなときは	内　容	参照ページ
相手先で受信した記録の状態が鮮明でない	・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明でないときは、原稿台ガラスを清掃してください。コピーが鮮明なときは回線または相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。 ・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してください。 ・画質モードを変えて送ってみてください。	P. 64、104 P. 43 P. 53、54
相手先で受信した記録に汚れが出る	・本機でコピーを取ってください。コピーにも汚れが出るときは、原稿台ガラスを清掃してください。コピーが正常なときは、相手先に原因があると思われます。もう一度送り直してください。	P. 64、104
“メモリ　フル”と表示される	・相手に電話をかけて話してからファクスを送ってください（手動送信）。	P. 55
“ジッコウ　デキマセン”と表示が出た	・PCコピーなど、本機を使用中ではありませんか？	－

ファクス（受信）

こんなときは	内　容	参照ページ
“インクガ　アリマセン”“XXXXXX インクコウカン”と交互に表示が出た	・インクがなくなっています。表示されているプリントカートリッジを交換してください。 “XXXXXX”には、“カラー”、“クロ”、“フォト”、“カラー＆クロ”、“カラー＆フォト”のいずれかが表示されます。表示された色のプリントカートリッジを交換してください。	P. 103
“ヨウシガ　ツマリマシタ”“トリノゾイテ　プリントヲオス”と交互に表示が出た	・用紙がつまっています。用紙を取り除いてください。	P. 103
“ヨウシガアリマセン”“ヨウシヲイレ　プリントヲオス”と交互に表示が出た	・用紙がなくなっています。用紙をセットし、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 23
ベルが鳴り続けて、自動的に受信できない	・受信したファクスをプリント中は受信できません。 ・コピー中や登録・設定中のときは、［ストップ］ボタンを押して、コピーや登録・設定をやめてください。 ・相手先がファクス信号を出さないタイプのときは自動受信できません。手動受信を行ってください。 ・着信ベル回数が8回以上に設定されている場合、相手先が自動送信のファクスのときは受信できないことがあります。 ・着信モードを電話専用に設定しているときは自動受信できません。 ・留守番電話などで、録音された用件によってメモリがいっぱいのときは、ベルが鳴り続けて受信できません。不要な用件を消去してください。	P. 57 P. 95 P. 95 P. 47
受信中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴り出した	・［ストップ］ボタンを押すと音が止まります。 ・用紙がつまったか、なくなっています。 ・インクがなくなっています。 ・相手先のファクスに原稿づまりなどが起きたため、受信が中断されました。相手先に確認して、送り直してもらってください。	P. 23、103 P. 103
受信した用紙が白紙になる	・相手先が原稿を表裏逆にセットしたかもしれません。相手先に確認してください。	－

こんなときは	内　容	参照ページ
受信した用紙のほかに白紙が出た	・送信側で原稿を読み取る際、本来の長さより伸びたり縮んだりすることがあります。読み取りが伸びた場合に、受信側で余白部分を2枚目と認識して白紙の用紙がプリントされることがあります。 ・受信縮小率を100%に設定している場合は、用紙が2枚に分かれ、2枚目が白紙になることがあります。	P. 61
受信した画像が鮮明でない	・通信中にキャッチホンが入ると画像が乱れることがあります。もう一度送り直してもらってください。 ・本機でコピーを取ってください。コピーが鮮明なときは、回線または送信側の異常です。相手先に連絡して、もう一度送り直してもらってください。	P. 43 P. 64
用紙はセットされているのにメモリ受信してしまう	・次の表示が出ているとき、メモリ受信になる場合があります。 －“インクガ　アリマセン” －“インクガマモナク　ナクナリマス” －“フルイ　カートリッジデス” ・1 件でもメモリ文書がある場合、次のファクス受信もメモリ受信します。アラームを解除してメモリ文書をプリントするか、消去してください。	P. 58、59 P. 62
受信した用紙に汚れが出る	・本機の原稿台ガラスを清掃したあと、コピーを取ってください。コピーに汚れが出ないときは、回線または相手先に原因があると思われます。相手先に連絡してもう一度送り直してもらってください。 ・コピーにも汚れが出るときは、speax（スピークス）インフォメーションセンターにご連絡ください。	P. 64、104 P. 123
用紙を入れるたびに、同じ内容が印刷される	・A4長を超える原稿を受信した場合、用紙が2枚以上に分割されます。このとき、用紙が1枚しかセットされていないと、プリント中に記録異常となり、用紙を追加しても、はじめからプリントし直します。常に多めに用紙をセットしておいてください。	―
用紙がつまる 用紙が送られない	・当社指定の用紙を使用してください。 ・セットできる枚数は、普通紙で100枚までです。 ・用紙を補充するときは、用紙トレイに残っている用紙をすべて取り出し、追加する用紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえて奥まで差し込んでください。 ・しわ、折れのある用紙、湿っている用紙などは使用しないでください。	P. 16 P. 23
用紙が一度に複数枚送られる	・当社指定の用紙を使用してください。 ・用紙はよくさばいてください。 ・用紙を用紙トレイに入れるときは、さばいた側を下に先端をそろえて、奥まで差し込んでください。 ・用紙を補充するときは、用紙トレイに残っている用紙をすべて取り出し、追加する用紙と合わせてよくさばいたあと、さばいた側を下に先端をそろえて奥まで差し込んでください。 ・しわ、折れのある用紙、湿っている用紙などは使用しないでください。	P. 16 P. 23
ファクスの送信はできるが、受信ができない	・同じ回線にモデムが接続されていませんか？　モデムの電源をOFFにしてテストしてください。 ・留守電の用件でメモリがいっぱいになっていると、メモリ受信ができません。不要な用件などを消去してください。 また、メモリ文書があるときは、アラームを解除してプリントするか、消去してください。	P. 101 P. 47 P. 58、62

こんなときは	内　容	参照ページ
メモリオーバーによる通信異常が多発する	• 本機は、ファクス受信中にインクや用紙がなくなってもメモリ受信がはたらくように、いったんメモリに蓄積しながらプリントしています。ただし、受信できるメモリ容量を超えるデータ量の原稿が送られてくると、メモリオーバーとなり受信できません。このようなことがひんぱんに起こるときは、以下の操作を行ってください。 －不要な用件を消去する －ファクス自動プリントと大容量受信を「する」に設定する －不要なメモリ文書を消去する	 P. 47 P. 59、61 P. 62
海外からの受信ができない	• 国によってはかなり回線状態が悪い場合があり、受信できないことがあります。 • ファクス信号を出さない装置からの場合、留守設定にしてください。無音検出機能で受信できます。 • コールバックサービスをご利用のときは、送受信の手順などが違う場合があります。サービス提供会社などにお問い合わせください。	 P. 45
海外からファクスを受けるときは、常に「海外通信する」に設定しておく方がよいのか？	• 海外通信の設定は、ファクスを送るときの機能です。ファクスを受けるときは必要ありません。	－
ファクスかんたん受信ができない	• ファクスかんたん受信を「する」に設定していますか？ • 子機から「ファクシミリを受信します。受話器を置いてお待ちください」というメッセージを聞いてから、子機を戻してください。メッセージが流れる前に子機を戻すと回線が切断されます。 • 周囲に騒音などがありませんか？ • 相手先がファクス信号を出さない機種の場合は、ファクスかんたん受信はできません。親機の［ファクス／プリント］ ボタンを押したあとに、［2］ を押してください。子機では ［内線］ ボタンを押したあとに、［6］ を押してください。 • 受信したファクスをプリント中は受信できません。	P. 60 P. 57
A4の原稿を受信しているが、縮小されてしまう	• 相手先（送信側）で原稿の大きさに、きちんと原稿セットガイドを合わせて送ったか確認してみてください。 • 受信縮小率を93%、90%、85%に設定していませんか？	 P. 61
受信したファクスの右端が欠けている	• 受信縮小率を100%に設定していませんか？	P. 61
用紙がなくなったり、インクが残り少なくなったときはどうなるのか？	• 用紙がなくなったり、インクが残り少なくなったページからメモリ受信します。	P. 58
ファクス情報サービスの取り出しかたは？	• P. 57をご覧ください。	－
子機で出たときのファクスの受信方法は？	• P. 57をご覧ください。	－

コピー

こんなときは	内　容	参照ページ
コピーが白紙になる	・コピーする面を「下向き」にして原稿をセットしてください。	P. 63
コピー中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	・［ストップ］ボタンを押すと、音が止まります。 ・用紙の給紙不良または、用紙がありません。用紙を正しくセットしてから、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 ・用紙がつまっています。用紙を取り除いてから、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 ・プリントカートリッジやスキャナに異常が発生しています。ディスプレイに表示されているアラームを解除して、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 23 P. 103 P. 103 P. 111
コピーがかすれる、または薄い	・コピー濃度を濃くしてから、もう一度コピーしてください。	P. 67
コピーが鮮明でない	・原稿台ガラスを清掃してください。 ・当社指定の用紙を使用してください。 ・コピー設定の画質、強調、色合いを調整してください。	P. 104 P. 16 P. 65、68
原稿とコピーのサイズが違う	・コピー倍率が「“トウバイ”（等倍）」になっているかどうかを確認してください。	P. 66
“ジッコウ　デキマセン”と表示が出た	・PCプリントなど、本機を使用中ではありませんか？ ・A4、ハガキ、L判以外の用紙を使用していませんか？ ・小さい原稿で4×4ポスターを作成しようとしていませんか？ ・メモリカードのステータスランプが点滅していませんか？ メモリカードに多数のファイルが入っていると、読み取りに時間がかかり、その間は他の操作が実行できません。 しばらく待ってからやり直すか、ステータスランプが緑点滅していないことを確認してから、メモリカードを取り出してください。 ・アイロンプリントをハガキまたはL判の用紙で作成しようとしていませんか？	P. 66 P. 69 P. 70

ダイレクト写真印刷（デジタルカメラ／メモリカード）

こんなときは	内　容	参照ページ
“カードガ　ヨメマセン”“フォーマットガ　ヒツヨウデス”と交互に表示が出た	・メモリカードをいったん取り出し、もう一度差し込んでください。 ・メモリカードが読み取れない状態です。パソコンなどを使用して、フォーマットしてください。 ※ フォーマットすると、メモリカード内のデータが削除されますので、ご注意ください。	－
“カードヲ　ヌイテクダサイ”と表示が出た	・2枚以上のメモリカードが差し込まれています。一度に使用できるメモリカードは1枚だけですので、ほかのメモリカードを抜いてください。	P. 72
“カード　ファイルナシ”と表示が出た	・差し込まれたメモリカードには、プリントできる画像が保存されていません。	－
ステータスランプが赤く点滅した	・メモリカードの読み取りに失敗しています。メモリカードをいったん取り出し、もう一度差し込んでください。 ・ディスプレイに、上記の表示が出ている場合は、それぞれの対処をしてください。	P. 72

こんなときは	内　容	参照ページ
“コノ　カメラハ　ミタイオウ”と表示が出た	・PictBridgeに対応していないデジタルカメラを接続しています。PictBridgeに対応するデジタルカメラを接続してください。 ・デジタルカメラ以外の機器を接続しています。本機のデジタルカメラ接続端子には、その他の機器は接続できません。 ・接続したデジタルカメラのモードが“PictBridge”になっていません。デジタルカメラのモードを“PictBridge”に切り替えてください。	P. 71
“ドウジセツゾク　デス”“カードカ　カメラヲ　ヌク”と交互に表示が出た	・メモリカードを差し込んだ状態で、デジタルカメラを接続しています。メモリカードを抜き取るか、デジタルカメラを取り外してください。	P. 71
プリント中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	・［ストップ］ボタンを押すと、音が止まります。 ・用紙の給紙不良または、用紙がありません。用紙を正しくセットしてから、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 ・用紙がつまっています。用紙を取り除いてから、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 ・プリントカートリッジに異常が発生しています。ディスプレイに表示されているアラームを解除して、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 23 P. 103 P. 111
“DPOFファイルガ　アリマセン”と表示が出た	・メモリカードを一度抜き差しして、再度DPOFプリントを実行してみてください。 ・デジタルカメラで再度DPOF設定をし直してください。	P. 71、75

スキャン（［スキャン］ボタンでの操作）

こんなときは	内　容	参照ページ
“ジッコウ　デキマセン”と表示が出た	・メモリカードにスキャン画像を保存する場合 －ステータスランプが点滅していませんか?メモリカードに多数のファイルが入っていると、読み取りに時間がかかり、その間は他の操作が実行できません。しばらく待ってからやり直すか、別のメモリカードを差し込んでください。 ・パソコンにスキャン画像を表示する場合 －パソコンと接続されていることを確認してください。 －パソコンにインストールしたSP-P70 Directorの「スキャン送信」で「フロントパネル送付先」をもう一度設定してみてください。 『パソコン活用編』（PDFマニュアル）を参照してください。 －スキャン先として選んだアプリケーションがパソコンにインストールされていることを確認してください。	P. 77 P. 76

いろいろなサービス

こんなときは	内　容	参照ページ
キャッチホンの操作は? キャッチホンサービスを受けた場合のファクスの使用上の問題点は?	・P. 43をご覧ください。	－
停電時にダイヤルイン機能は使用できるか?	・使用できません。	P. 88
ダイヤルインサービスを利用しているが、用件転送はできるか?	・用件転送はできます。	－

こんなときは	内　容	参照ページ
NTT東日本またはNTT西日本のボイスワープ（転送サービス）に加入したが、電話への転送ができるか？	• 着信ベル回数を、ボイスワープ（転送）するまでに鳴らすベル回数より多い回数に設定してください。つまり、本機が自動的に回線を接続する前にボイスワープ（転送）するようにしなければなりません。 • ボイスワープに加入すると、相手先が電話の場合もファクスの場合も転送されるので、ファクスの自動受信はできません。	P. 95
ナンバー・ディスプレイに加入し、使用しているが、着信データが親機には残るが、子機に残らないときがある	• 子機が親機の電波の届かない場所に置かれていませんか？子機を親機に近づけてみてください。 • 着信拒否やプライベートコール設定により、子機の呼び出しが行われず着信データが子機に残らないことがあります。	P. 19 P. 80、82

接続方法

こんなときは	内　容	参照ページ
ホームテレホンまたはビジネスホンに本機を接続できるか？	• 接続できません。	—
パソコンと接続しているが、ファクスの受信ができない	• P. 101をご覧ください。	—
パソコンと接続しているが、時々ファクスが動作し、パソコン通信ができない	• パソコン、モデムの雑音電波で、ファクスが誤動作しています。本機とパソコンを離して置いてみてください。 • パソコン通信の信号の影響でファクスが誤動作しています。回線切替器により本機とパソコンを分離してください。	P. 18 P. 101
パソコンと接続しているが、パソコンから印刷ができない	•『パソコン活用編』（PDFマニュアル）を参照してください。	—
パソコンと接続しているが、スキャナとして使えない	•『パソコン活用編』（PDFマニュアル）を参照してください。	—

その他

こんなときは	内　容	参照ページ
発信元登録で電話番号を入れたが、登録されない	• 数字は文字入力一覧表に従って入力してください。ダイヤルボタンの数字ではありません。	P. 138
スピークスのどのボタンを押しても何も反応しない	• 親機の場合は、電源プラグをコンセントからいったん抜いて、再度差し込んでください。 • 子機の場合は、電池パックのコネクタをいったん抜いて、再度取り付けてください。	P. 22 P. 20
引越しなどで電話番号が変更になったときは？	• 回線種別の設定が合っているか確認してください。 • NTT サービスなどを契約している方は再度、サービスごとの設定を確認してください。 • 親機に、発信元や自分の電話番号を登録している場合は、新しい電話番号を登録し直してください。	P. 91 P. 25 P. 92
操作を間違えた	• P. 26をご覧ください。	—

こんなときは	内　容	参照ページ
プリント中に「ピーピーピーピーピー」という音が鳴った	•［ストップ］ボタンを押すと、音が止まります。 • 用紙の給紙不良または、用紙がありません。用紙を正しくセットしてから、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 • 用紙がつまっています。用紙を取り除いてから、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。 • プリントカートリッジやスキャナに異常が発生しています。ディスプレイに表示されているアラームを解除して、［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	P. 23 P. 103 P. 111
印刷した用紙が貼り付く	• 印刷直後は、インクが乾いていないために用紙が貼り付く恐れがあります。印刷面が他の用紙と重ならないようにして、十分に乾かしてください。	P. 55 P. 63 P. 71

PCプリント

こんなときは	内　容	参照ページ
PCプリントを中断したいときは？	• PCプリントの中断は以下の方法で行えます。 －パソコン側で操作する場合 ①パソコンで、［スタート］→［プリンタとFAX］の順にクリックする ②「SP-P70」をダブルクリックする 「SP-P70」の印刷ジョブが一覧表示されます。 ③中断したい印刷ジョブを右クリックし、［キャンセル］をクリックする －本機側で操作する場合 本機の［ストップ］ボタンを押す いずれの場合も、プリントが中断されるまでに数十秒かかることがあります。	－
ファクス文書のプリントが中断される	• 複数ページあるファクス文書のプリント中にPCプリントを行った場合、ファクス文書のページ間にPCプリントが割り込みます。このとき、ファクス文書のプリントは中断されます。残りのファクス文書をプリントするときは、PCプリントが終わってから［ファクス／プリント］ボタンを押してください。	－
リストプリントが中断される	• 複数ページのリストプリント中にPCプリントを行った場合、リストプリントのページ間にPCプリントが割り込みます。このとき、リストプリントは中断されます。すべてのリストを出力するためには、もう一度リストプリントの操作を行う必要があります。	P. 98
PCプリントが中断されない	• 用紙がなくなっていたり、エラーが発生しているかもしれません。本機のディスプレイに表示されている指示に従って、エラーを解除してください。	P. 111

本機の登録・設定を出荷時に戻したいとき

本機を廃棄、または手放すときは、本機に登録・設定されたお客様の大事な情報をすべて消去することをお勧めします。

注意：通話中に下記の操作を行うと、通話が切れます。

親機で

1. メニュー を押す　ｷﾉｳｾﾝﾀｸ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ
2. 0 を押す　ｼｭｯｶｼﾞ ﾍ ﾓﾄﾞｽ
3. 登録・セット を押す　1:ﾓﾄﾞｽ 2:ﾁｭｳｼ
4. 1 を押す　ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ … ｼｭｯｶｼﾞ ﾍ ﾓﾄﾞｼﾏｼﾀ … ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾏｽ

注意：情報を消去後、そのままご使用にならない場合は、"シユッカジ　ヘ　モドシマシタ" が表示されてから電源コードを抜いてください。

消去を中止するには：手順3のあと［2］（チュウシ）を押してください。

子機で

1. 待受中（⇒ P. 14）に メニュー を押す
2. （上下ボタン）で、"シュッカジニ モドス" を表示させる　ｼｭｯｶｼﾞﾆ ﾓﾄﾞｽ
3. メニュー を押す　ｼﾞｯｺｳ ｼﾏｽｶ?
4. メニュー を押す　ｼﾞｯｺｳ ｼﾃｲﾏｽ … ｼﾞｯｺｳ ｼﾏｼﾀ

消去を中止するには：手順3のあと［▲］ボタンまたは［▼］ボタンを押し、"チュウシ　シマスカ?" と表示されたら［メニュー］ボタンを押してください。

消耗品・オプション品のご案内

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

お客様ご相談窓口などのご案内

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

修理・保守などのご相談は

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

仕 様

注意 本機の外観・仕様などは、改良のため予告なく変更することがあります。

共通

原稿サイズ	最大：210（幅）×297（長さ）mm
有効読取幅	210mm
有効記録幅	202mm
印刷・記録方式	サーマルインクジェット記録方式
電源	AC 100V 50/60Hz
消費電力	待受時　：約 7.5W 送信時　：約12　W（標準的原稿） 受信時　：約15　W（標準的原稿） コピー時：約18　W（標準的原稿） 最大時　：約40　W
直流抵抗	107Ω（20mA）
外形寸法	約500（横幅）×315（奥行き）×185（高さ）mm（突起部を除く）
質量	約6.1kg （用紙、プリントカートリッジを除く）
使用環境	温度：15～35℃ 湿度：20～80%
推奨環境	温度：15～30℃ 湿度：35～70%

コードレス電話

使用可能距離	見通し距離：約100m
使用周波数帯	250MHz/380MHz帯
送信出力	10mW（FM）

子機

電源	DC 2.4V（専用ニッケル水素電池使用）
電池充電時間	約10時間
電池持続時間	連続待受時：約130時間＊1 連続通話時：約6時間
外形寸法	約45（横幅）×37（厚さ）×175（高さ）mm（突起部を除く）
質量	約150g（電池パックを含む）

子機充電器

外形寸法	約62（横幅）×85（奥行き）×55（高さ）mm
質量	約140g（電源コード含む）
消費電力	約1.0W（充電時） 約0.5W（充電器のみ）
電源	AC 100V 50/60Hz

注意 充電端子のない無接点充電方式です。

留守番電話

録音方式	DPS方式
最大録音時間	1件につき3分
合計録音時間	約15分（標準音声）
最大録音件数	30件
応答メッセージ	固定：2種類（男性音声／女性音声）

ファクス

用紙サイズ	普通紙 ・A4サイズ（210×297mm） ・メートル坪量：60～90g/m²
記憶容量＊2	A4（700文字程度）の原稿で約25枚（最大10文書）
走査方法	CISによる原稿固定型平面走査
走査線密度	主走査 8ドット/mm 副走査 細かい：15.4 line/mm（送信のみ） 小さい： 7.7 line/mm 普　通： 3.85line/mm カラーファクスには対応していません。
通信モード	G3/ECM＊3
通信速度	9600/7200/4800/2400bps
電送時間＊4	G3：約19秒　ECM：約12秒
適用回線	・一般電話回線 ・モデムダイヤルイン回線 ・NCC回線
自動受信	有（電話／ファクス自動切替機能内蔵）

注意 本機を設置する場所が、NTT東日本またはNTT西日本の交換機施設から離れていると、使用できないことがあります。speax（スピークス）インフォメーションセンターにご相談ください（⇒ P.123）。

コピー

拡大／縮小	任意倍率 25～400%（1%刻みで設定可） 固定倍率 等倍、A4→ハガキ、A4→L判、 L判→ハガキ、L判→A4
用紙サイズ	A4、ハガキ、L判

プリンタ

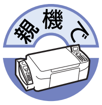
印刷解像度	最高4800×1200dpi （4色印刷／フォト用紙使用時）
給紙枚数＊5	・普通紙：100枚 ・ハガキ：30枚
使用可能インク	・6色（カラー、フォト） ・4色（カラー、黒）

スキャナ

解像度	最高1200×4800dpi（光学仕様） （最大補間解像度：19200dpi）
センサー	CIS
階調	入力：RGB　各色16bit 出力：8bit

＊1：待受時とは、充電が完了したあと子機を充電器から外し、一度も通話しない状態のことです。通話したり、着信ベルが鳴ったりした場合には、待受時の電池持続時間が短くなります。
＊2：記憶容量は、留守番電話の用件や、メモリ受信などを含むすべての記憶容量となります。
＊3：大容量受信を「する」に設定（⇒ P.61）している場合の受信は、G3モードになります。
＊4：電送時間は、A4判700文字程度の原稿を画質モード「フツウ」（8×3.85line/mm）、通信速度9600bpsで送ったときの速さです。これは、画像情報の電送時間のみを示しており、通信の制御時間は含まれません。
実際の通信時間は、原稿の内容、相手先の機種、回線の状態により変化します。
＊5：普通紙、ハガキ以外の用紙については、『用紙』（⇒ P.123）を参照してください。

操作早わかりガイド



◯：ボタンを押す

電話

音量調整	ベル音量	待ち受け中 ➡ 音量◯ →切→1→2→3→4→5→6→ステップアップ
	モニタスピーカ音量	留守録再生中など ➡ 音量◯ →切→小（2）→中（4）→大（6）
通話録音		子機で通話中 ➡ 留守◯ ➡ 録音 ➡ ストップ◯
録音内容を聞く		再生◯ ➡ 再生 ➡ ストップ◯ ※外線と通話中に［再生］ボタンを押すと、録音内容や留守電の用件を相手先と一緒に聞けます。

留守電

留守の設定／解除	留守◯	
用件の再生	再生◯ ➡ 再生	※聞き終えた用件を一度に消去したいときは「用件は以上です」のあと［消去］ボタンを押します。
用件の消去	消去したい用件を再生中 ➡ 消去◯	
おやすみモードの設定／解除	おやすみ◯	

ファクス

自動送信	原稿セット ➡ 相手先番号 ➡ ファクス/プリント◯ ➡ ➡ 原稿読み取り ➡ 1ア（続き原稿あり）／2カABC（送信）

ファクス

リダイヤルで送信		原稿セット ➡ ファクス電話帳◯ ➡ ファクス電話帳◯ 相手先を選ぶ ➡ ➡ ファクス/プリント◯ ➡ 原稿読み取り ➡ 1ア（続き原稿あり）／2カABC（送信）
電話帳で送信		原稿セット ➡ ファクス電話帳◯ 相手先を選ぶ ➡ ➡ ファクス/プリント◯ ➡ 原稿読み取り ➡ 1ア（続き原稿あり）／2カABC（送信）
手動送信		子機で通話中 ➡ 原稿セット ➡ 相手先が受信操作 ➡ ➡ ファクス/プリント◯ ➡ 1ア
手動受信	通話してから受信する	子機で通話中 ➡ 相手先が送信操作 ➡ 「ポー・ポー・・」 ➡ ➡ ファクス/プリント◯ ➡ 2カABC

コピー

コピーの画質モード	コピー設定◯ 3回 ➡ ファクス電話帳◯ ➡ 登録/セット◯ →きれい↔ふつう↔はやい
コピー	原稿セット ➡ （複数部コピーするときは部数を指定） ➡ ➡ モノクロ◯ または カラー◯

こんなときは

ダイレクト写真印刷	
インデックスシート	メモリカード差込 → メモリカード 2回 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット 「ハンイヲ シテイスル」を選択した場合のみ → (スベテノ ガゾウ ↔ サイシン 25ガゾウ ↔ ハンイヲ シテイスル) → 開始番号を入力 → 登録/セット → 終了番号を入力 → 登録/セット
写真の番号を指定	メモリカード差込 → メモリカード 3回 → 登録/セット → 写真の番号を入力 → 登録/セット → プリント枚数を入力 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット (フォト・L ↔ フォト・フチナシL ↔ フォト・A4 ↔ フォト・フチナシA4 ↔ フォト・ハガキ ↔ フォト・フチナシハガキ ↔ フツウ・A4)
すべての写真	メモリカード差込 → メモリカード 4回 → 登録/セット → プリント枚数を入力 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット (フォト・L ↔ フォト・フチナシL ↔ フォト・A4 ↔ フォト・フチナシA4 ↔ フォト・ハガキ ↔ フォト・フチナシハガキ ↔ フツウ・A4)

ダイレクト写真印刷	
写真番号を範囲指定	メモリカード差込 → メモリカード 5回 → 登録/セット → 開始番号を入力 → 登録/セット → 終了番号を入力 → 登録/セット → プリント枚数を入力 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット (フォト・L ↔ フォト・フチナシL ↔ フォト・A4 ↔ フォト・フチナシA4 ↔ フォト・ハガキ ↔ フォト・フチナシハガキ ↔ フツウ・A4)
DPOF形式の写真	メモリカード差込 → メモリカード 6回 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット (フォト・L ↔ フォト・フチナシL ↔ フォト・A4 ↔ フォト・ハガキ ↔ フォト・フチナシハガキ ↔ フツウ・A4)

※ PictBridge対応デジタルカメラ内の写真をプリントする方法は、デジタルカメラに添付の取扱説明書を参照してください。

スキャン	
スキャン to PCアプリケーション	スキャン → ファクス電話帳 PCアプリケーションを選択 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット → 以降の操作は『パソコン活用編』を参照 (Adobe Photoshop ↔ MS PowerPoint ↔ Image gallery)
スキャン to メモリカード	スキャン → ファクス電話帳 メモリカードを選択 → 登録/セット → ファクス電話帳 → 登録/セット (モノクロ ↔ カラー)

子機

（子機↑）：充電器からとる　（子機↓）：充電器に戻す

（　）：ボタンを押す

- **クイック通話がONのとき**
  電話がかかってきたとき、充電器に置いてある子機をとると［通話］ボタンを押さずに相手先と話すことができます。
- **クイック通話がOFFのとき**
  電話がかかってきたとき、相手先を確認してから、［通話］ボタンを押して相手先と話すことができます。

※ このガイドは、クイック通話OFFのときの操作を説明しています。

電話	
電話をかける	（子機↑）➡（通話）➡ 相手先番号 ➡ 通話 ➡ ➡（子機↓）または（切）
リダイヤルする	（子機↑）➡（電話帳）➡（電話帳）相手先を選ぶ ➡ ➡（通話）➡ 通話
電話を受ける	着信音 ➡（子機↑）➡（通話）➡ 通話
保留する	通話中 ➡（保留消去）➡（子機↓）または（切）
通話に戻る	保留中 ➡（子機↑）➡（通話）➡ 通話
転送	外線と通話中 ➡（内線）➡ 内線番号* ➡ ➡ 転送を伝える ➡（子機↓）または（切） ※ 相手先の子機がでないときは［内線］ボタンを押します。
＜転送先の子機＞	他の子機からの呼出 ➡（子機↑）➡（通話）➡ ➡ 相手先の声を聞く ➡ 外線と通話

電話	
親機ボイスコール転送	外線と通話中 ➡（内線）➡（1ア）➡ ➡ 転送を伝える ➡（子機↓）または（切）
＜親機の近くにある別の子機＞	親機のスピーカからメッセージが聞こえる ➡（子機↑）➡（通話）➡ ➡ 外線と通話
親機ボイスコール	（内線）➡（1ア）➡ 親機のベルが2、3回鳴る ➡ ➡ 呼出音が止まったら用件を伝える ➡（子機↓）または（切） ※ 親機側では、スピーカから用件を聞くことだけができます。親機側から用件を伝えることはできません。
簡易子機間通話トランシーバー方式	待受中 ➡（内線）➡ 内線番号* ➡ 話す ➡ ⬇ 聞く ➡（キャッチ）➡ 聞く ➡ 送受話の切り替え ⬆ 話す ➡（子機↓）または（切） ※ 送受話を切り替えられるのは、送話側のみです。
ワンタッチダイヤルでかける	（子機↑）➡（1）または（2）➡ 通話 ➡ ➡（子機↓）または（切）
らくらく電話帳でかける	＜電話帳ボタンで相手先を探す場合＞ （子機↑）➡（電話帳）相手先を選ぶ ➡（通話）➡ 通話 ＜ダイヤルボタンで相手先を探す場合＞ （子機↑）➡（電話帳）➡ 該当する行のダイヤルボタンを何度か押し、相手を表示させる ➡ ➡（通話）➡ 通話

電話

音量調整	受話音量	→ [通話] → [電話帳] → または [切] 標準 → 大 → 特大
	ベルの鳴／切	待受中 → [電話帳]　切 → 大 → 小
トーン信号を送る		電話をかける → [＊トーン]　以後のダイヤルはトーン(プッシュ)信号で送出される
キャッチホンの利用		外線と通話中 → 「プルルー・プップッ」 → [キャッチ] → 次の人と通話 ↑ ↓ 最初の人と通話 ← [キャッチ]

＊内線番号
- 親機 ………… 内線1
- 付属の子機 … 内線2
- 増設子機 …… 1台目：内線3**、
2台目：内線4
- 親機とすべての子機を一斉に呼ぶとき … [＊]

＊＊SP-P70HWでは内線3も付属の子機となります。

ファクス

手動受信 かんたん受信「する」	→ [通話] → 「ポー・ポー…」 → → 「ファクシミリを受信します…」 → または [切]
かんたん受信「しない」	→ [通話] → 「ポー・ポー…」 → [内線] → → [6 ハ MNO] → または [切]
通話してから受信する	通話中 → 相手先が送信操作 → 「ポー・ポー…」 → [内線] → → [6 ハ MNO] → または [切]

留守電

設定	待受中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ(⇒ 下記) → 20秒以内に [7 マ PQRS] → → または [切]
解除	待受中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ(⇒ 下記) → 20秒以内に [9 ラ WXYZ] → → または [切]
用件の再生	待受中 → 「リモコンソウサ」を選ぶ(⇒ 下記) → 20秒以内に [2 カ ABC] → → 再生 → または [切]
早送り	用件を再生中 → [3 サ DEF]
巻き戻し	用件を再生中 → [1 ア]
再生中の用件を消去	用件を再生中 → [8 ヤ TUV]
聞き終えた用件を一度に消去	用件を再生 → 「用件は以上です」 → 「ピッピッピッ…」 → → 6秒以内に [8 ヤ TUV] → または [切]

「リモコンソウサ」の選びかた

[メニュー] → [電話帳] “リモコンソウサ”が表示されるまで押す → [メニュー]

外出先からの操作（外線リモート）

本機に電話をかける → [#] [パスワード] [#] → 操作コード(下記)

（[#] [パスワード] [#]：プッシュ記号）

操作コード

- 巻き戻し ……… [#][1][#]
- 用件再生 ……… [#][2][#]
- 早送り ………… [#][3][#]
- 用件転送設定 … [#][6][1][#]
- 留守設定 ……… [#][7][#]
- 留守設定解除 … [#][9][#]
- 用件消去 ……… [#][8][#]
- 用件転送解除 … [#][6][2][#]

機能設定／登録早見表

<メインメニュー設定手順>

	メインメニュー選択		機能メニュー選択			設定／登録
メニュー ➡	ダイヤルボタン または メニュー	➡	登録/セット ➡	メニュー	➡	操作

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録（【 】はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
①	ショキセッテイ	ヒヅケ・ジコク	年月日と時刻の登録	P. 91
		カイセンシュベツ	PB、【DP】、ジドウカイセンセンタク	P. 91
		ヒョウジノウド	■□□□□、■■□□□、【■■■□□】、■■■■□、■■■■■	P. 92
		ジブンノバンゴウ	自分の電話番号（最大20桁）を登録する	P. 92
		ハッシンモトキロク	【○（する）】、×（しない）	P. 92
		ハッシンモトトウロク	自分の名前（最大40文字）を登録する	P. 93
		キータッチトーン	【○（鳴らす）】、×（鳴らさない）	P. 93
		オンセイセンタク	【ジョセイ　オンセイ】、ダンセイ　オンセイ	P. 94
②	デンワキノウ	ベルオン・メロディ	【ベル（ヒョウジュン）】、ベル（ナリワケ）、メロディ（A～C）	P. 94
		チャクシンモード	【デンワ／ファクス　キリカエ】、ファクスセンヨウ、デンワセンヨウ	P. 95
		チャクシンベルカイスウ	0～19回、【6回】	P. 95
		ヨビダシベルカイスウ	1～19回、【10回】	P. 96
		ケータイオトクダイヤル	○（する）、【×（しない）】 事業者識別番号（最大10桁）の登録	P. 96
		IPデンワカイジョ	○（する）、【×（しない）】 IP電話解除番号（最大10桁）の登録	P. 96
		ホリュウメロディ	【ホリュウメロディ 1】、ホリュウメロディ 2	P. 97
		デンワチョウテンソウ	親機の電話帳を子機に転送する（一斉転送、個別転送）	P. 39

	メインメニュー	機能メニュー	設定／登録（【 】はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
③	ファクスキノウ	ファクスガシツ	【フツウ】、チイサイ、コマカイ、シャシン	P.59
		ファクスジドウプリント	【シナイ】、スル	P.59
		ヨミトリノウド	■□□□□、■■□□□、【■■■□□】、■■■■□、■■■■■	P.59
		カンタンジュシン	【○（する）】、×（しない）	P.60
		カイガイツウシン	○（する）、【×（しない）】	P.60
		フタツレポート	【○（プリントする）】、×（プリントしない）	P.60
		ジュシンシュクショウ	85%、90%、【93%】、100%	P.61
		ダイヨウリョウジュシン	○（する）、【×（しない）】 ※ ファクスジドウプリントが「スル」の場合のみ設定可能	P.61
		ダイヤルトーンケンシュツ	○（する）、【×（しない）】	P.61
		メモリブンショショウキョ	メモリ受信したファクスを消去する	P.62
④	ルスバンデンワキノウ	ゼンヨウケンショウキョ	すべての用件を消去する	P.47
		トールセイバ	○（する）、【×（しない）】	P.50
		リモートソウサ	○（リモート操作する）、【×（リモート操作しない）】 リモートパスワード（4桁）の登録	P.48
		ヨウケンテンソウ	○（用件転送する）、【×（用件転送しない）】、用件転送先電話番号（最大40桁）の登録、転送回数の設定（1～10回）	P.49
		オヤスミモードタイマキリカエ	おやすみモードの開始／終了　時刻	P.52
⑤	ナンバーディスプレイキノウ	ナンバーディスプレイ	【○（する）】、×（しない）	P.80
		以下はナンバー・ディスプレイを「する」に設定した場合のみ		
		チャクシンナリワケシテイ&プライベートコールシテイ	着信鳴り分け指定（【シテイナシ】、ベル（ヒョウジュン）、ベル（ナリワケ）、メロディ（A～C））、プライベートコール指定（【すべて】、内線番号*）	P.82
		トクテイコール	○（する）、【 ×（しない）】 電話帳設定 ：【電話帳すべて】、電話帳個別選択 公衆・圏外 ：【なし】、公衆電話、表示圏外、公衆&圏外	P.83
		バンゴウリクエスト	○（する）、【×（しない）】	P.80
		チャクシンキョヒ	【○（する）】、×（しない）	P.80
		コウシュウデンワ	○（拒否する）、【×（拒否しない）】	P.81
		ヒョウジケンガイ	○（拒否する）、【×（拒否しない）】	P.81
		チャクシンキョヒリストヘンシュウ	着信拒否リストの登録／確認／削除	P.81
		キャッチホン	○（する）、【×（しない）】	P.87

メインメニュー		機能メニュー	設定／登録（【 】はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
⑤	ナンバーディスプレイキノウ	ダイヤルイン	○（する）、【×（しない）】	P. 90
			以下はダイヤルインを「する」に設定した場合のみ	
			FAX専用（○（する）、【×（しない）】）、 すべての番号（4桁）の登録、 子機用番号（4桁）の登録	P. 90
⑥	リストプリント	デンワリストプリント	親機の電話番号リストをプリントする	P. 98
		チャクシンデータプリント	親機に記憶された着信データをプリントする	P. 98
		システムリストプリント	各種設定内容をプリントする	P. 99
		ツウシンカンリレポート	通信管理レポートをプリントする	P. 99
⑦	プリンタメンテナンス	プリンタチョウセイ	プリンタ調整シートをプリントする	P. 105
		インクザンリョウ	インク残量を10段階で表示する カラー：■■■■■■■■■■ クロ　：■■■■■■■■■■	P. 100
		カートリッジクリーニング	プリントカートリッジのクリーニング結果をプリントする	P. 106
		テストインサツ	テストプリントを実行する	P. 107
⓪	シュッカジヘモドス		記憶した情報（登録した内容や録音された用件など）を消去する	P. 122

*内線番号　・付属の子機…内線2
　　　　　・増設子機……1台目　：内線3**、2台目：内線4
**SP-P70HWでは内線3も付属の子機となります。

<コピー設定手順>

コピー設定 ➡ コピー設定メニュー選択 コピー設定 ➡ 設定／登録 操作

コピー設定メニュー		設定／登録（【 】はお買い上げ時の状態です）	参照ページ
①	オマカセワンタッチコピー	【シナイ】、スル*	P. 64
②	コピーガシツセンタク	きれい、【ふつう】、はやい	P. 65
③	ヨウシタイプ	【ジドウ（自動選択）】、フツウ（普通紙）、コート（コート紙）、フォト（写真プリント紙）、アイロン（アイロンプリント紙）	P. 65
④	ヨウシサイズ	【ジドウ（自動選択）】、A4、フチナシA4、ハガキ、フチナシハガキ、L、フチナシL	P. 66
⑤	バイリツ	【トウバイ】、A4－＞ハガキ、A4－＞L、L－＞ハガキ、L－＞A4、ジユウ（25%～400%）、ヨウシ　ゼンタイ、ポスター、ヨウシニ　アワセル	P. 66
⑥	コピーノウド	■□□□□□□□□□、■■□□□□□□□□、■■■□□□□□□□、■■■■□□□□□□、【■■■■■□□□□□】、■■■■■■□□□□、■■■■■■■□□□、■■■■■■■■□□、■■■■■■■■■□、■■■■■■■■■■	P. 67
⑦	キョウチョウ	【コンザイ】、ナシ、モジ、シャシン	P. 68
⑧	カラーチョウセイ	■□□□□□□、■■□□□□□、■■■□□□□、【■■■■□□□】、■■■■■□□、■■■■■■□、■■■■■■■	P. 68
⑨	コピーセッテイショキカ	コピー設定をお買い上げの状態に戻す	P. 68

*: オマカセワンタッチコピーを「スル」に設定した場合は、③ヨウシタイプ、④ヨウシサイズ、⑤バイリツのメニューは表示されません。

索 引

あ

か

さ

ま

や

ら

わ

文字入力一覧表（親機・子機共通）

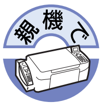
下表を参考に、ダイヤルボタンを使って文字を入力します。

押す回数	ダイヤルボタン									
親機の場合	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
子機の場合	1 ア	2 カ ABC	3 サ DEF	4 タ GHI	5 ナ JKL	6 ハ MNO	7 マ PQRS	8 ヤ TUV	9 ラ WXYZ	0 ワ 記号
1回	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
2回	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	ヲ
3回	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	ン
4回	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	8	レ	0
5回	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	T	ロ	゛(だくてん)
6回	1	2	3	4	5	6	7	U	9	゜(はんだくてん)
7回	ァ	A	D	G	J	M	P	V	W	ー
8回	ィ	B	E	H	K	N	Q	ャ	X	.
9回	ゥ	C	F	I	L	O	R	ュ	Y	（空白）
10回	ェ			ッ			S	ョ	Z	(
11回	ォ									)
12回										・
13回										,
14回										*
15回										#
16回										&

入力のしかた

注意 「カ」「キ」のように同じ列の文字を続けて入力するときは、「カ」を入力したあとに［>］ボタンを押し、カーソルを1つ右に移動してから次の文字を入力してください。

例：「テツヤ8」と入力する場合



1. 4（タ GHI）を4回押す　テ
2. ［>］を押す　テ_
3. 4（タ GHI）を3回押す　テツ
4. 8（ヤ TUV）を押す　テツヤ
5. ［>］を押す　テツヤ_
6. 8（ヤ TUV）を4回押す　テツヤ8



1. 4（タ GHI）を4回押す　テ
2. ［>］を押す　テ_
3. 4（タ GHI）を3回押す　テツ
4. 8（ヤ TUV）を押す　テツヤ
5. ［>］を押す　テツヤ_
6. 8（ヤ TUV）を4回押す　テツヤ8

保　証　書

＜保証規定＞

１．取扱説明書、ラベル等の注意書に基づくお客様の正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、故障箇所を無料修理させていただきます。
２．修理は、直接お持込みいただくか、当社指定の宅配業者が製品と本保証書を無料で引き取りに伺う「引取りサービス」をご利用ください。また、出張修理をご希望される場合は、有料となることがありますので、事前にご確認ください。
３．ご転居やご贈答品等でお買い上げの販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社相談窓口にご相談ください。
４．本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害について当社はその責任を負わないものとします。
５．海外で使用された場合、あるいは不当な改造については、当社は一切の責任を負わないものとします。
６．次のような場合には、保証期間中でも有料修理になります。
　①本保証書のご提示がない場合。
　②本保証書に保証期間、お客様名および販売店名の記入のない場合、または書き替えられた場合。
　③お客様による輸送、移動時の落下、衝撃等、お客様の取扱いが適正でないために生じた故障および損害。
　④お客様による使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷。
　⑤火災、塩害、ガス害、地震、落雷、風水害、その他天災地変、あるいは異常電圧、ゴキブリ等の虫の侵入などの外部要因に起因する故障および損傷。
　⑥本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷。
　⑦正常なご使用でも自然消耗、摩耗、劣化した場合。
７．ご不明な点や保証期間経過後の修理などについては、当社相談窓口にお問い合わせください。
８．本保証書は日本国内においてのみ有効です。
　This warranty is valid only in Japan.

修理メモ（修理箇所、年月日、修理者名等）
※修理メモは、修理伝票等で代替する場合があります。

※この保証書による保証のほかに、販売者は使用者に対して瑕疵担保責任などの法律上の責任を負っており、本保証書の発行は、こうした販売店の責任を軽減または免除するものではありません。

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品を日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。

This equipment (including the software) has the specifications to be used only in Japan.
Also our maintenance service and technical support are not available overseas.

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品がエネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルにご協力ください。

eco NEC

このマークはNECの定める環境基準を満たした製品に表示されるものです。お買い上げいただいた本製品はこの基準に適合した環境配慮型の製品です。この基準の詳細はNECのホームページをご覧ください。
http://www.nec.co.jp/eco/ja/
（平成17年9月現在）

一般消費者様　製品廃棄方法について	事業者様　製品廃棄方法について
この製品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。 詳しくは各地方自治体にお問い合わせ願います。	この製品を廃棄するときは法律や地方自治体の条例に従って産業廃棄物として適正処理してください。 なおNECは法律にもとづき、使用済み製品（情報通信機器）の回収／再資源化等を有償にて行っています。 詳細はこちらのページ http://www.nec.co.jp/eco/ja/products/3r/shigen_menu.html（平成17年9月現在）をご覧ください。

ご注意

掲載されているお問い合わせ先、修理受付窓口などは変更されている場合があります。
最新の情報は、本マニュアルが掲載されているページの【必ずお読みください】「お問い合わせ・アフターサービス(PDF)」を参照してください。

AM1-000199-002
2005年 10月 第2版

NECアクセステクニカ株式会社
〒436-8501 静岡県掛川市下俣800番地